

令和7年度使用

中学校教科用図書選定資料

令和6年6月

大分県教育委員会

***** も く じ *****

< 種 目 >	< 掲載ページ >
基本方針	1
調査研究の観点	2
国 語	3～ 5
書 写	7～ 9
社 会（地理的分野）	11～13
地 図	15～16
社 会（歴史的分野）	17～22
社 会（公民的分野）	23～26
数 学	27～31
理 科	33～36
音 楽（一般）	37～38
音 楽（器楽合奏）	39～40
美 術	41～43
保 健 体 育	45～47
技術・家庭（技術分野）	49～51
技術・家庭（家庭分野）	53～55
英 語	57～60
道 徳	61～65

※種目の掲載は、大分県教育委員会による

令和7年度使用教科用図書採択に関する基本方針

- 1 採択権者は、その権限と責任において、主体的に採択を行うこと。
- 2 調査研究のための組織の構成、調査員の人選等は公正中立に行い、法令の趣旨に沿って採択の手順、手続きの適正化を図ること。
- 3 採択に当たっては、採択権者は教科書についての十分かつ綿密な調査研究に基づいて適正かつ公正な採択を行うこととし、宣伝等にまどわされることなく採択の適正を期すること。
- 4 地域の実態や自然的・文化的諸条件を考慮し、地区内の児童生徒に適した教科書の採択を行うこと。
- 5 採択終了後は採択結果及び採択理由等を公表するなど、採択に関する情報の公開に努め、開かれた採択を推進すること。

調査研究の観点 [中学校]

教育基本法、学校教育法に示す教育の目標の達成に資するよう、調査研究にあたり、次の主眼を設定する。

- 1 学習指導要領に示された目標や内容に基づいて、そのねらいを達成しやすくするために、編集の上でどのような配慮がなされているか。
- 2 生徒が、学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、能動的に学び続けることができるように配慮されているか。

また、主眼に基づき全教科共通観点及び各教科独自観点を設定して調査することとし、全ての教科書を比較検討し、それぞれの特色をまとめる。

【全教科共通観点】

- 1 単元・題材の構成及び内容の取扱い
 - (1) 学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。
 - (2) 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。
 - (3) 思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。
 - (4) 学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。
- 2 資料等
 - (1) 資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。
- 3 挿絵・図表・統計等
 - (1) 挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。

【各教科（種目）独自観点】

- | |
|--|
| <p>○ 学習指導要領に示された目標に基づいた各教科（種目）独自の観点を設定する。
※各教科（種目）独自観点は、事務局が指定した日までに種目責任者が設定し、第2回教科用図書選定審議会において説明する。</p> |
|--|

1 学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
知識及び技能	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。	(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 「情報の扱い方に関する事項」の内容	①文章等に含まれている情報と情報との関係を捉えて理解したり、情報と情報との関係を明確にして文章等で表現したりすることについてどのように示されているか。 ②情報の取り出し方や整理の仕方及びそのための具体的な手段についてどのように示されているか。
(2) 「A 話すこと・聞くこと」の内容	①資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 ②資質・能力の育成に関連させたICT機器の活用について、どのようなものが示されているか。
(3) 「B 書くこと」の内容	①資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 ②伝えたい内容や自分の考えについて、根拠を明確にして書く力を確実に身に付けるための手立てとして、どのようなものが示されているか。
(4) 「C 読むこと」の内容	①資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 ②論理の展開や表現の効果について、考えたり評価したりする力を確実に身に付けるための手立てとして、どのようなものが示されているか。

【 国 語 】

観点	発行者	2 東 書	1 5 三省堂																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各学年、各領域の教材数は次のとおりである。 (※それぞれの領域等を主に指導する教材数) <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>9</td></tr> <tr><td>書く</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>14</td></tr> <tr><td>読む</td><td>18</td><td>17</td><td>17</td><td>52</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>20</td><td>19</td><td>16</td><td>55</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 語彙を量と質の両面から充実させる工夫 「日本語探検」として、語句や語彙等を学ぶ教材が位置付けられている。 思考力、判断力、表現力等を身に付けるための工夫 教材末「てびき」の中で、「言葉の力」として、身に付ける資質・能力とそのポイントが示されている。 見通しをもたせ、学びを実感させるための手立て 各単元の「見通す」で目標の確認、「振り返る」で学んだことや今後の学習でも活用する内容が示されている。 	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	3	3	3	9	書く	5	5	4	14	読む	18	17	17	52	知・技	20	19	16	55	<ul style="list-style-type: none"> 各学年、各領域の教材数は次のとおりである。 (※それぞれの領域等を主に指導する教材数) <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>13</td></tr> <tr><td>書く</td><td>6</td><td>6</td><td>4</td><td>16</td></tr> <tr><td>読む</td><td>15</td><td>16</td><td>15</td><td>46</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>21</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 語彙を量と質の両面から充実させる工夫 単元末に「語彙を豊かに」として、教材に関連する語句や表現がまとめられている。 思考力、判断力、表現力等を身に付けるための工夫 「読み方を学ぼう」や「学びの道しるべ」として、資質・能力を身に付けるためのポイントが示されている。 見通しをもたせ、学びを実感させるための手立て 「読む」教材では、「学びの道しるべ」として、学習の目標や学習活動の例、振り返りの視点が示されている。 	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	4	4	5	13	書く	6	6	4	16	読む	15	16	15	46	知・技	7	7	7	21
	領域	1年	2年	3年	合計																																																
	話・聞	3	3	3	9																																																
書く	5	5	4	14																																																	
読む	18	17	17	52																																																	
知・技	20	19	16	55																																																	
領域	1年	2年	3年	合計																																																	
話・聞	4	4	5	13																																																	
書く	6	6	4	16																																																	
読む	15	16	15	46																																																	
知・技	7	7	7	21																																																	
資料等	<ul style="list-style-type: none"> 資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末資料には、要約の仕方、話し合いの方法、思考のヒント、各単元で身に付けたい力の一覧などがある。 二次元コードが付されている教材数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>28</td><td>27</td><td>22</td><td>77</td></tr> </table> (文法ゲーム、思考のヒント一覧、歌人記念館へのリンク等) 		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	28	27	22	77	<ul style="list-style-type: none"> 巻末資料には、日本文学作品集、メモの活用方法、質問の仕方、文章の読み方に係るポイント一覧などがある。 二次元コードが付されている教材数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>25</td><td>27</td><td>21</td><td>73</td></tr> </table> (読み方解説動画、作文例、NHK 動画資料へのリンク等) 		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	25	27	21	73																														
	1年	2年	3年	合計																																																	
二次元コード数	28	27	22	77																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
二次元コード数	25	27	21	73																																																	
表・統計等	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明的文章と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。(写真は含まない) <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>2</td><td>13</td><td>8</td><td>23</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	資料数	2	13	8	23	<ul style="list-style-type: none"> 説明的文章と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。(写真は含まない) <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>8</td><td>14</td><td>7</td><td>29</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	資料数	8	14	7	29																														
	1年	2年	3年	合計																																																	
資料数	2	13	8	23																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
資料数	8	14	7	29																																																	
教科独自	情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> 情報に特化した教材で意見と根拠との関係等について学習した後で、意見文や批評文を実際に書く単元が位置付けられている。 「情報の整理」に特化した教材が位置付けられており、その中で情報を整理する方法として思考ツールが取り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> グラフや図表などを根拠として、文章と関連付けて考えたり自分の考えをまとめたりする単元が位置付けられている。 「情報の整理」について、漫画教材を読んでポイントを理解し、資料やデータを実際に「読む」展開の学習が示されている。 																																																		
	A 話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 資質・能力の育成に関連させた ICT 機器の活用の具体として、どのようなものが示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な言語活動は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>インタビュー、スピーチ、グループディスカッション</td></tr> <tr><td>2年</td><td>メモを基にした話し合い、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い</td></tr> <tr><td>3年</td><td>話し合いの展開や相手の主張を評価しながら聞く、場面に応じたスピーチ、合意形成を目指した話し合い</td></tr> </table> 二次元コードを読み込むと、学習の進め方の解説や題材例、生徒が実際に学習活動を行っている動画がある。 	1年	インタビュー、スピーチ、グループディスカッション	2年	メモを基にした話し合い、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い	3年	話し合いの展開や相手の主張を評価しながら聞く、場面に応じたスピーチ、合意形成を目指した話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な言語活動は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>グループディスカッション、スピーチ、本の紹介、新聞作成の編集会議</td></tr> <tr><td>2年</td><td>グループディスカッション、プレゼンテーション、ビブリオバトル、情報誌作成の編集会議</td></tr> <tr><td>3年</td><td>グループディスカッション、パブリックスピーキング、名言集作成の編集会議</td></tr> </table> 二次元コードを読み込むと、話し合いのここの解説、生徒が実際に学習活動を行っている動画がある。 	1年	グループディスカッション、スピーチ、本の紹介、新聞作成の編集会議	2年	グループディスカッション、プレゼンテーション、ビブリオバトル、情報誌作成の編集会議	3年	グループディスカッション、パブリックスピーキング、名言集作成の編集会議																																					
	1年	インタビュー、スピーチ、グループディスカッション																																																			
2年	メモを基にした話し合い、プレゼンテーション、リンクマップによる話し合い																																																				
3年	話し合いの展開や相手の主張を評価しながら聞く、場面に応じたスピーチ、合意形成を目指した話し合い																																																				
1年	グループディスカッション、スピーチ、本の紹介、新聞作成の編集会議																																																				
2年	グループディスカッション、プレゼンテーション、ビブリオバトル、情報誌作成の編集会議																																																				
3年	グループディスカッション、パブリックスピーキング、名言集作成の編集会議																																																				
B 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 伝えたい内容や自分の考えについて、根拠を明確にして書く力を確実に身に付けるための手立てとして、どのようなものが示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な言語活動は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>詩の創作、「食文化」を題材にしたレポート、「写真」を使った意見文</td></tr> <tr><td>2年</td><td>短歌の創作、「地域の魅力」紹介文、「地図」を使った意見文</td></tr> <tr><td>3年</td><td>俳句の創作をして句会を開く、「環境」についての新聞づくり、未来の自分への手紙</td></tr> </table> 根拠に基づいて、意見文や批評文を書く単元が設定され、根拠の提示や吟味の方法、論の展開の仕方が示されている。 	1年	詩の創作、「食文化」を題材にしたレポート、「写真」を使った意見文	2年	短歌の創作、「地域の魅力」紹介文、「地図」を使った意見文	3年	俳句の創作をして句会を開く、「環境」についての新聞づくり、未来の自分への手紙	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な言語活動は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>行事案内のリーフレットづくり、グループ新聞づくり、体験をもとにした意見文</td></tr> <tr><td>2年</td><td>「水問題」についての投稿文、物語や小説の創作、地域の魅力を伝える情報誌を作る</td></tr> <tr><td>3年</td><td>条件に応じた課題作文、社会生活に対する批評文、中学校生活で出会った名言集</td></tr> </table> 根拠に基づいて、意見文や投稿文、批評文を書く単元が設定され、根拠の提示や複数の情報の関連付け、論の展開の仕方が示されている。 	1年	行事案内のリーフレットづくり、グループ新聞づくり、体験をもとにした意見文	2年	「水問題」についての投稿文、物語や小説の創作、地域の魅力を伝える情報誌を作る	3年	条件に応じた課題作文、社会生活に対する批評文、中学校生活で出会った名言集																																						
1年	詩の創作、「食文化」を題材にしたレポート、「写真」を使った意見文																																																				
2年	短歌の創作、「地域の魅力」紹介文、「地図」を使った意見文																																																				
3年	俳句の創作をして句会を開く、「環境」についての新聞づくり、未来の自分への手紙																																																				
1年	行事案内のリーフレットづくり、グループ新聞づくり、体験をもとにした意見文																																																				
2年	「水問題」についての投稿文、物語や小説の創作、地域の魅力を伝える情報誌を作る																																																				
3年	条件に応じた課題作文、社会生活に対する批評文、中学校生活で出会った名言集																																																				
C 読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。 論理の展開や表現の効果について、考えたり評価したりする力を確実に身に付けるための手立てとして、どのようなものが示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な言語活動は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>場面展開や登場人物の心情変化について、描写をもとに読み、自己の考えを広げる。</td></tr> <tr><td>2年</td><td>二つの評論文を観点に沿って比較読みし、読み取ったことを自己の知識や経験と結びつけてまとめる。</td></tr> <tr><td>3年</td><td>評論文を批判的に読み、意見文を書くことをとおして、人間、社会などに対するもの見方や考え方を広げる。</td></tr> </table> 読み物教材の「てびき」の中で、「言葉の力」として、論理の展開や表現の効果等を学ぶ際のポイントが示されている。 	1年	場面展開や登場人物の心情変化について、描写をもとに読み、自己の考えを広げる。	2年	二つの評論文を観点に沿って比較読みし、読み取ったことを自己の知識や経験と結びつけてまとめる。	3年	評論文を批判的に読み、意見文を書くことをとおして、人間、社会などに対するもの見方や考え方を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な言語活動は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>場面展開や登場人物の相関関係について、読み取ったことから「人物相関図」を作成する。</td></tr> <tr><td>2年</td><td>二つの説明文を読み比べ、論理の展開や表現の効果について考えたことをまとめる。</td></tr> <tr><td>3年</td><td>「批判的に読む」ポイントが示された文章を読んで、実際にその読み方で文章を読む活動を行う。</td></tr> </table> 学びを振り返る際に、「論理の展開」や「表現の効果」などのキーワードが提示され、それらを使った学習の振り返りが示されている。 	1年	場面展開や登場人物の相関関係について、読み取ったことから「人物相関図」を作成する。	2年	二つの説明文を読み比べ、論理の展開や表現の効果について考えたことをまとめる。	3年	「批判的に読む」ポイントが示された文章を読んで、実際にその読み方で文章を読む活動を行う。																																						
1年	場面展開や登場人物の心情変化について、描写をもとに読み、自己の考えを広げる。																																																				
2年	二つの評論文を観点に沿って比較読みし、読み取ったことを自己の知識や経験と結びつけてまとめる。																																																				
3年	評論文を批判的に読み、意見文を書くことをとおして、人間、社会などに対するもの見方や考え方を広げる。																																																				
1年	場面展開や登場人物の相関関係について、読み取ったことから「人物相関図」を作成する。																																																				
2年	二つの説明文を読み比べ、論理の展開や表現の効果について考えたことをまとめる。																																																				
3年	「批判的に読む」ポイントが示された文章を読んで、実際にその読み方で文章を読む活動を行う。																																																				

【 国 語 】

観 点		発 行 者	17 教 出	38 光 村																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・各学年、各領域の教材数(次のとおり)である。 (※それぞれの領域等を主に指導する教材数)</p> <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>13</td></tr> <tr><td>書く</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>14</td></tr> <tr><td>読む</td><td>17</td><td>18</td><td>20</td><td>55</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>30</td></tr> </table> <p>○語彙を量と質の両面から充実させる工夫 ・教材末の二次元コードを読み取ると、「この教材で学ぶ言葉」として身に付けさせたい語句が一覧で示されている。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を身に付けるための工夫 ・教材末「みちしるべ」において、資質・能力を身に付けるためのポイントが示されている。</p> <p>○見通しをもたせ、学びを実感させるための手立て ・学習活動の前に、「学びナビ」として、学習内容の解題や学習を進める際のヒントが掲載されている。</p>	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	4	4	5	13	書く	5	5	4	14	読む	17	18	20	55	知・技	10	10	10	30	<p>・各学年、各領域の教材数(次のとおり)である。 (※それぞれの領域等を主に指導する教材数)</p> <table border="1"> <tr><th>領域</th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>話・聞</td><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>19</td></tr> <tr><td>書く</td><td>13</td><td>10</td><td>7</td><td>30</td></tr> <tr><td>読む</td><td>20</td><td>21</td><td>23</td><td>64</td></tr> <tr><td>知・技</td><td>23</td><td>22</td><td>20</td><td>65</td></tr> </table> <p>○語彙を量と質の両面から充実させる工夫 ・巻末資料の中に「語彙ブック」が収録されており、感覚でとらえた言葉や抽象的な言葉などが示されている。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を身に付けるための工夫 ・教材末「学びへの扉」において、資質・能力を身に付けるためのポイントが示されている。</p> <p>○見通しをもたせ、学びを実感させるための手立て ・「学習への扉」として、学習の目標や学習活動の例、振り返りの視点が示されている。</p>	領域	1年	2年	3年	合計	話・聞	7	6	6	19	書く	13	10	7	30	読む	20	21	23	64	知・技	23	22	20	65
	領域	1年	2年	3年	合計																																																	
	話・聞	4	4	5	13																																																	
書く	5	5	4	14																																																		
読む	17	18	20	55																																																		
知・技	10	10	10	30																																																		
領域	1年	2年	3年	合計																																																		
話・聞	7	6	6	19																																																		
書く	13	10	7	30																																																		
読む	20	21	23	64																																																		
知・技	23	22	20	65																																																		
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・巻末資料には、「話す・聞く・書く・読む」の学習方法一覧、面接の仕方、近代文学史年表などがある。</p> <p>・二次元コードが付されている教材数(次のとおり)である。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>20</td><td>22</td><td>17</td><td>59</td></tr> </table> <p>(選書の仕方、学習用語一覧、文学作品の検索サイト等)</p>		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	20	22	17	59	<p>・巻末資料には、「話す・聞く・書く・読む」の学習方法一覧、表現のテーマ集、ICT活用のヒントなどがある。</p> <p>・二次元コードが付されている教材数(次のとおり)である。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>二次元コード数</td><td>41</td><td>39</td><td>33</td><td>112</td></tr> </table> <p>(書くこと題材例、力試しテスト、学習の仕方確認シート等)</p>		1年	2年	3年	合計	二次元コード数	41	39	33	112																															
	1年	2年	3年	合計																																																		
二次元コード数	20	22	17	59																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
二次元コード数	41	39	33	112																																																		
表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・説明的文章と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。(写真は含まない)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>6</td><td>6</td><td>0</td><td>12</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	6	6	0	12	<p>・説明的文章と関連して取上げられている図表、統計資料数は次のとおりである。(写真は含まない)</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>17</td><td>15</td><td>3</td><td>35</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	17	15	3	35																															
	1年	2年	3年	合計																																																		
資料数	6	6	0	12																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																		
資料数	17	15	3	35																																																		
教科独自	情報の扱い方に関する事項	<p>①文章等に含まれている情報と情報との関係を捉えて理解したり、情報と情報との関係を明確にして文章等で表現したりすることについて、どのように示されているか。</p> <p>②情報の取り出し方や整理の仕方及びそのための具体的な手段について、どのように示されているか。</p>	<p>・SDG sに関する課題を発見して未来を考える教材があり、学習をおして意見と根拠との関係等について学習する複数の問いが示されている。</p> <p>・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」の教材とあわせて、思考ツールなどを使った情報の整理の仕方の例が示されている。</p>	<p>・各領域と関連させて「情報と情報の関係」を解説した「思考のレッスン」において、意見と根拠との関係等が図で示されている。</p> <p>・巻頭の「思考の地図」や「情報と情報の関係」について学習する「思考のレッスン」で、思考ツールなどを使った思考の広げ方や整理の仕方の例が示されている。</p>																																																		
	A 話すこと・聞くこと	<p>①資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②資質・能力の育成に関連させたICT機器の活用の具体として、どのようなものが示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>インタビュー、自己紹介、スピーチ、テーマについての話し合い、スピーチや意見文の聞き取り</td></tr> <tr><td>2年</td><td>立場を踏まえた話し合い、プレゼンテーション、相違点を明確にしてスピーチを聞く</td></tr> <tr><td>3年</td><td>スピーチ、評価しながらスピーチを聞く、テーマに沿って対話する</td></tr> </table> <p>・二次元コードを読み込むと、「教材で学ぶ言葉一覧」の資料や話し合い活動の内容を解説する文章がある。</p>	1年	インタビュー、自己紹介、スピーチ、テーマについての話し合い、スピーチや意見文の聞き取り	2年	立場を踏まえた話し合い、プレゼンテーション、相違点を明確にしてスピーチを聞く	3年	スピーチ、評価しながらスピーチを聞く、テーマに沿って対話する	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>朗読や感想の発表、スピーチ、インタビュー、展開を捉えて話し合う</td></tr> <tr><td>2年</td><td>プレゼンテーション、インタビュー、立場を決めて議論する</td></tr> <tr><td>3年</td><td>スピーチ、相手の意見を聞いて判断する、テーマに沿って対話する、合意形成を目指した話し合い</td></tr> </table> <p>・二次元コードを読み込むと、実際の話し合いの様子を見て自分ならどう言うかを考える動画や題材例がある。</p>	1年	朗読や感想の発表、スピーチ、インタビュー、展開を捉えて話し合う	2年	プレゼンテーション、インタビュー、立場を決めて議論する	3年	スピーチ、相手の意見を聞いて判断する、テーマに沿って対話する、合意形成を目指した話し合い																																						
	1年	インタビュー、自己紹介、スピーチ、テーマについての話し合い、スピーチや意見文の聞き取り																																																				
2年	立場を踏まえた話し合い、プレゼンテーション、相違点を明確にしてスピーチを聞く																																																					
3年	スピーチ、評価しながらスピーチを聞く、テーマに沿って対話する																																																					
1年	朗読や感想の発表、スピーチ、インタビュー、展開を捉えて話し合う																																																					
2年	プレゼンテーション、インタビュー、立場を決めて議論する																																																					
3年	スピーチ、相手の意見を聞いて判断する、テーマに沿って対話する、合意形成を目指した話し合い																																																					
B 書くこと	<p>①資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②伝えたい内容や自分の考えについて、根拠を明確にして書く力を確実に身に付けるための手立てとして、どのようなものが示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>資料をもとに紹介文を書く、身近に起きたことを随筆に書く、調べたことの報告文</td></tr> <tr><td>2年</td><td>新聞の投書、興味・関心のあることの説明文、グループでの連作ショートショート</td></tr> <tr><td>3年</td><td>学級新聞の記事を書く、自己PR文、中学校生活をまとめて作品集を作る</td></tr> </table> <p>・根拠に基づいて、意見文や批評文を書く単元が設定され、根拠の吟味や提示の方法、構成、表現の仕方が示されている。</p>	1年	資料をもとに紹介文を書く、身近に起きたことを随筆に書く、調べたことの報告文	2年	新聞の投書、興味・関心のあることの説明文、グループでの連作ショートショート	3年	学級新聞の記事を書く、自己PR文、中学校生活をまとめて作品集を作る	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>情報を整理して書く、身近なテーマについてのレポート、体験をもとに随筆を書く</td></tr> <tr><td>2年</td><td>職業ガイドを作る、体験をもとに物語を作る、考えたことをコピーにまとめる</td></tr> <tr><td>3年</td><td>グラフをもとに小論文を書く、広告を分析した批評文、中学校3年間をまとめた冊子</td></tr> </table> <p>・根拠に基づいて、レポートや小論文、批評文を書く単元が設定され、根拠の吟味や理由付け、構成、表現の仕方が示されている。</p>	1年	情報を整理して書く、身近なテーマについてのレポート、体験をもとに随筆を書く	2年	職業ガイドを作る、体験をもとに物語を作る、考えたことをコピーにまとめる	3年	グラフをもとに小論文を書く、広告を分析した批評文、中学校3年間をまとめた冊子																																							
1年	資料をもとに紹介文を書く、身近に起きたことを随筆に書く、調べたことの報告文																																																					
2年	新聞の投書、興味・関心のあることの説明文、グループでの連作ショートショート																																																					
3年	学級新聞の記事を書く、自己PR文、中学校生活をまとめて作品集を作る																																																					
1年	情報を整理して書く、身近なテーマについてのレポート、体験をもとに随筆を書く																																																					
2年	職業ガイドを作る、体験をもとに物語を作る、考えたことをコピーにまとめる																																																					
3年	グラフをもとに小論文を書く、広告を分析した批評文、中学校3年間をまとめた冊子																																																					
C 読むこと	<p>①資質・能力を身に付けるために、どのような言語活動が示されているか。</p> <p>②論理の展開や表現の効果について、考えたり評価したりする力を確実に身に付けるための手立てとして、どのようなものが示されているか。</p>	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>場面展開や登場人物の心情に着目しながら読みを深め、友達との読みの違いについて伝え合う。</td></tr> <tr><td>2年</td><td>二つの説明文を観点に沿って比較読みし、筆者の考えに対する自分の意見をまとめる。</td></tr> <tr><td>3年</td><td>推論の過程をたどりながら、文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について、自分の意見をまとめる。</td></tr> </table> <p>・読み物教材の前に位置付けられた「学びナビ」で展開や表現に係る学習のポイントが図解や構成図の形で示されている。</p>	1年	場面展開や登場人物の心情に着目しながら読みを深め、友達との読みの違いについて伝え合う。	2年	二つの説明文を観点に沿って比較読みし、筆者の考えに対する自分の意見をまとめる。	3年	推論の過程をたどりながら、文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について、自分の意見をまとめる。	<p>・特徴的な言語活動は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><td>1年</td><td>場面や描写の結び付きや場面と場面の結び付きを、図を使って整理したり比較したりして内容を読み取る。</td></tr> <tr><td>2年</td><td>評論文と解説文を読み比べ、筆者の意図や書き方の特徴を結び付けて考える。</td></tr> <tr><td>3年</td><td>複数の文章を批判的に読み、論理の展開や表現の仕方を評価するとともに、評価を基に、自分の考えをまとめる。</td></tr> </table> <p>・教材末に「学びへの扉」として、学習内容が示されるとともに、それらを身に付けるための手掛かりが「学びのカギ」としてまとめられている。</p>	1年	場面や描写の結び付きや場面と場面の結び付きを、図を使って整理したり比較したりして内容を読み取る。	2年	評論文と解説文を読み比べ、筆者の意図や書き方の特徴を結び付けて考える。	3年	複数の文章を批判的に読み、論理の展開や表現の仕方を評価するとともに、評価を基に、自分の考えをまとめる。																																							
1年	場面展開や登場人物の心情に着目しながら読みを深め、友達との読みの違いについて伝え合う。																																																					
2年	二つの説明文を観点に沿って比較読みし、筆者の考えに対する自分の意見をまとめる。																																																					
3年	推論の過程をたどりながら、文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について、自分の意見をまとめる。																																																					
1年	場面や描写の結び付きや場面と場面の結び付きを、図を使って整理したり比較したりして内容を読み取る。																																																					
2年	評論文と解説文を読み比べ、筆者の意図や書き方の特徴を結び付けて考える。																																																					
3年	複数の文章を批判的に読み、論理の展開や表現の仕方を評価するとともに、評価を基に、自分の考えをまとめる。																																																					

1 学習指導要領に示された目標

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【各学年の書写に関する事項】

	第1学年	第2学年	第3学年
(ア)	字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。
(イ)	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。	目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。	

【書写の指導における配慮事項】

- (ア) 文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること。
- (イ) 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行うこと。
- (ウ) 毛筆を使用する書写の指導は各学年で行い、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう指導すること。
- (エ) 書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 楷書の基本と仮名の書き方	①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。
(2) 行書の基本と仮名の書き方	①「連続、省略」「形や方向の変化」「筆順の変化」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。

【 書 写 】

観 点		発 行 者	2 東 書	1 5 三 省 堂																																										
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・各学年の配当ページ数及び割合は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>文字指導</td> <td>22(63%)</td> <td>15(60%)</td> <td>11(45%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>8(23%)</td> <td>5(20%)</td> <td>9(38%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>5(14%)</td> <td>5(20%)</td> <td>4(17%)</td> </tr> </table> <p>・単元の配列は次のとおりである。 第1学年 「はじめに」→「楷書」→「行書」 第2学年 「行書」→「楷書と行書の使い分け」 第3学年 「身の回りの文字」</p> <p>・「古文」や「小説」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。</p> <p>○各単元における学習過程の示し方 ・「学習の進め方」として、巻頭に示されている。 「目標→見つけよう→確かめよう→生かそう→振り返ろう→生活に広げよう」</p> <p>○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・「手紙」や「年賀状」、「本のポップ」などの題材が示されている。</p> <p>・他教科等の自分のノートを見直す活動が示されている。</p> <p>○言語文化に関わる内容の示し方 ・コラムの中に、「文字の移り変わり」や「書き初め」、「いろは歌」が示されている。</p>	学年	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	22(63%)	15(60%)	11(45%)	文字文化	8(23%)	5(20%)	9(38%)	日常化	5(14%)	5(20%)	4(17%)	<p>・各学年の配当ページ数及び割合は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>文字指導</td> <td>29(85%)</td> <td>10(66%)</td> <td>7(54%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>3(9%)</td> <td>1(7%)</td> <td>3(23%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>2(6%)</td> <td>4(27%)</td> <td>3(23%)</td> </tr> </table> <p>・単元の配列は次のとおりである。 第1学年 「楷書」→「楷書と仮名」→「行書」 第2学年 「行書」→「行書と仮名」→「楷書と行書」 第3学年 「文字文化の豊かさ」</p> <p>・「古文」や「小説」、「都道府県名」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。</p> <p>○各単元における学習過程の示し方 ・「学習の進め方」として、巻頭に示されている。 「目標→書き方のポイント→毛筆→振り返り→硬筆→活用→まとめ」</p> <p>○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・「新聞」や「情報誌」、「名言集」などの題材が示されている。</p> <p>・筆記具について、話し合う活動が示されている。</p> <p>○言語文化に関わる内容の示し方 ・コラムの中に、「文字の変遷」や「身のまわりの文字」、「文房四宝」、「書の古典」が示されている。</p>	学年	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	29(85%)	10(66%)	7(54%)	文字文化	3(9%)	1(7%)	3(23%)	日常化	2(6%)	4(27%)	3(23%)										
	学年	第1学年	第2学年	第3学年																																										
	文字指導	22(63%)	15(60%)	11(45%)																																										
	文字文化	8(23%)	5(20%)	9(38%)																																										
日常化	5(14%)	5(20%)	4(17%)																																											
学年	第1学年	第2学年	第3学年																																											
文字指導	29(85%)	10(66%)	7(54%)																																											
文字文化	3(9%)	1(7%)	3(23%)																																											
日常化	2(6%)	4(27%)	3(23%)																																											
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種別</th> <th>主な内容</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">66</td> <td>資料</td> <td>・国語の教科書の関連するページ</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運筆の仕方 ・各学年の書写テスト</td> </tr> </table>	コンテンツ数	種別	主な内容	66	資料	・国語の教科書の関連するページ	動画	・運筆の仕方 ・各学年の書写テスト	<p>・二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種別</th> <th>主な内容</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">78</td> <td>資料</td> <td>・書写の教科書の補充教材</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運筆の仕方 ・楷書と行書の筆順の比較</td> </tr> </table>	コンテンツ数	種別	主な内容	78	資料	・書写の教科書の補充教材	動画	・運筆の仕方 ・楷書と行書の筆順の比較																											
コンテンツ数	種別	主な内容																																												
66	資料	・国語の教科書の関連するページ																																												
	動画	・運筆の仕方 ・各学年の書写テスト																																												
コンテンツ数	種別	主な内容																																												
78	資料	・書写の教科書の補充教材																																												
	動画	・運筆の仕方 ・楷書と行書の筆順の比較																																												
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。</p>	<p>○文字指導における工夫 ・条幅サイズの手本（各学年1）が示されている。</p> <p>・巻末に「書写活用ブック」が示されている。</p>	<p>○文字指導における工夫 ・半紙サイズの手本（楷書1）、条幅サイズの手本（各学年1）が示されている。</p> <p>・巻末に「二次元コード一覧表」が示されている。</p>																																											
教科独自	楷書の基本と仮名の書き方	<p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>姿勢、用具等の基礎知識</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。</p> <p>・運筆や筆圧が「とん・すう・ぐっ・びたっ」で示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	姿勢、用具等の基礎知識	2	1	楷書の基本点画	4	1	字形	6	1	文字の大きさ	2	1	配列	4	1	楷書に調和した仮名	2	1	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>姿勢、用具等の基礎知識</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>10</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。</p> <p>・運筆や筆圧がイラストで示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	姿勢、用具等の基礎知識	5	1	楷書の基本点画	6	1	字形	10	1	文字の大きさ	4	1	配列	4	1	楷書に調和した仮名	2	1
	指導事項	ページ数	学年																																											
姿勢、用具等の基礎知識	2	1																																												
楷書の基本点画	4	1																																												
字形	6	1																																												
文字の大きさ	2	1																																												
配列	4	1																																												
楷書に調和した仮名	2	1																																												
指導事項	ページ数	学年																																												
姿勢、用具等の基礎知識	5	1																																												
楷書の基本点画	6	1																																												
字形	10	1																																												
文字の大きさ	4	1																																												
配列	4	1																																												
楷書に調和した仮名	2	1																																												
行書の基本と仮名の書き方	<p>①「連続、省略」「形や方向の変化」「筆順の変化」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>行書の特徴（基礎的な書き方）</td> <td>10</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">形や方向の変化</td> <td>8</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>6</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>6</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>目的に応じた楷書又は行書の選択</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>・行書の特徴の分類は次のとおりである。 「点画の丸み」、「点画の連続」、「点画の変化」、「点画の省略」、「筆順の変化」</p> <p>・「インタビューのメモ」や「試験申し込み書」、「手紙」を書く活動が示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	行書の特徴（基礎的な書き方）	10	1・2	形や方向の変化	8	1・2	6	1・2	筆順の変化	6	1・2	行書に調和した仮名	6	2	目的に応じた楷書又は行書の選択	2	2	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>行書の特徴（基礎的な書き方）</td> <td>13</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">形や方向の変化</td> <td>7</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>7</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>目的に応じた楷書又は行書の選択</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>・行書の特徴の分類は次のとおりである。 「点画の丸み（曲線化）」、「点画の連続」、「点画の形や方向の変化」、「点画の省略」、「筆順の変化」</p> <p>・「テストの解答欄」や「伝言の簡条書きメモ」、「お礼状」を書く活動が示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	行書の特徴（基礎的な書き方）	13	1・2	形や方向の変化	7	1・2	7	1・2	筆順の変化	7	1・2	行書に調和した仮名	8	2	目的に応じた楷書又は行書の選択	2	2			
指導事項	ページ数	学年																																												
行書の特徴（基礎的な書き方）	10	1・2																																												
形や方向の変化	8	1・2																																												
	6	1・2																																												
筆順の変化	6	1・2																																												
行書に調和した仮名	6	2																																												
目的に応じた楷書又は行書の選択	2	2																																												
指導事項	ページ数	学年																																												
行書の特徴（基礎的な書き方）	13	1・2																																												
形や方向の変化	7	1・2																																												
	7	1・2																																												
筆順の変化	7	1・2																																												
行書に調和した仮名	8	2																																												
目的に応じた楷書又は行書の選択	2	2																																												

【 書 写 】

観 点		発 行 者	17 教 出	38 光 村																																										
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・各学年の配当ページ数及び割合は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>文字指導</td> <td>24(63%)</td> <td>18(64%)</td> <td>22(84%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>10(27%)</td> <td>3(11%)</td> <td>1(4%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>4(10%)</td> <td>7(25%)</td> <td>3(12%)</td> </tr> </table> <p>・単元の配列は次のとおりである。 第1学年 「楷書」→「楷書と仮名」→「行書」 第2学年 「行書」→「行書と仮名」→「学習活動や日常生活」 第3学年 「行書と仮名」→「身の回りの多様な表現」</p> <p>・「古文」や「熟語」、「小説」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。</p> <p>○各単元における学習過程の示し方 ・「学習の進め方」として、巻頭に示されている。「目標→考えよう→生かそう→振り返ろう→学習や日常生活に生かそう」</p> <p>○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・「植物の観察レポート」や「学校生活」などの題材が示されている。</p> <p>・場面に応じた書き方について話し合う活動が示されている。</p> <p>○言語文化に関わる内容の示し方 ・コラムの中に、「あの人が残した文字」や「日本建築と書」、「『書くこと』の変遷」が示されている。</p>	学年	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	24(63%)	18(64%)	22(84%)	文字文化	10(27%)	3(11%)	1(4%)	日常化	4(10%)	7(25%)	3(12%)	<p>・各学年の配当ページ数及び割合は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>学年</th> <th>第1学年</th> <th>第2学年</th> <th>第3学年</th> </tr> <tr> <td>文字指導</td> <td>31(91%)</td> <td>14(73%)</td> <td>12(57%)</td> </tr> <tr> <td>文字文化</td> <td>2(6%)</td> <td>2(11%)</td> <td>6(29%)</td> </tr> <tr> <td>日常化</td> <td>1(3%)</td> <td>3(16%)</td> <td>3(14%)</td> </tr> </table> <p>・単元の配列は次のとおりである。 第1学年 「楷書」→「行書」 第2学年 「行書」→「文字の使い分け」 第3学年 「文字の使い分け」→「三年間のまとめ」</p> <p>・「短歌」や「俳句」、「詩」、「古文」を用いた硬筆の練習ページが設定されている。</p> <p>○各単元における学習過程の示し方 ・「学習の進め方」として、巻頭に示されている。「考えよう→確かめよう→生かそう→振り返ろう」</p> <p>○各単元で習得した知識及び技能を生かせる学習活動の設定 ・「防災フェスタ」の看板や掲示物制作などの題材が示されている。</p> <p>・手書き文字のよさについて話し合う活動が示されている。</p> <p>○言語文化に関わる内容の示し方 ・コラムの中に、「文字の歴史を探る」や「全国フォント見つけ隊」、「ユニバーサルデザインフォント」が示されている。</p>	学年	第1学年	第2学年	第3学年	文字指導	31(91%)	14(73%)	12(57%)	文字文化	2(6%)	2(11%)	6(29%)	日常化	1(3%)	3(16%)	3(14%)										
	学年	第1学年	第2学年	第3学年																																										
	文字指導	24(63%)	18(64%)	22(84%)																																										
	文字文化	10(27%)	3(11%)	1(4%)																																										
日常化	4(10%)	7(25%)	3(12%)																																											
学年	第1学年	第2学年	第3学年																																											
文字指導	31(91%)	14(73%)	12(57%)																																											
文字文化	2(6%)	2(11%)	6(29%)																																											
日常化	1(3%)	3(16%)	3(14%)																																											
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種別</th> <th>主な内容</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">97</td> <td>資料</td> <td>・関連サイトの紹介(まなびリンク)</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運筆の仕方</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・左利き用の書き方</td> </tr> </table>	コンテンツ数	種別	主な内容	97	資料	・関連サイトの紹介(まなびリンク)	動画	・運筆の仕方	動画	・左利き用の書き方	<p>・二次元コードからアクセス可能なコンテンツ数及びその具体は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>コンテンツ数</th> <th>種別</th> <th>主な内容</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">463</td> <td>資料</td> <td>・教科書の補充教材</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・運筆の仕方</td> </tr> <tr> <td>動画</td> <td>・左利き用の書き方</td> </tr> </table>	コンテンツ数	種別	主な内容	463	資料	・教科書の補充教材	動画	・運筆の仕方	動画	・左利き用の書き方																							
コンテンツ数	種別	主な内容																																												
97	資料	・関連サイトの紹介(まなびリンク)																																												
	動画	・運筆の仕方																																												
	動画	・左利き用の書き方																																												
コンテンツ数	種別	主な内容																																												
463	資料	・教科書の補充教材																																												
	動画	・運筆の仕方																																												
	動画	・左利き用の書き方																																												
図表・挿絵・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>○文字指導における工夫 ・半紙サイズの手本（楷書1）、条幅サイズの手本（各学年1）が示されている。</p> <p>・巻末に「書式の教室」が示されている。</p>	<p>○文字指導における工夫 ・半紙サイズの手本（楷書1、行書4）、条幅サイズの手本（各学年1）が示されている。</p> <p>・巻末に「日常に役立つ書式」が示されている。</p>																																											
教科独自	楷書の基本と仮名の書き方	<p>①「字形」「文字の大きさ」「配列」など、文字を正しく整えて書く楷書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>姿勢、用具等の基礎知識</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。</p> <p>・運筆がイラスト、筆圧が写真で示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	姿勢、用具等の基礎知識	2	1	楷書の基本点画	4	1	字形	3	1	文字の大きさ	2	1	配列	4	1	楷書に調和した仮名	4	1	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td>姿勢、用具等の基礎知識</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書の基本点画</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>字形</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>文字の大きさ</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>配列</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>楷書に調和した仮名</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>・文字の中心を示す▽印、字形の囲み線（□や△）が示されている。</p> <p>・運筆が「トン・スー・トン」、筆圧が写真で示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	姿勢、用具等の基礎知識	4	1	楷書の基本点画	4	1	字形	1	1	文字の大きさ	2	1	配列	2	1	楷書に調和した仮名	2	1
	指導事項	ページ数	学年																																											
姿勢、用具等の基礎知識	2	1																																												
楷書の基本点画	4	1																																												
字形	3	1																																												
文字の大きさ	2	1																																												
配列	4	1																																												
楷書に調和した仮名	4	1																																												
指導事項	ページ数	学年																																												
姿勢、用具等の基礎知識	4	1																																												
楷書の基本点画	4	1																																												
字形	1	1																																												
文字の大きさ	2	1																																												
配列	2	1																																												
楷書に調和した仮名	2	1																																												
行書の基本と仮名の書き方	<p>①「連続、省略」「形や方向の変化」「筆順の変化」など、文字を正しく整えて速く書く行書の基本とそれに調和した仮名の書き方について、どのように示されているか。</p>	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">行書の特徴(基礎的な書き方)</td> <td>連続、省略</td> <td>14</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>形や方向の変化</td> <td>6</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>6</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>16</td> <td>2・3</td> </tr> <tr> <td>目的に応じた楷書又は行書の選択</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>・行書の特徴の分類は次のとおりである。「連続」、「変化」、「省略」、「筆順の変化」</p> <p>・「学級活動」や「学習発表会」、「手紙を書く」場面について話し合う活動が示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	行書の特徴(基礎的な書き方)	連続、省略	14	1・2	形や方向の変化	6	1・2	筆順の変化	6	1・2	行書に調和した仮名	16	2・3	目的に応じた楷書又は行書の選択	4	3	<p>・指導事項別のページ数及び指導する学年は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>指導事項</th> <th>ページ数</th> <th>学年</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">行書の特徴(基礎的な書き方)</td> <td>連続、省略</td> <td>8</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>形や方向の変化</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>筆順の変化</td> <td>5</td> <td>1・2</td> </tr> <tr> <td>行書に調和した仮名</td> <td>8</td> <td>2・3</td> </tr> <tr> <td>目的に応じた楷書又は行書の選択</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>・行書の特徴の分類は次のとおりである。「筆使い」、「点画の変化」、「点画の連続」、「点画の省略」、「筆順の変化」</p> <p>・「インタビューのメモ」や「ポスター」、「入学願書」を書く場面について話し合う活動が示されている。</p>	指導事項	ページ数	学年	行書の特徴(基礎的な書き方)	連続、省略	8	1・2	形や方向の変化	5	1	筆順の変化	5	1・2	行書に調和した仮名	8	2・3	目的に応じた楷書又は行書の選択	2	2					
指導事項	ページ数	学年																																												
行書の特徴(基礎的な書き方)	連続、省略	14	1・2																																											
	形や方向の変化	6	1・2																																											
	筆順の変化	6	1・2																																											
行書に調和した仮名	16	2・3																																												
目的に応じた楷書又は行書の選択	4	3																																												
指導事項	ページ数	学年																																												
行書の特徴(基礎的な書き方)	連続、省略	8	1・2																																											
	形や方向の変化	5	1																																											
	筆順の変化	5	1・2																																											
行書に調和した仮名	8	2・3																																												
目的に応じた楷書又は行書の選択	2	2																																												

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【地理的分野の目標】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

技能 知識 及び	(1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、思考力、 表現力等 判断	(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
等 学 力、び に 人間 性	(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 世界と日本の地域構成	①世界と日本の地域構成を大観し理解することについて、どのように示されているか。 ②世界や日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察することについて、どのように示されているか。
(2) 世界の様々な地域	①世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解することについて、どのように示されているか。 ②世界の各地域で見られる地球的課題の要因やその影響をその地域的特色と関連付けて考察し、表現する学習について、どのように示されているか。
(3) 日本の様々な地域	①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解することについて、どのように示されているか。 ②地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する学習について、どのように示されているか。

【 社会（地理的分野） 】

観点		発行者	2 東 書	17 教 出																																																	
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・大項目ごとのページ数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大項目</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界と日本の地域構成</td> <td>26</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>世界の様々な地域</td> <td>110</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>日本の様々な地域</td> <td>136</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>272</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は6</p> <p>・学習内容を見開きで示し、学習課題と様々な視点の資料等を掲載している。</p> <p>・「導入の活動」のページを設定している。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は345</p> <p>・章や節ごとに設定された知識及び技能を問うコーナーの数は80</p> <p>・地理的機能を身に付ける工夫として、「スキル・アップ」を設定し、資料の読み方や使い方等について示している。</p> <p>・章や節ごとに説明、追究、意見交換を促す課題数107</p> <p>・地理の学習の視点として、「地理を学ぶ5つのミカタ」を示すとともに教科書の構成を写真等で説明している。</p> <p>・単元等の終わりに位置付けているまとめの学習活動の数34</p>	大項目	ページ数	割合(%)	世界と日本の地域構成	26	10	世界の様々な地域	110	40	日本の様々な地域	136	50	合計	272	100	<p>・大項目ごとのページ数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大項目</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界と日本の地域構成</td> <td>20</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>世界の様々な地域</td> <td>106</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>日本の様々な地域</td> <td>157</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>283</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は5</p> <p>・学習内容を見開きで示し、学習課題と様々な視点の資料等を掲載している。</p> <p>・大項目ごとに「学習を見通そう」のページを設定している。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は375</p> <p>・章や節ごとに設定された知識及び技能を問うコーナーの数は89</p> <p>・地理的機能を身に付けるための工夫として、「地理の技」を設定し、資料の読み方や使い方等について示している。</p> <p>・章や節ごとに説明、追究、意見交換を促す課題数110</p> <p>・「地理の学習を始めるにあたって」のページを設定し、地理的分野の学習内容、教科書の流れ、地理的な見方・考え方についてイラスト等で説明している。</p> <p>・単元等の終わりに位置付けているまとめの学習活動の数21</p>	大項目	ページ数	割合(%)	世界と日本の地域構成	20	7	世界の様々な地域	106	37	日本の様々な地域	157	56	合計	283	100																			
	大項目	ページ数	割合(%)																																																		
	世界と日本の地域構成	26	10																																																		
	世界の様々な地域	110	40																																																		
日本の様々な地域	136	50																																																			
合計	272	100																																																			
大項目	ページ数	割合(%)																																																			
世界と日本の地域構成	20	7																																																			
世界の様々な地域	106	37																																																			
日本の様々な地域	157	56																																																			
合計	283	100																																																			
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・二次元コードからつながるコンテンツの数351</p> <p>・資料（動画、ワークシート、練習問題等）や外部サイトにつながる。</p>	<p>・二次元コードからつながるコンテンツの数64</p> <p>・資料（動画、クイズ）や外部サイトにつながる。</p>																																																		
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>絵図</th> <th>統計資料</th> <th>読物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>148</td> <td>2</td> <td>117</td> <td>110</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	地図	年表	絵図	統計資料	読物資料	148	2	117	110	31	<p>・掲載されている資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>絵図</th> <th>統計資料</th> <th>読物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>191</td> <td>6</td> <td>98</td> <td>109</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>	地図	年表	絵図	統計資料	読物資料	191	6	98	109	51																														
地図	年表	絵図	統計資料	読物資料																																																	
148	2	117	110	31																																																	
地図	年表	絵図	統計資料	読物資料																																																	
191	6	98	109	51																																																	
教科独自	世界と日本の地域構成	<p>①世界と日本の地域構成を大観し理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②世界や日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・世界の地域構成を示した資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）</th> <th>緯度や経度、方位を示した資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table> <p><領土に関する記述></p> <p>・北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述</p> <p>・竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述</p> <p>・尖閣諸島については、「日本固有の領土」「日本が有効に支配しているため、領土問題はありますが、中国や台湾が領有権を主張しています」と記述</p> <p>・表現する学習として、「TRY」を設定し、説明する活動を示している。</p>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料	33	22	<p>・世界の地域構成を示した資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）</th> <th>緯度や経度、方位を示した資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p><領土に関する記述></p> <p>・北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述、「ヒザなし交流の写真」を掲載</p> <p>・竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述</p> <p>・尖閣諸島については、「日本固有の領土」「近年、中国船がたびたび日本の領海などに侵入する事態が生じている」と記述</p> <p>・表現する学習として、「表現！」を設定し、調べたり、説明したりする活動を示している。</p>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料	30	16																																									
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料																																																			
33	22																																																				
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料																																																				
30	16																																																				
世界の様々な地域	<p>①世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②世界の各地域で見られる地球的課題の要因やその影響をその地域的特色と関連付けて考察し、表現する学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・雨温図の数とそれに関連した写真の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>雨温図</th> <th>写真</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人々の生活を自然及び社会的条件から次のように配列している。</p> <p>気候と暮らし→伝統的な生活と変化→人々の生活と宗教</p> <p>・地域の地球的課題と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>課題</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>経済発展と地域への影響</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>国家間の統合と地域への影響</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>アフリカ州への国際支援</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>移民が地域にあたる影響</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>開発と環境保全の課題</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>地域との結びつき</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	雨温図	写真	12	46	州名	課題	図表等	アジア	経済発展と地域への影響	29	欧州	国家間の統合と地域への影響	19	アフリカ	アフリカ州への国際支援	20	北米	移民が地域にあたる影響	16	南米	開発と環境保全の課題	15	オセアニア	地域との結びつき	14	<p>・雨温図の数とそれに関連した写真の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>雨温図</th> <th>写真</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人々の生活を自然及び社会的条件から次のように配列している。</p> <p>気候と暮らし→言語と暮らし→宗教と暮らし</p> <p>・地域の地球的課題と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>課題</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>人口問題</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>環境問題</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>人口問題、食料問題</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>多民族の共存の問題</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>環境問題、都市問題</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>多民族の共存の問題</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	雨温図	写真	13	35	州名	課題	図表等	アジア	人口問題	28	欧州	環境問題	33	アフリカ	人口問題、食料問題	17	北米	多民族の共存の問題	19	南米	環境問題、都市問題	17	オセアニア	多民族の共存の問題	15
雨温図	写真																																																				
12	46																																																				
州名	課題	図表等																																																			
アジア	経済発展と地域への影響	29																																																			
欧州	国家間の統合と地域への影響	19																																																			
アフリカ	アフリカ州への国際支援	20																																																			
北米	移民が地域にあたる影響	16																																																			
南米	開発と環境保全の課題	15																																																			
オセアニア	地域との結びつき	14																																																			
雨温図	写真																																																				
13	35																																																				
州名	課題	図表等																																																			
アジア	人口問題	28																																																			
欧州	環境問題	33																																																			
アフリカ	人口問題、食料問題	17																																																			
北米	多民族の共存の問題	19																																																			
南米	環境問題、都市問題	17																																																			
オセアニア	多民族の共存の問題	15																																																			
日本の様々な地域	<p>①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・調査活動の展開例を「調査テーマを決めよう」「地域のこれらを提案し、発信しよう」等10項目で示している。</p> <p>・地域調査では、兵庫県神戸市、広島県広島市を例として取り上げている。</p> <p>・地域に関する学習の視点と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする学習の視点</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>中国・四国</td> <td>交通・通信</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>人口・都市・村落</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>交通・通信</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>	地域名	中核とする学習の視点	図表等	九州	自然環境	15	中国・四国	交通・通信	17	近畿	人口・都市・村落	15	中部	産業	20	関東	交通・通信	21	東北	生活・文化	16	北海道	自然環境	17	<p>・調査活動の展開例を「地域をながめて」「調査結果を地域に伝えよう」等11項目で示している。</p> <p>・地域調査では、愛知県名古屋、熊本県水俣市を例として取り上げている。</p> <p>・地域に関する学習の視点と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>中核とする学習の視点</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境と保全</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>中国・四国</td> <td>人口集中・人口減少</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史との結びつき</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>交通・通信</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>伝統文化と産業の変化</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境と関連する産業</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	地域名	中核とする学習の視点	図表等	九州	自然環境と保全	19	中国・四国	人口集中・人口減少	23	近畿	歴史との結びつき	21	中部	産業	29	関東	交通・通信	26	東北	伝統文化と産業の変化	19	北海道	自然環境と関連する産業	18		
地域名	中核とする学習の視点	図表等																																																			
九州	自然環境	15																																																			
中国・四国	交通・通信	17																																																			
近畿	人口・都市・村落	15																																																			
中部	産業	20																																																			
関東	交通・通信	21																																																			
東北	生活・文化	16																																																			
北海道	自然環境	17																																																			
地域名	中核とする学習の視点	図表等																																																			
九州	自然環境と保全	19																																																			
中国・四国	人口集中・人口減少	23																																																			
近畿	歴史との結びつき	21																																																			
中部	産業	29																																																			
関東	交通・通信	26																																																			
東北	伝統文化と産業の変化	19																																																			
北海道	自然環境と関連する産業	18																																																			

【 社会（地理的分野） 】

観点		発行者	46 帝国	116 日文																																																	
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・大項目ごとのページ数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大項目</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界と日本の地域構成</td> <td>24</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>世界の様々な地域</td> <td>102</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>日本の様々な地域</td> <td>166</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>292</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は13</p> <p>・学習内容を見開きで示し、学習課題と様々な視点の資料等を掲載している。</p> <p>・「学ぶにあたって」のページを設定している。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は408</p> <p>・章や節ごとに設定された知識及び技能を問うコーナーの数は99</p> <p>・地理的スキルを身につけるための工夫として、「技能をみがく」を設定し、資料の読み方や使い方等について示している。</p> <p>・章や節ごとに説明、追究、意見交換を促す課題数116</p> <p>・「地理的分野の学習の全体像」として、学ぶ事柄、学ぶ意義や地理的な見方・考え方について写真等で説明している。</p> <p>・単元等の終わりに位置付けているまとめの学習活動の数34</p>	大項目	ページ数	割合(%)	世界と日本の地域構成	24	8	世界の様々な地域	102	35	日本の様々な地域	166	57	合計	292	100	<p>・大項目ごとのページ数と割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大項目</th> <th>ページ数</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界と日本の地域構成</td> <td>24</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>世界の様々な地域</td> <td>104</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>日本の様々な地域</td> <td>163</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>291</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・巻頭及び巻末のページ数は12</p> <p>・学習内容を見開きで示し、学習課題と様々な視点の資料等を掲載している。</p> <p>・章ごとに「学習のはじめに」のページを設定している。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は357</p> <p>・章や節ごとに設定された知識及び技能を問うコーナーの数は120</p> <p>・地理的スキルを身につけるための工夫として、「スキルUP」を設定し、資料の読み方や使い方等について示している。</p> <p>・章や節ごとに説明、追究、意見交換を促す課題数110</p> <p>・「地理的な見方・考え方」を働かせた学習や「教科書の構成と学び方」についてイラスト等で説明している。</p> <p>・単元等の終わりに位置付けているまとめの学習活動の数37</p>	大項目	ページ数	割合(%)	世界と日本の地域構成	24	8	世界の様々な地域	104	36	日本の様々な地域	163	56	合計	291	100																			
	大項目	ページ数	割合(%)																																																		
	世界と日本の地域構成	24	8																																																		
世界の様々な地域	102	35																																																			
日本の様々な地域	166	57																																																			
合計	292	100																																																			
大項目	ページ数	割合(%)																																																			
世界と日本の地域構成	24	8																																																			
世界の様々な地域	104	36																																																			
日本の様々な地域	163	56																																																			
合計	291	100																																																			
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は1705</p> <p>・資料（動画、用語解説等）や外部サイトにつながる。</p>	<p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は301</p> <p>・資料（動画、白地図、練習問題等）や外部サイトにつながる。</p>																																																		
統計等	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>絵図</th> <th>統計資料</th> <th>読み物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>147</td> <td>0</td> <td>116</td> <td>116</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	地図	年表	絵図	統計資料	読み物資料	147	0	116	116	23	<p>・掲載されている資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>絵図</th> <th>統計資料</th> <th>読み物資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>142</td> <td>1</td> <td>136</td> <td>146</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>	地図	年表	絵図	統計資料	読み物資料	142	1	136	146	42																														
地図	年表	絵図	統計資料	読み物資料																																																	
147	0	116	116	23																																																	
地図	年表	絵図	統計資料	読み物資料																																																	
142	1	136	146	42																																																	
教科独自	世界と日本の地域構成	<p>①世界と日本の地域構成を大観し理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②世界や日本の地域構成の特色を多面的・多角的に考察し、表現することについて、どのように示されているか。</p>	<p>・世界の地域構成を示した資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）</th> <th>緯度や経度、方位を示した資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p><領土に関する記述></p> <p>・北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述、「ヒザなし交流」の写真に掲載。</p> <p>・竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述。</p> <p>・尖閣諸島については、「日本固有の領土」「日本政府による管理も及んでいるため、ほかの国との間で解決すべき領有をめぐる問題はありません」と記述。</p> <p>・表現する学習として「説明しよう」を設定し、説明する活動を示している。</p>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料	34	33	<p>・世界の地域構成を示した資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）</th> <th>緯度や経度、方位を示した資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p><領土に関する記述></p> <p>・北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述。「元島民らによる洋上からの先祖の慰霊」の写真に掲載。</p> <p>・竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記述。</p> <p>・尖閣諸島については、「日本固有の領土として管理されており、尖閣諸島には領土問題は存在していません」と記述。</p> <p>・表現する活動として「表現」を設定し、まとめたり、説明したりする活動を示している。</p>	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料	34	20																																									
	六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料																																																			
	34	33																																																			
六大陸と三大洋の形状と位置関係を示した地図（写真及び図も含む）	緯度や経度、方位を示した資料																																																				
34	20																																																				
世界の様々な地域	<p>①世界の諸地域の多様性や地域的特色を理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②世界の各地域で見られる地球的課題の要因やその影響をその地域的特色と関連付けて考察し、表現する学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・雨温図の数とそれに関連した写真の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>雨温図</th> <th>写真</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人々の生活を自然及び社会的条件から次のように配列している。</p> <p>生活と環境、世界の気候→気候と暮らし→宗教と生活</p> <p>・地域の地球的課題と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>課題</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>都市・居住問題</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>経済格差</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>食料問題</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>生産と消費の問題</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>熱帯林の破壊</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>多文化の共生</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	雨温図	写真	13	61	州名	課題	図表等	アジア	都市・居住問題	28	欧州	経済格差	20	アフリカ	食料問題	15	北米	生産と消費の問題	20	南米	熱帯林の破壊	13	オセアニア	多文化の共生	12	<p>・雨温図の数とそれに関連した写真の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>雨温図</th> <th>写真</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>・人々の生活を自然及び社会的条件から次のように配列している。</p> <p>世界の気候→気候と暮らし→宗教と生活</p> <p>・地域の地球的課題と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>州名</th> <th>課題</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アジア</td> <td>経済発展の地域格差や都市問題</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>欧州</td> <td>統合による格差と対立</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>アフリカ</td> <td>モノカルチャー経済からの自立</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>北米</td> <td>大量生産・大量消費</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>南米</td> <td>熱帯雨林伐採による環境破壊</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>オセアニア</td> <td>多様な民族の共生</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	雨温図	写真	12	50	州名	課題	図表等	アジア	経済発展の地域格差や都市問題	23	欧州	統合による格差と対立	27	アフリカ	モノカルチャー経済からの自立	17	北米	大量生産・大量消費	25	南米	熱帯雨林伐採による環境破壊	18	オセアニア	多様な民族の共生	14
雨温図	写真																																																				
13	61																																																				
州名	課題	図表等																																																			
アジア	都市・居住問題	28																																																			
欧州	経済格差	20																																																			
アフリカ	食料問題	15																																																			
北米	生産と消費の問題	20																																																			
南米	熱帯林の破壊	13																																																			
オセアニア	多文化の共生	12																																																			
雨温図	写真																																																				
12	50																																																				
州名	課題	図表等																																																			
アジア	経済発展の地域格差や都市問題	23																																																			
欧州	統合による格差と対立	27																																																			
アフリカ	モノカルチャー経済からの自立	17																																																			
北米	大量生産・大量消費	25																																																			
南米	熱帯雨林伐採による環境破壊	18																																																			
オセアニア	多様な民族の共生	14																																																			
日本の様々な地域	<p>①観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解することについて、どのように示されているか。</p> <p>②地域の特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・調査活動の展開例を「調査テーマを決めよう」、「解決策と魅力を高める提案をしよう」等19項目で示している。</p> <p>・地域調査では、東京都練馬区、兵庫県神戸市を例として取り上げている。</p> <p>・地域に関する学習の視点と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>学習の視点</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>中国・四国</td> <td>交通・通信</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>環境保全</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>生活・文化</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	地域名	学習の視点	図表等	九州	自然環境	11	中国・四国	交通・通信	15	近畿	環境保全	17	中部	産業	15	関東	人口や都市・村落	19	東北	生活・文化	17	北海道	自然環境	14	<p>・調査活動の展開例を「地形図のしくみと約束を知る」、「構想した内容を発信しよう」等10項目で示している。</p> <p>・地域調査では、京都府京都市伏見区、宮崎県宮崎市を例として取り上げている。</p> <p>・地域に関する学習の視点と資料の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>学習の視点</th> <th>図表等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>九州</td> <td>自然環境</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>中国・四国</td> <td>交通・通信</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>近畿</td> <td>歴史的背景</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>産業</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td>人口や都市・村落</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>東北</td> <td>持続可能な社会づくり</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>自然環境</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	地域名	学習の視点	図表等	九州	自然環境	21	中国・四国	交通・通信	25	近畿	歴史的背景	27	中部	産業	24	関東	人口や都市・村落	25	東北	持続可能な社会づくり	22	北海道	自然環境	19		
地域名	学習の視点	図表等																																																			
九州	自然環境	11																																																			
中国・四国	交通・通信	15																																																			
近畿	環境保全	17																																																			
中部	産業	15																																																			
関東	人口や都市・村落	19																																																			
東北	生活・文化	17																																																			
北海道	自然環境	14																																																			
地域名	学習の視点	図表等																																																			
九州	自然環境	21																																																			
中国・四国	交通・通信	25																																																			
近畿	歴史的背景	27																																																			
中部	産業	24																																																			
関東	人口や都市・村落	25																																																			
東北	持続可能な社会づくり	22																																																			
北海道	自然環境	19																																																			

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【地理的分野の目標】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

技能 知識 及び	(1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、思考力、 表現力等 判断	(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
等、学力、 人間性 にか	(3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 地図の活用を通して、 情報を適切に調べまと める技能	①地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域的課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 ②観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。 ③歴史・公民との関連はどのように示されているか。
--------------------------------------	---

【 地 図 】

観 点		発 行 者	2 東 書	4 6 帝 国																																																												
単元・題材の構成及び内容の取扱い	教科共通	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている地図の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>世界</th> <th>日本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td></td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>全図の数</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>州別・地方別地図の数</td> <td>21</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>諸島図の数</td> <td>2</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>索引に掲載されている日本（世界）の地名数</td> <td>1364</td> <td>2161</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 目的別の資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>国土利用 自然 環境</th> <th>人口 交通 貿易</th> <th>農林水 産業</th> <th>鉱工業</th> <th>歴史 生活 文化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>117</td> <td>103</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table> <p><領土に関する記述></p> <ul style="list-style-type: none"> 北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」、「外交交渉も続けています」と記載。 竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」、「外交交渉も続けています」と記載。 尖閣諸島については、「日本が実効支配していて、国際社会からも日本の領土であると認められています」と記載。 		世界	日本	総ページ数		176	全図の数	1	4	州別・地方別地図の数	21	28	諸島図の数	2	20	索引に掲載されている日本（世界）の地名数	1364	2161	項目	国土利用 自然 環境	人口 交通 貿易	農林水 産業	鉱工業	歴史 生活 文化	数	117	103	41	39	148	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている地図の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>世界</th> <th>日本</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総ページ数</td> <td></td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>全図の数</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>州別・地方別地図の数</td> <td>18</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>諸島図の数</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>索引に掲載されている日本（世界）の地名数</td> <td>1753</td> <td>2556</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 目的別の資料の数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>国土利用 自然 環境</th> <th>人口 交通 貿易</th> <th>農林水 産業</th> <th>鉱工業</th> <th>歴史 生活 文化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>178</td> <td>94</td> <td>85</td> <td>61</td> <td>234</td> </tr> </tbody> </table> <p><領土に関する記述></p> <ul style="list-style-type: none"> 北方領土については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記載。関連するページとして、「国境の変遷」、「日本の領土とそのまわりの国々」を示している。 竹島については、「日本固有の領土」「不法に占拠」と記載。関連するページとして、「竹島の諸島図」、「日本の領土とそのまわりの国々」を示している。 尖閣諸島については、「日本固有の領土」と記載。関連するページとして、「日本の領土とそのまわりの国々」を示している。 		世界	日本	総ページ数		198	全図の数	1	2	州別・地方別地図の数	18	36	諸島図の数	10	15	索引に掲載されている日本（世界）の地名数	1753	2556	項目	国土利用 自然 環境	人口 交通 貿易	農林水 産業	鉱工業	歴史 生活 文化	数	178	94	85	61	234
				世界	日本																																																											
			総ページ数		176																																																											
			全図の数	1	4																																																											
州別・地方別地図の数	21	28																																																														
諸島図の数	2	20																																																														
索引に掲載されている日本（世界）の地名数	1364	2161																																																														
項目	国土利用 自然 環境	人口 交通 貿易	農林水 産業	鉱工業	歴史 生活 文化																																																											
数	117	103	41	39	148																																																											
	世界	日本																																																														
総ページ数		198																																																														
全図の数	1	2																																																														
州別・地方別地図の数	18	36																																																														
諸島図の数	10	15																																																														
索引に掲載されている日本（世界）の地名数	1753	2556																																																														
項目	国土利用 自然 環境	人口 交通 貿易	農林水 産業	鉱工業	歴史 生活 文化																																																											
数	178	94	85	61	234																																																											
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳の使い方のガイダンスのページ数は3 地図帳の使い方として、地図の種類、見方、使い方、デジタルコンテンツ、さくいんの使い方について示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域別地図では、100万分の1の地図を掲載している。 自然災害・防災対策について見開き2ページで主な地震の震源を示している。 事例として、岡山県倉敷市の災害・防災を示している。 ページ右上にキャラクターを用いて意見交流や資料の関連性について考えさせる問いを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳の使い方のガイダンスのページ数は3 地図帳の使い方として、小学校での学習を含め、地図の種類、見方、使い方、さくいん、統計の説明や読み視点を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の地域別地図では、100万分の1の地図を掲載している。 自然災害・防災対策について見開き4ページで主な地震の震源やプレート、断層を示している。 事例として、熊本県宇城市の災害・防災を示している。 ページ右上に「主題学習」として、地域の特色について考えさせる問いを示している。 																																																												
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> さくいんの引き方を記載し、国名や首都名、自然地名を印や色で分けて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツの数は110 資料（動画、統計、クイズ等）や外部サイトにつながる。 地図上の任意の記号の数は、世界地図で63、日本地図で161示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツの数は971 資料（動画、統計、クイズ等）や外部サイトにつながる。 地図上の任意の記号の数は世界地図で62、日本地図で120示している。 	<ul style="list-style-type: none"> さくいんの引き方を記載し、国名や首都名を印や色、世界遺産や歴史上の出来事等を印で分けて示している。 																																																												
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。 																																																												
地図の活用を通して情報を適切に調べまとめる技能	教科独自	①地図から地理的事象を発見したり、地図から地域的特色や地域的課題を捉えたりするなど、読図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「Bee's eye」を設定し、読図の着眼点を示している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>世界</th> <th>日本</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着眼点の数</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table>		世界	日本	合計	着眼点の数	40	42	82	<ul style="list-style-type: none"> 「地図で発見」を設定し、読図の着眼点を示している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>世界</th> <th>日本</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>着眼点の数</td> <td>52</td> <td>49</td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table>		世界	日本	合計	着眼点の数	52	49	101																																												
				世界	日本	合計																																																										
			着眼点の数	40	42	82																																																										
	世界	日本	合計																																																													
着眼点の数	52	49	101																																																													
②観察や調査の活動を通して明らかになったことを地図上に描くといった作図に関する技能を高めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 作図のページでは、地図記号、縮尺、等高線の種類、方位について図表等を用いて説明し、作図に関する視点を示している。 地図記号の数は45 	<ul style="list-style-type: none"> 作図のページでは、地形図、地図記号、縮尺について図表等を用いて説明し、作図に関する視点を示している。 地図記号の数は49 																																																														
③歴史・公民との関連はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史、公民のそれぞれに関係する資料を「アイコン」を用いて示している。また、歴史的建造物等を地図上に示している。 歴史に関する資料の数16、公民に関する資料の数14 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史、公民のそれぞれに関係する資料を「アイコン」を用いて示している。また、歴史的建造物等を地図上に示している。 歴史に関する資料の数31、公民に関する資料の数15 																																																														

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【歴史的分野の目標】

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

技能 知識 及び	(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力、 思考力、 表現力等 判断	(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
力、 学びに 向かう 人間性等	(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 歴史の大きな流れ	①各時代を大観して時代の特色を捉える学習について、どのように示されているか。 ②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。
(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色	①歴史に関わる事象の意味や意義について、どのように示されているか。 ②伝統と文化の特色について、どのように示されているか。
(3) 国際関係や文化交流	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる学習について、どのように示されているか。

【 社会（歴史的分野） 】

観 点		発 行 者	2 東 書	1 7 教 出																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>42 (17)</td><td>34 (14)</td><td>46 (18)</td><td>100 (40)</td><td>30 (11)</td><td>252</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は47。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>8</td><td>16</td><td>14</td><td>24</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、イラストで歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方、歴史的な見方・考え方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は569。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は137であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>23</td><td>18</td><td>24</td><td>53</td><td>16</td></tr> </table> <p>・各章の導入2ページで、複数の絵図や写真、地図、年表により、章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は64。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	42 (17)	34 (14)	46 (18)	100 (40)	30 (11)	252	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	8	16	14	24	古	中世	近世	近代	現代	23	18	24	53	16	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>40 (15)</td><td>36 (13)</td><td>48 (18)</td><td>108 (41)</td><td>36 (13)</td><td>268</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は51。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>11</td><td>24</td><td>24</td><td>18</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、ゲーム形式で歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方、歴史的な見方・考え方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は455。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は31であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>14</td><td>19</td><td>40</td><td>13</td></tr> </table> <p>・各章の導入3ページで、複数の絵図や写真、地図、年表により、章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は72。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	40 (15)	36 (13)	48 (18)	108 (41)	36 (13)	268	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	11	24	24	18	古	中世	近世	近代	現代	16	14	19	40	13
	古	中世	近世	近代	現代	合計																																																										
	42 (17)	34 (14)	46 (18)	100 (40)	30 (11)	252																																																										
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																																													
8	16	14	24																																																													
古	中世	近世	近代	現代																																																												
23	18	24	53	16																																																												
古	中世	近世	近代	現代	合計																																																											
40 (15)	36 (13)	48 (18)	108 (41)	36 (13)	268																																																											
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																																													
11	24	24	18																																																													
古	中世	近世	近代	現代																																																												
16	14	19	40	13																																																												
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・章の構成として、章全体の学習課題と内容ごとの問い、歴史資料の提示、章末に学習の振り返りとまとめの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は382</p> <p>・資料（写真、動画、ワークシート、クイズ、用語解説）や外部サイトにつながる。</p>	<p>・章の構成として、章全体の学習課題と内容ごとの問い、歴史資料の提示、章末に学習の振り返りとまとめの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は22</p> <p>・資料（動画、クイズ）や外部サイトにつながる。</p>																																																													
統計等 挿絵 図表	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>92</td><td>136</td><td>43</td><td>72</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	92	136	43	72	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>91</td><td>116</td><td>45</td><td>42</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	91	116	45	42																																													
地図	年表	統計資料	テキスト																																																													
92	136	43	72																																																													
地図	年表	統計資料	テキスト																																																													
91	116	45	42																																																													
教科独自	歴史の大きな流れ	<p>①各時代を大観して時代の特色を捉える学習について、どのように示されているか。</p> <p>②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。</p>	<p>・時代の特色を捉える学習として、思考ツールにまとめ、要約をする活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>8</td><td>5</td><td>20</td><td>34</td><td>5</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	8	5	20	34	5	<p>・時代の特色を捉える学習として、時代の転換を中心に、要約をする活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>5</td><td>18</td><td>33</td><td>8</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	11	5	18	33	8																																								
	古	中世	近世	近代	現代																																																											
8	5	20	34	5																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
11	5	18	33	8																																																												
歴史に関わる事象の意味や意義 伝統と文化の特色	<p>①歴史に関わる事象の意味や意義について、どのように示されているか。</p> <p>②伝統と文化の特色について、どのように示されているか。</p>	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、3ページに「歴史に学ぶ」、274ページに「歴史に学び、未来へと生かそう」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>86</td><td>68</td><td>102</td><td>165</td><td>57</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載され、文化を中心とした学習を促す項目が2箇所示されている。関連ページ数12。</p>	古	中世	近世	近代	現代	86	68	102	165	57	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、1ページに「歴史学習のはじめに」、287ページに「歴史学習のおわりに」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>94</td><td>70</td><td>97</td><td>207</td><td>95</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載され、歴史を中心とした学習を促す項目が2箇所示されている。関連ページ数12。</p>	古	中世	近世	近代	現代	94	70	97	207	95																																									
古	中世	近世	近代	現代																																																												
86	68	102	165	57																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
94	70	97	207	95																																																												
国際関係や文化交流	①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる学習について、どのように示されているか。	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>15</td><td>7</td><td>14</td><td>42</td><td>11</td></tr> </table> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、本文、地図、写真、年表、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻、米中対立が記載されている。年表にイギリスのEU離脱が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	15	7	14	42	11	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>17</td><td>12</td><td>17</td><td>56</td><td>21</td></tr> </table> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、本文、地図、写真、年表、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	17	12	17	56	21																																									
古	中世	近世	近代	現代																																																												
15	7	14	42	11																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
17	12	17	56	21																																																												

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	46 帝国	81 山川																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>48 (17)</td><td>42 (14)</td><td>56 (19)</td><td>114 (39)</td><td>32 (11)</td><td>292</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は41。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>10</td><td>22</td><td>22</td><td>18</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、イラストで歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方、歴史的な見方・考え方、思考ツールの使い方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は526。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は65であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>16</td><td>23</td><td>50</td><td>15</td></tr> </table> <p>・各章の導入1ページで、複数の絵図や写真、年表により、章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は119。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	48 (17)	42 (14)	56 (19)	114 (39)	32 (11)	292	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	10	22	22	18	古	中世	近世	近代	現代	19	16	23	50	15	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>48 (18)</td><td>40 (15)</td><td>52 (19)</td><td>100 (37)</td><td>30 (11)</td><td>270</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は24。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>3</td><td>18</td><td>26</td><td>12</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、歴史上の人物から歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は802。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は102であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>15</td><td>11</td><td>19</td><td>37</td><td>10</td></tr> </table> <p>・各章の導入2ページで、複数の絵図や写真、年表が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は50</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	48 (18)	40 (15)	52 (19)	100 (37)	30 (11)	270	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	3	18	26	12	古	中世	近世	近代	現代	15	11	19	37	10
	古	中世	近世	近代	現代	合計																																																										
	48 (17)	42 (14)	56 (19)	114 (39)	32 (11)	292																																																										
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																																													
10	22	22	18																																																													
古	中世	近世	近代	現代																																																												
19	16	23	50	15																																																												
古	中世	近世	近代	現代	合計																																																											
48 (18)	40 (15)	52 (19)	100 (37)	30 (11)	270																																																											
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																																													
3	18	26	12																																																													
古	中世	近世	近代	現代																																																												
15	11	19	37	10																																																												
	資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・章の構成として、章全体の学習課題と内容ごとの問い、歴史資料の提示、章末に学習の振り返りとまとめの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は391</p> <p>・資料（写真、動画、ワークシート、用語解説）や外部サイトにつながる。</p>	<p>・章の構成として、章のあらましと年表、写真資料の提示、章末に学習の振り返りの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は38</p> <p>・資料（写真、動画）や外部サイトにつながる。</p>																																																												
	統計等 挿絵・図表	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>109</td><td>126</td><td>49</td><td>57</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	109	126	49	57	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>100</td><td>12</td><td>45</td><td>62</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	100	12	45	62																																												
地図	年表	統計資料	テキスト																																																													
109	126	49	57																																																													
地図	年表	統計資料	テキスト																																																													
100	12	45	62																																																													
教科独自	歴史の大きな流れ	<p>①各時代を大観して時代の特色を捉える学習について、どのように示されているか。</p> <p>②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。</p>	<p>・時代の特色を捉える学習として、イラストで時代を比較して要約をしたり、思考ツールを用いて対話をしたりする活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>7</td><td>5</td><td>9</td><td>20</td><td>20</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	7	5	9	20	20	<p>・時代の特色を捉える学習として、表にまとめる活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>13</td><td>7</td><td>23</td><td>47</td><td>13</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	13	7	23	47	13																																								
	古	中世	近世	近代	現代																																																											
7	5	9	20	20																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
13	7	23	47	13																																																												
歴史に関わる事象の意味や意義 伝統と文化の特色	<p>①歴史に関わる事象の意味や意義について、どのように示されているか。</p> <p>②伝統と文化の特色について、どのように示されているか。</p>	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、1ページに「歴史的な分野を学ぶ意義」、309ページに「おわりに」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>104</td><td>68</td><td>133</td><td>186</td><td>59</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載され、文化を中心とした学習を促す項目が2箇所示されている。関連ページ数11。</p>	古	中世	近世	近代	現代	104	68	133	186	59	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、1ページに「はじめに」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>91</td><td>90</td><td>92</td><td>190</td><td>59</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載され、歴史と文化の学習を促す項目が4箇所示されている。関連ページ数12。</p>	古	中世	近世	近代	現代	91	90	92	190	59																																									
古	中世	近世	近代	現代																																																												
104	68	133	186	59																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
91	90	92	190	59																																																												
国際関係や文化交流	<p>①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>11</td><td>22</td><td>44</td><td>21</td></tr> </table> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、本文、地図、写真、年表、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文にロシアのウクライナ侵攻、イギリスのEU離脱が記載されている。年表に新型コロナウイルス感染症が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	19	11	22	44	21	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>12</td><td>7</td><td>17</td><td>42</td><td>15</td></tr> </table> <p>・北方領土について、本文、地図、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・竹島について、地図、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・尖閣諸島について、地図、写真、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻、イギリスのEU離脱が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	12	7	17	42	15																																									
古	中世	近世	近代	現代																																																												
19	11	22	44	21																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
12	7	17	42	15																																																												

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	116 日文	225 自由社																																								
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>48 (17)</td><td>42 (14)</td><td>52 (18)</td><td>106 (38)</td><td>30 (13)</td><td>274</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は52。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>6</td><td>20</td><td>12</td><td>12</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、イラストや写真で歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方、歴史的な見方・考え方が示されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	48 (17)	42 (14)	52 (18)	106 (38)	30 (13)	274	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	6	20	12	12	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>50 (19)</td><td>36 (14)</td><td>44 (16)</td><td>106 (39)</td><td>33 (12)</td><td>269</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は43。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>7</td><td>10</td><td>41</td><td>18</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、歴史資料の説明、年代・時代区分の表し方、干支順位表が示されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	50 (19)	36 (14)	44 (16)	106 (39)	33 (12)	269	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	7	10	41	18
	古	中世	近世	近代	現代	合計																																						
	48 (17)	42 (14)	52 (18)	106 (38)	30 (13)	274																																						
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																									
6	20	12	12																																									
古	中世	近世	近代	現代	合計																																							
50 (19)	36 (14)	44 (16)	106 (39)	33 (12)	269																																							
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																									
7	10	41	18																																									
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・本文でゴシック体で示す用語数は531。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は47であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>20</td><td>16</td><td>21</td><td>47</td><td>16</td></tr> </table> <p>・各章の導入4ページで、複数の絵図や写真、地図、年表により、章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は44。</p>	古	中世	近世	近代	現代	20	16	21	47	16	<p>・本文中ゴシック体で示す用語数は625。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は22であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>13</td><td>16</td><td>41</td><td>11</td></tr> </table> <p>・各章の導入1ページで、複数の絵図や写真、年表が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は77。</p>	古	中世	近世	近代	現代	19	13	16	41	11																					
古	中世	近世	近代	現代																																								
20	16	21	47	16																																								
古	中世	近世	近代	現代																																								
19	13	16	41	11																																								
統計等 挿絵・図表	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>115</td><td>133</td><td>61</td><td>70</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	115	133	61	70	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>85</td><td>107</td><td>18</td><td>44</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	85	107	18	44																									
地図	年表	統計資料	テキスト																																									
115	133	61	70																																									
地図	年表	統計資料	テキスト																																									
85	107	18	44																																									
教科独自	歴史の大きな流れ	<p>①各時代を大観して時代の特色を捉える学習について、どのように示されているか。</p> <p>②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。</p>	<p>・時代の特色を捉える学習として、思考ツールにまとめ、要約をし、対話を促す活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>29</td><td>2</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	7	6	6	29	2	<p>・時代の特色を捉える学習として、歴史用語ミニ辞典の作成、要約をする活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>17</td><td>35</td><td>8</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	5	3	17	35	8																				
	古	中世	近世	近代	現代																																							
	7	6	6	29	2																																							
古	中世	近世	近代	現代																																								
5	3	17	35	8																																								
歴史に関わる事象の意義や意味	<p>①歴史に関わる事象の意味や意義について、どのように示されているか。</p> <p>②伝統と文化の特色について、どのように示されているか。</p>	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、巻頭1に「歴史を学ぶにあたって」、300ページに「歴史を学んで」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>105</td><td>80</td><td>140</td><td>186</td><td>78</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載され、文化を中心とした学習を促す項目が2個所示されている。関連ページ数14。</p>	古	中世	近世	近代	現代	105	80	140	186	78	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、2ページに「歴史を学ぶとは」、288ページに「日本の歴史の特色は何か」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>96</td><td>33</td><td>65</td><td>141</td><td>44</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載され、琉球処分とアイヌ文化の学習を促す項目が1個所示されている。関連ページ数7。</p>	古	中世	近世	近代	現代	96	33	65	141	44																					
古	中世	近世	近代	現代																																								
105	80	140	186	78																																								
古	中世	近世	近代	現代																																								
96	33	65	141	44																																								
国際関係や文化交流	<p>①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>18</td><td>7</td><td>18</td><td>47</td><td>18</td></tr> </table> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、本文、地図、写真、年表、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻が記載されている。年表にイギリスのEU離脱が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	18	7	18	47	18	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>18</td><td>8</td><td>17</td><td>60</td><td>23</td></tr> </table> <p>・北方領土、尖閣諸島について、本文、地図、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・竹島について、本文、地図、写真、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、年表に新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	18	8	17	60	23																					
古	中世	近世	近代	現代																																								
18	7	18	47	18																																								
古	中世	近世	近代	現代																																								
18	8	17	60	23																																								

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	227 育鵬社	229 学び舎																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>30 (12)</td><td>32 (13)</td><td>50 (20)</td><td>98 (40)</td><td>36 (15)</td><td>246</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は47。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>10</td><td>10</td><td>30</td><td>12</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、年表や人物カードで歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方、歴史的な見方・考え方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は581。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は31であり、本文の補足説明も記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>16</td><td>16</td><td>26</td><td>46</td><td>14</td></tr> </table> <p>・各章の導入4ページで、複数の絵図や写真、地図、年表により、章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は33。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	30 (12)	32 (13)	50 (20)	98 (40)	36 (15)	246	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	10	10	30	12	古	中世	近世	近代	現代	16	16	26	46	14	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th><th>合計</th></tr> <tr><td>44 (16)</td><td>32 (12)</td><td>50 (19)</td><td>110 (40)</td><td>36 (13)</td><td>272</td></tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は36。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>歴史の捉え方</th><th>地域の歴史</th><th>課題学習</th><th>各時代のまとめ</th></tr> <tr><td>4</td><td>2</td><td>24</td><td>17</td></tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、年表や人物・できごとカードで歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は0。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は0であり、本文の補足説明が記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>19</td><td>15</td><td>21</td><td>48</td><td>16</td></tr> </table> <p>・各章の導入2ページで、複数の絵図や写真、地図、年表により、章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は93。</p>	古	中世	近世	近代	現代	合計	44 (16)	32 (12)	50 (19)	110 (40)	36 (13)	272	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	4	2	24	17	古	中世	近世	近代	現代	19	15	21	48	16
	古	中世	近世	近代	現代	合計																																																										
	30 (12)	32 (13)	50 (20)	98 (40)	36 (15)	246																																																										
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																																													
10	10	30	12																																																													
古	中世	近世	近代	現代																																																												
16	16	26	46	14																																																												
古	中世	近世	近代	現代	合計																																																											
44 (16)	32 (12)	50 (19)	110 (40)	36 (13)	272																																																											
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																																																													
4	2	24	17																																																													
古	中世	近世	近代	現代																																																												
19	15	21	48	16																																																												
	資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・章の構成として、章全体の学習課題と内容ごとの問い、歴史絵巻の提示、章末に学習の振り返りとまとめの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は41</p> <p>・外部サイトにつながる。</p>	<p>・章の構成として、章全体の学習課題と地図・写真資料の提示、章末に学習の振り返りの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードはない。</p>																																																												
	統計等	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>116</td><td>130</td><td>51</td><td>41</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	116	130	51	41	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>地図</th><th>年表</th><th>統計資料</th><th>テキスト</th></tr> <tr><td>117</td><td>27</td><td>37</td><td>61</td></tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	117	27	37	61																																												
地図	年表	統計資料	テキスト																																																													
116	130	51	41																																																													
地図	年表	統計資料	テキスト																																																													
117	27	37	61																																																													
教科独自	歴史の大きな流れ	<p>①各時代を大観して時代の特色を捉える学習について、どのように示されているか。</p> <p>②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。</p>	<p>・時代の特色を捉える学習として、歴史資料を読み取り、要約をし、対話を促す活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>6</td><td>3</td><td>14</td><td>39</td><td>6</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	6	3	14	39	6	<p>・時代の特色を捉える学習として、歴史人物インタビューの活動、要約をし、対話を促す活動が示されている。</p> <p>・人物索引中にある外国の人物の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>6</td><td>15</td><td>35</td><td>6</td></tr> </table>	古	中世	近世	近代	現代	11	6	15	35	6																																								
	古	中世	近世	近代	現代																																																											
6	3	14	39	6																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
11	6	15	35	6																																																												
	歴史に関わる事象の意味や意義、義、伝統と文化の特色	<p>①歴史に関わる事象の意味や意義について、どのように示されているか。</p> <p>②伝統と文化の特色について、どのように示されているか。</p>	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、8ページに「歴史の旅を始めよう」、284ページに「歴史の旅の終わりに」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>79</td><td>58</td><td>92</td><td>66</td><td>80</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載されている。関連ページ数6。</p>	古	中世	近世	近代	現代	79	58	92	66	80	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、4ページに「歴史と出会う -6月23日沖縄で」、281ページに「歴史学習を終えて」で生徒の感想が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>86</td><td>56</td><td>115</td><td>209</td><td>77</td></tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載されている。関連ページ数6。</p>	古	中世	近世	近代	現代	86	56	115	209	77																																								
古	中世	近世	近代	現代																																																												
79	58	92	66	80																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
86	56	115	209	77																																																												
	国際関係や文化交流	<p>①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>11</td><td>7</td><td>14</td><td>45</td><td>17</td></tr> </table> <p>・北方領土、竹島、尖閣諸島について、本文、地図、写真、年表、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症が記載されている。年表にロシアのウクライナ侵攻が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	11	7	14	45	17	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th>古</th><th>中世</th><th>近世</th><th>近代</th><th>現代</th></tr> <tr><td>10</td><td>8</td><td>20</td><td>58</td><td>19</td></tr> </table> <p>・北方領土について本文、解説・コラムを用いて扱われている。</p> <p>・竹島、尖閣諸島について、解説・コラムによって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症、ロシアのウクライナ侵攻が記載されている。</p>	古	中世	近世	近代	現代	10	8	20	58	19																																								
古	中世	近世	近代	現代																																																												
11	7	14	45	17																																																												
古	中世	近世	近代	現代																																																												
10	8	20	58	19																																																												

【 社会（歴史的分野） 】

観点		発行者	236 令 書																														
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るため、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・時代区分別ページ数と割合（％）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>古くまで</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>101 (22)</td> <td>64 (15)</td> <td>86 (20)</td> <td>142 (32)</td> <td>49 (11)</td> <td>442</td> </tr> </table> <p>・巻頭、巻末等のページ数は80。</p> <p>・歴史の捉え方や地域の歴史等のページ数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>歴史の捉え方</th> <th>地域の歴史</th> <th>課題学習</th> <th>各時代のまとめ</th> </tr> <tr> <td>7</td> <td>15</td> <td>40</td> <td>24</td> </tr> </table> <p>・歴史的分野の導入として、小学校での学習を踏まえ、人物・文化カードで歴史の流れを振り返る活動や、年代・時代区分の表し方が示されている。</p> <p>・本文中ゴシック体で示す用語数は1083。</p> <p>・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は0であり、本文の補足説明が記載されている。</p> <p>・時代区分別の説明、追突、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>古くまで</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>46</td> <td>21</td> <td>27</td> <td>47</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>・各章の導入1ページで、年表と章の学習課題が示されている。</p> <p>・コラム、補助資料や学習の手引き等を示した項目の数は38。</p>	古くまで	中世	近世	近代	現代	合計	101 (22)	64 (15)	86 (20)	142 (32)	49 (11)	442	歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ	7	15	40	24	古くまで	中世	近世	近代	現代	46	21	27	47	15
	古くまで	中世	近世	近代	現代	合計																											
	101 (22)	64 (15)	86 (20)	142 (32)	49 (11)	442																											
歴史の捉え方	地域の歴史	課題学習	各時代のまとめ																														
7	15	40	24																														
古くまで	中世	近世	近代	現代																													
46	21	27	47	15																													
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・章の構成として、章全体の学習課題と年表の提示、章末に学習の振り返りとまとめの活動が示されている。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は1</p> <p>・漫画「承久の乱」につながる。</p>																															
統計等 挿絵・図表	<p>①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。</p>	<p>・資料の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>地図</th> <th>年表</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> </tr> <tr> <td>55</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>88</td> </tr> </table>	地図	年表	統計資料	テキスト	55	17	7	88																							
地図	年表	統計資料	テキスト																														
55	17	7	88																														
教科独自	歴史の大きな流れ	<p>①各時代を大観して時代の特色を捉える学習について、どのように示されているか。</p> <p>②我が国の歴史の背景となる世界の歴史が、どのように示されているか。</p>	<p>・時代の特色を捉える学習として、表や新聞にまとめる活動が示されている。</p> <p>・人物索引はないが、本文中に外国の人物に関する記載がある。</p>																														
	歴史に関わる事象の意味や意義、義、伝統と文化の特色	<p>①歴史に関わる事象の意味や意義について、どのように示されているか。</p> <p>②伝統と文化の特色について、どのように示されているか。</p>	<p>・歴史を学ぶ意味や意義について、4ページに「この教科書の課題」、460ページに「歴史小説・歴史漫画を読むときの注意」が示されている。</p> <p>・現在に伝わる文化遺産の写真や図絵の数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>古くまで</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>29</td> <td>30</td> <td>44</td> <td>42</td> <td>16</td> </tr> </table> <p>・琉球やアイヌの人々について、本文やコラムで記載されている。関連ページ数8。</p>	古くまで	中世	近世	近代	現代	29	30	44	42	16																				
	古くまで	中世	近世	近代	現代																												
29	30	44	42	16																													
国際関係や文化交流	<p>①国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考えさせる学習について、どのように示されているか。</p>	<p>・国際関係、文化交流に関する学習箇所は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr> <th>古くまで</th> <th>中世</th> <th>近世</th> <th>近代</th> <th>現代</th> </tr> <tr> <td>15</td> <td>4</td> <td>13</td> <td>27</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>・北方領土、尖閣諸島について、本文、地図によって示されている。</p> <p>・竹島について、本文によって示されている。</p> <p>・令和以降の世界情勢について、本文に新型コロナウイルス感染症、米中対立が記載されている。脚注にロシアのウクライナ侵攻、イギリスのEU離脱が記載されている。</p>	古くまで	中世	近世	近代	現代	15	4	13	27	8																					
古くまで	中世	近世	近代	現代																													
15	4	13	27	8																													

1 学習指導要領に示された目標

【社会科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【公民的分野の目標】

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

能 知 識 及 び 技	(1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
力 思 考 力 、 判 断 等	(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
等 学 力 、 学 び に 向 か う 人 間 性	(3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 基本的人権の尊重、国民主権に関する学習	①自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。
(2) 政治、経済、社会生活、国際関係に関する学習	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。
(3) 国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。
(4) 社会参画に関する学習	①現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことについて、どのように示されているか。

【 社会（公民的分野） 】

観 点		発 行 者	2 東 書	1 7 教 出																																				
教科 共 通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとのページ数及び割合は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>31 (14%)</td> <td>52 (24%)</td> <td>92 (42%)</td> <td>43 (20%)</td> <td>218 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭及び巻末のページ数は30 ・各単元の導入ページ数は概ね3 ・各単元のまとめのページ数は4 ・単元の扉ページで、小学校で学習した用語、他分野で学習した写真等を示している。単元内の各ページで、小学校や他分野で学習した内容を示している。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	31 (14%)	52 (24%)	92 (42%)	43 (20%)	218 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとのページ数及び割合は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>26 (12%)</td> <td>64 (28%)</td> <td>90 (40%)</td> <td>45 (20%)</td> <td>225 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭及び巻末のページ数は47 ・各単元の導入ページ数は概ね3 ・各単元のまとめのページ数は3 ・単元内の各ページで、小学校や他分野で学習した内容を示している。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	26 (12%)	64 (28%)	90 (40%)	45 (20%)	225 (100%)																
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
		31 (14%)	52 (24%)	92 (42%)	43 (20%)	218 (100%)																																		
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
26 (12%)	64 (28%)	90 (40%)	45 (20%)	225 (100%)																																				
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中ゴシック体で示されている用語の数は430 ・単元のまとめに、基礎的・基本的な用語（教科書に記載されているページ数を明記）が示され、穴埋め形式で、学習内容の振り返りが設定されている。 ・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>13</td> <td>31</td> <td>42</td> <td>13</td> <td>99</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	13	31	42	13	99	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中ゴシック体で示されている用語の数は426 ・単元のまとめに、穴埋め形式で、基礎的・基本的な用語の確認、学習内容の振り返りが設定されている。 ・知識及び技能の習得を図るコーナーの数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>35</td> <td>43</td> <td>16</td> <td>102</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	8	35	43	16	102																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
13	31	42	13	99																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
8	35	43	16	102																																				
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとの説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>15</td> <td>27</td> <td>40</td> <td>16</td> <td>98</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・マトリクス、座標軸等の思考ツールを紹介している。思考ツール等を使って話し合い活動を促す箇所が50箇所で設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	15	27	40	16	98	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとの説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>12</td> <td>31</td> <td>41</td> <td>16</td> <td>100</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・PMI、クラゲチャート等の思考ツールを紹介している。ディベート等で話し合い活動を促す箇所が12箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	12	31	41	16	100																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
15	27	40	16	98																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
12	31	41	16	100																																				
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムや補助資料等の数は44 ・調べ学習は、「課題把握」「課題探究」「意思決定」「提案参加」が8ページで構成され、例やヒントが付けられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラムや補助資料等の数は56 ・調べ学習は、「学習課題の設定」「私の提案」「発表、意見交換」が7ページで構成され、例やヒントが付けられている。 																																						
資料 等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取るヒントを示す箇所は90 ・二次元コードからつながるコンテンツの数は332 ・資料（写真や動画、記入可能なワークシート、クイズ等）や外部サイトにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取るヒントを示す箇所は27 ・二次元コードからつながるコンテンツの数は32 ・資料（動画、クイズ、まとめのワーク等）や外部サイトにつながる。 																																					
統計 等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・項目別資料数次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>新聞記事</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>27</td> <td>72</td> <td>54</td> <td>154</td> </tr> </table>	新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表	27	72	54	154	<ul style="list-style-type: none"> ・項目別資料数次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>新聞記事</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>74</td> <td>33</td> <td>136</td> </tr> </table>	新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表	3	74	33	136																					
新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表																																					
27	72	54	154																																					
新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表																																					
3	74	33	136																																					
教科 独 自	重 ん ず る 学 習	①自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとの自由・権利、責任・義務の内容が示されている数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>8</td> <td>52</td> <td>2</td> <td>64</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>2</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>18</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	8	52	2	64	責任・義務	2	7	9	0	18	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとの自由・権利、責任・義務の内容が示されている数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>1</td> <td>6</td> <td>52</td> <td>8</td> <td>67</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	1	6	52	8	67	責任・義務	3	6	7	0	16
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																	
		自由・権利	2	8	52	2	64																																	
		責任・義務	2	7	9	0	18																																	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
自由・権利	1	6	52	8	67																																			
責任・義務	3	6	7	0	16																																			
政治・経済・社会生活 に関する学習	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>28</td> <td>64</td> <td>12</td> <td>107</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	28	64	12	107	<ul style="list-style-type: none"> ・大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>43</td> <td>83</td> <td>20</td> <td>149</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	43	83	20	149																	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
3	28	64	12	107																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
3	43	83	20	149																																				
国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「これからの日本のエネルギーを考える」「パレスチナ問題と中東和平」「『沖縄復帰50周年』と、日本と世界の平和」が示されている。 ・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図・絵図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事	3	7	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ、外交の役割は重要なのだろうか」「なぜ、子どもたちのためにSDGsを達成すべきなのだろうか」が示されている。 ・北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図・絵図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事	2	4	2	0	0																	
	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事																																			
3	7	5	0	1																																				
ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事																																				
2	4	2	0	0																																				
学習	①現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙権年齢の引き下げ、成年年齢の引き下げについて、「18歳へのステップ」という項目を設け、「18歳でできること、20歳でできること」「選挙の流れ」「契約と支払方法のあれこれ」が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙権年齢の引き下げ、成年年齢の引き下げについて、単元内で、日本と各国の選挙権年齢、被選挙権年齢、成人年齢の比較が示されている。 																																					

【 社会（公民的分野） 】

観点		発行者	46 帝国	116 日文																																				
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>28 (13%)</td> <td>66 (29%)</td> <td>86 (38%)</td> <td>44 (20%)</td> <td>224 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は40 各単元の導入ページ数は概ね3 各単元のまとめのページ数は概ね3 単元の扉ページで、小学校で学習した用語、他分野で学習した写真を示している。単元内の各ページで、小学校や他分野で学習した内容を示している。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	28 (13%)	66 (29%)	86 (38%)	44 (20%)	224 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>32 (14%)</td> <td>60 (27%)</td> <td>90 (40%)</td> <td>44 (19%)</td> <td>226 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は50 各単元の導入ページ数は概ね2 各単元のまとめのページ数は2 単元の扉ページで、小学校で学習した用語を示している。単元内の各ページで、他分野で学習した内容を示している。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	32 (14%)	60 (27%)	90 (40%)	44 (19%)	226 (100%)																
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
		28 (13%)	66 (29%)	86 (38%)	44 (20%)	224 (100%)																																		
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
32 (14%)	60 (27%)	90 (40%)	44 (19%)	226 (100%)																																				
②基礎的・基本的な知識及び技能の確かな習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示されている用語の数は463 単元のまとめに、基礎的・基本的な用語が示され、穴埋め形式で学習内容の振り返りが設定されている。 知識及び技能の習得を図るコーナーの数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>31</td> <td>54</td> <td>18</td> <td>116</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	31	54	18	116	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示されている用語の数は394 単元のまとめに、基礎的・基本的な用語が示され、穴埋め形式で学習内容の振り返りが設定されている。 知識及び技能の習得を図るコーナーの数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>22</td> <td>34</td> <td>12</td> <td>78</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	10	22	34	12	78																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
3	31	54	18	116																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
10	22	34	12	78																																				
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>13</td> <td>28</td> <td>38</td> <td>15</td> <td>94</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ウェビング、Yチャート等の思考ツールを紹介している。思考ツール等を使って話し合い活動を促す箇所が24箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	13	28	38	15	94	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>14</td> <td>27</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>96</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> フリーカード法、ダイヤモンドランキング等の思考ツールを紹介している。思考ツール等を使って話し合い活動を促す箇所が56箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	14	27	40	15	96																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
13	28	38	15	94																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
14	27	40	15	96																																				
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> コラムや補助資料等の数は43 調べ学習は、「課題を決めよう」「資料を集めよう」「考察しよう」「レポートを書こう」が8ページで構成され、例やまとめ方が付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コラムや補助資料等の数は32 調べ学習は、「テーマ設定」「資料の収集と読み取り」「考察と構想」「まとめと評価」が9ページで構成され、例やヒントが付されている。 																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取るヒントを示す箇所は50 二次元コードからつながるコンテンツの数は728 資料（ワークシート、図解アニメーション、統計資料等）や外部サイトにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取るヒントを示す箇所は28 二次元コードからつながるコンテンツの数は277 資料（小テスト、ワークシート、動画等）や外部サイトにつながる。 																																					
統計等 挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>新聞記事</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>105</td> <td>16</td> <td>152</td> </tr> </table>	新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表	4	105	16	152	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>新聞記事</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>14</td> <td>100</td> <td>7</td> <td>88</td> </tr> </table>	新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表	14	100	7	88																					
新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表																																					
4	105	16	152																																					
新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表																																					
14	100	7	88																																					
教科 独自	重んずる学習 基本的な人権の尊重 国民主権に関する学習 政治・経済・社会生活 国際関係に関する学習 国際理解に関する学習 社会参画に関する学習	①自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの自由・権利、責任・義務の内容が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>3</td> <td>55</td> <td>2</td> <td>62</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>2</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>18</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	3	55	2	62	責任・義務	2	7	9	0	18	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの自由・権利、責任・義務の内容が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>8</td> <td>49</td> <td>3</td> <td>62</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>2</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>17</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	8	49	3	62	責任・義務	2	6	9	0	17
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																	
		自由・権利	2	3	55	2	62																																	
		責任・義務	2	7	9	0	18																																	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
自由・権利	2	8	49	3	62																																			
責任・義務	2	6	9	0	17																																			
①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>26</td> <td>59</td> <td>16</td> <td>104</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	26	59	16	104	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>21</td> <td>65</td> <td>10</td> <td>97</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	1	21	65	10	97																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
3	26	59	16	104																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
1	21	65	10	97																																				
①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「2040年の日本の電源構成案を提案しよう」「脱炭素社会の実現に向けて地方公共団体の挑戦」「持続可能な社会に向けて大阪・関西万博」が示されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料の数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図・絵図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事	2	2	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 「SDGsから未来の社会を考えよう」「地球温暖化に対する政策について考えよう」が示されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料の数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図・絵図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事	4	6	3	0	0																		
ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事																																				
2	2	4	0	0																																				
ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事																																				
4	6	3	0	0																																				
①現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わりようとする態度を養うことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢の引き下げ、成年年齢の引き下げについて、「18歳への準備」という項目を設け、「メディアリテラシーを身につけよう」「契約について考えよう」「ライフプランから金融を考えよう」が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢の引き下げ、成年年齢の引き下げについて、単元内で、「少年法における18歳と19歳のあつかい」が示されている。「15歳は『子ども』？それとも『大人』？」「契約について考えよう」が示されている。 																																						

【 社会（公民的分野） 】

観点		発行者	225 自由社	227 育聯社																																				
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>42 (19%)</td> <td>44 (20%)</td> <td>78 (35%)</td> <td>60 (27%)</td> <td>224 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は48 各単元の導入ページ数は概ね1 各単元のまとめのページ数は1 小学校や他分野で学習した内容を示す項目はなし。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	42 (19%)	44 (20%)	78 (35%)	60 (27%)	224 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとのページ数及び割合は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>私たちと現代社会</th> <th>私たちと経済</th> <th>私たちと政治</th> <th>私たちと国際社会の諸課題</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>28 (14%)</td> <td>54 (26%)</td> <td>80 (39%)</td> <td>43 (21%)</td> <td>205 (100%)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 巻頭及び巻末のページ数は59 各単元の導入ページ数は概ね3 各単元のまとめのページ数は3 単元の扉ページで、小学校で学習した用語を示している。単元内の各ページでは、他分野で学習した内容を示している。 	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計	28 (14%)	54 (26%)	80 (39%)	43 (21%)	205 (100%)																
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
		42 (19%)	44 (20%)	78 (35%)	60 (27%)	224 (100%)																																		
		私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	合計																																		
28 (14%)	54 (26%)	80 (39%)	43 (21%)	205 (100%)																																				
②基礎的・基本的な知識及び技能の確かな習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示されている用語の数は452 単元のまとめに、基礎的・基本的な用語が示されている。 知識及び技能の習得を図るコーナーの数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>13</td> <td>17</td> <td>27</td> <td>15</td> <td>72</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	13	17	27	15	72	<ul style="list-style-type: none"> 本文中ゴシック体で示されている用語の数は394 単元のまとめに、基礎的・基本的な用語が示され、穴埋め形式で学習内容の振り返りが設定されている。 知識及び技能の習得を図るコーナーの数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>11</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>18</td> <td>108</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	11	32	47	18	108																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
13	17	27	15	72																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
11	32	47	18	108																																				
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>15</td> <td>18</td> <td>29</td> <td>17</td> <td>89</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> マトリクス、ランキング等の思考ツールを紹介している。思考ツール等を使って話し合い活動を促す箇所が29箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	15	18	29	17	89	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの説明、追究、意見交換を促す課題の数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>14</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>15</td> <td>91</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> マトリクス、ランキング等の思考ツールを紹介している。思考ツール等を使って話し合い活動を促す箇所が12箇所設けられている。 	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	14	26	36	15	91																		
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
15	18	29	17	89																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
14	26	36	15	91																																				
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> コラムや補助資料等の数は67 調べ学習は、「レポートと卒業論文をつくらう」「ディベートをやってみよう」が10ページで構成され、例やヒントが付されている。 	<ul style="list-style-type: none"> コラムや補助資料等の数は45 調べ学習は、「テーマ決め」「課題探求の計画立て」「プレゼンテーション」「内容の見直し」が7ページで構成され、例やヒントが付されている。 																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取るヒントを示す箇所は29 二次元コードはなし。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取るヒントを示す箇所は52 二次元コードからつながるコンテンツの数は58 外部サイトにつながる。 																																					
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>新聞記事</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>42</td> <td>4</td> <td>68</td> </tr> </table>	新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表	5	42	4	68	<ul style="list-style-type: none"> 項目別資料数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>新聞記事</th> <th>統計資料</th> <th>テキスト</th> <th>図解・図表</th> </tr> <tr> <td>20</td> <td>91</td> <td>20</td> <td>79</td> </tr> </table>	新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表	20	91	20	79																					
新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表																																					
5	42	4	68																																					
新聞記事	統計資料	テキスト	図解・図表																																					
20	91	20	79																																					
教科 独自	重 国民 民主 権に 関 する 学習	①自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義について個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの自由・権利、責任・義務の内容が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>9</td> <td>4</td> <td>41</td> <td>8</td> <td>62</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>0</td> <td>3</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	9	4	41	8	62	責任・義務	0	3	10	0	13	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの自由・権利、責任・義務の内容が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th></th> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <th>自由・権利</th> <td>2</td> <td>6</td> <td>43</td> <td>4</td> <td>55</td> </tr> <tr> <th>責任・義務</th> <td>3</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> </table>		現代社会	経済	政治	国際社会	合計	自由・権利	2	6	43	4	55	責任・義務	3	5	9	1	18
			現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																	
		自由・権利	9	4	41	8	62																																	
責任・義務	0	3	10	0	13																																			
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
自由・権利	2	6	43	4	55																																			
責任・義務	3	5	9	1	18																																			
政治・経済・社会生活 国際関係に関する学習	①民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>3</td> <td>30</td> <td>60</td> <td>29</td> <td>122</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	3	30	60	29	122	<ul style="list-style-type: none"> 大項目ごとの法律・条例、制度や仕組みの名称が示されている数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>現代社会</th> <th>経済</th> <th>政治</th> <th>国際社会</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>29</td> <td>61</td> <td>13</td> <td>108</td> </tr> </table>	現代社会	経済	政治	国際社会	合計	5	29	61	13	108																	
	現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																			
3	30	60	29	122																																				
現代社会	経済	政治	国際社会	合計																																				
5	29	61	13	108																																				
国際理解に関する学習	①各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「国旗と国歌を考えてみよう」「海をめぐる国益の衝突」「国車改革とわが国の取り組み」「近隣諸国の人権問題」「日本人拉致問題」「国際平和協力活動への取り組み」が示されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料の数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図・絵図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事	5	3	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 「拉致問題と私たち」「ゲーム理論から考える国際問題」が示されている。 北方領土、竹島、尖閣諸島が扱われているページ数と資料の数も次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <th>ページ</th> <th>写真</th> <th>地図・絵図</th> <th>年表</th> <th>新聞記事</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table>	ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事	4	6	4	0	1																	
ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事																																				
5	3	3	1	0																																				
ページ	写真	地図・絵図	年表	新聞記事																																				
4	6	4	0	1																																				
学習者 社会参画に関する	①現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする態度を養うことについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢の引き下げ、成年年齢の引き下げについて、単元内で、選挙権年齢が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢の引き下げ、成年年齢の引き下げについて、単元内で、選挙権年齢、裁判員・検察審査員年齢の引き下げが示されている。 																																					

1 学習指導要領に示された目標

【数学科の目標】

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年	第3学年
知識及び技能	(1) 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	(1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	(1) 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	(2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。	(2) 数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多面的に捉え考えようとする態度を養う。	(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。	(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) データの活用	① データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。
(2) 数学的活動	① 事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。
(3) 小学校との接続	① 生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。

【 数 学 】

観点		発行者	2 東 書				4 大日本																																																																																																															
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>106</td> <td>46</td> <td>82</td> <td>36.9</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>68</td> <td>66</td> <td>84</td> <td>34.4</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>40</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>17.7</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>24</td> <td>32</td> <td>14</td> <td>11.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>238</td> <td>182</td> <td>214</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・総単元数は23。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71</td> <td>71</td> <td>81</td> <td>223</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>113</td> <td>48</td> <td>31</td> <td>192</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>107</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を黒太字とキャラクターのマークの横に示し、「問題」を色枠黒太字で示している。 ・吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 					1年	2年	3年	割合(%)	数と式	106	46	82	36.9	図形	68	66	84	34.4	関数	40	38	34	17.7	データの活用	24	32	14	11.0	合計	238	182	214	100	1年	2年	3年	合計	71	71	81	223	1年	2年	3年	合計	113	48	31	192	1年	2年	3年	合計	47	34	26	107	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>112</td> <td>54</td> <td>90</td> <td>38.6</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>74</td> <td>70</td> <td>82</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>40</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>18</td> <td>11.4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>252</td> <td>182</td> <td>224</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・総単元数は22。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67</td> <td>66</td> <td>77</td> <td>223</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>147</td> <td>61</td> <td>35</td> <td>243</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字赤枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61</td> <td>61</td> <td>45</td> <td>167</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を黒太字、「思い出そう」で関連する既習事項を示している。 ・吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 					1年	2年	3年	割合(%)	数と式	112	54	90	38.6	図形	74	70	82	34.0	関数	40	32	34	16.0	データの活用	26	32	18	11.4	合計	252	182	224	100	1年	2年	3年	合計	67	66	77	223	1年	2年	3年	合計	147	61	35	243	1年	2年	3年	合計	61	61	45	167
			1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																																
		数と式	106	46	82	36.9																																																																																																																
		図形	68	66	84	34.4																																																																																																																
関数	40	38	34	17.7																																																																																																																		
データの活用	24	32	14	11.0																																																																																																																		
合計	238	182	214	100																																																																																																																		
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
71	71	81	223																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
113	48	31	192																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
47	34	26	107																																																																																																																			
	1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																																		
数と式	112	54	90	38.6																																																																																																																		
図形	74	70	82	34.0																																																																																																																		
関数	40	32	34	16.0																																																																																																																		
データの活用	26	32	18	11.4																																																																																																																		
合計	252	182	224	100																																																																																																																		
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
67	66	77	223																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
147	61	35	243																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
61	61	45	167																																																																																																																			
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「デジタルコンテンツの使い方」「大切にしたい数学の学び方」「数学マイノート」を示している。 ・単元末に2つの難易度で構成された「章の問題」、巻末に「補充の問題」「数学の自由研究」を設定している。 ・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>313</td> </tr> </tbody> </table>					合計	解説動画	9	アニメーション	40	シミュレーション	313	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「教科書の使い方」「数学の世界へようこそ」「ノートの作り方」を示している。 ・単元末に2つの難易度で構成された問題「ふり返ろう」「力をのぼそう」、巻末に「課題学習」「補充問題」「総合問題」が設定されている。 ・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>					合計	解説動画	0	アニメーション	2	シミュレーション	30																																																																																													
			合計																																																																																																																			
解説動画	9																																																																																																																					
アニメーション	40																																																																																																																					
シミュレーション	313																																																																																																																					
	合計																																																																																																																					
解説動画	0																																																																																																																					
アニメーション	2																																																																																																																					
シミュレーション	30																																																																																																																					
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>159</td> <td>113</td> <td>115</td> <td>387</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>157</td> <td>128</td> <td>138</td> <td>423</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	159	113	115	387	1年	2年	3年	合計	157	128	138	423	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>132</td> <td>89</td> <td>110</td> <td>331</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>161</td> <td>118</td> <td>135</td> <td>414</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	132	89	110	331	1年	2年	3年	合計	161	118	135	414																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																																	
159	113	115	387																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
157	128	138	423																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
132	89	110	331																																																																																																																			
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
161	118	135	414																																																																																																																			
教科独自	データの活用	<ul style="list-style-type: none"> ①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	17	6	3	26	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	19	12	3	34																																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																																	
	17	6	3	26																																																																																																																		
1年	2年	3年	合計																																																																																																																			
19	12	3	34																																																																																																																			
数学的活動	①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>29</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>82</td> <td>55</td> <td>82</td> <td>219</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	29	19	17	65	数学の事象から問題を見だし解決する活動	82	55	82	219	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>32</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>124</td> <td>71</td> <td>90</td> <td>285</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	32	22	19	73	数学の事象から問題を見だし解決する活動	124	71	90	285																																																																															
			1年	2年	3年	合計																																																																																																																
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	29	19	17	65																																																																																																																		
数学の事象から問題を見だし解決する活動	82	55	82	219																																																																																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																																																																																		
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	32	22	19	73																																																																																																																		
数学の事象から問題を見だし解決する活動	124	71	90	285																																																																																																																		
小学校との接続	①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は4。巻末のP256～259で扱っている。 ・分数の計算や比の値、速さの公式について朱書きで示している。 ・巻末P250～255の「数学の目でふり返ろう」において、小中の学習内容のつながりを示している。 				<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は6。巻末のP280～285で扱っている。 ・分数の計算や計算のきまり、文字を使った式についての考え方を示している。 ・小学校のどの学年で学習したかを示している。 																																																																																																																

【 数 学 】

観点		発行者	11 学 区	17 教 出																																																																																																												
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>120</td> <td>59</td> <td>91</td> <td>37.3</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>72</td> <td>74</td> <td>100</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>42</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>16.6</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>19</td> <td>12.2</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>266</td> <td>208</td> <td>250</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・総単元数は22。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>62</td> <td>63</td> <td>80</td> <td>205</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>119</td> <td>52</td> <td>39</td> <td>210</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字色枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>44</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>139</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を赤枠囲み、「問題」をQの見出しで示し、吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 ・場面ごとに必要な「見方や考え方」がマークとともに示している。 		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	120	59	91	37.3	図形	72	74	100	34.0	関数	42	38	40	16.6	データの活用	32	37	19	12.2	合 計	266	208	250	100	1年	2年	3年	合計	62	63	80	205	1年	2年	3年	合計	119	52	39	210	1年	2年	3年	合計	44	48	47	139	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>125</td> <td>57</td> <td>93</td> <td>38.6</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>74</td> <td>80</td> <td>94</td> <td>34.8</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>32</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>17</td> <td>12.1</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>267</td> <td>210</td> <td>236</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・総単元数は23。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>71</td> <td>56</td> <td>70</td> <td>197</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>122</td> <td>51</td> <td>28</td> <td>201</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字色枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>72</td> <td>60</td> <td>41</td> <td>173</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」のマークが書かれており、「問題」はQの見出しで示している。 ・吹き出しまたはオレンジ色の枠囲みで解決の見通しやヒントを示している。 		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	125	57	93	38.6	図形	74	80	94	34.8	関数	36	36	32	14.6	データの活用	32	37	17	12.1	合 計	267	210	236	100	1年	2年	3年	合計	71	56	70	197	1年	2年	3年	合計	122	51	28	201	1年	2年	3年	合計	72	60	41	173
			1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																										
		数と式	120	59	91	37.3																																																																																																										
		図形	72	74	100	34.0																																																																																																										
関数	42	38	40	16.6																																																																																																												
データの活用	32	37	19	12.2																																																																																																												
合 計	266	208	250	100																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
62	63	80	205																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
119	52	39	210																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
44	48	47	139																																																																																																													
	1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																												
数と式	125	57	93	38.6																																																																																																												
図形	74	80	94	34.8																																																																																																												
関数	36	36	32	14.6																																																																																																												
データの活用	32	37	17	12.1																																																																																																												
合 計	267	210	236	100																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
71	56	70	197																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
122	51	28	201																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
72	60	41	173																																																																																																													
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書を使った数学の学び方」「ノートの使い方」を示している。 ・単元末に3つの難易度で構成された「まとめの問題」、巻末に「疑問を考えよう」「学年の復習」を設定している。 ・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>		合計	解説動画	2	アニメーション	50	シミュレーション	98	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「教科書の使い方」「みんなで数学をはじめよう」「大切にしたい数学的な見方・考え方」等を示している。 ・単元末に3つの難易度で構成された「章の問題」、「学んだことを活用しよう」、巻末に「学んだことを活用しよう+」「補充問題・実力アップ問題」を設定している。 ・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table>		合計	解説動画	14	アニメーション	41	シミュレーション	43																																																																																													
			合計																																																																																																													
解説動画	2																																																																																																															
アニメーション	50																																																																																																															
シミュレーション	98																																																																																																															
	合計																																																																																																															
解説動画	14																																																																																																															
アニメーション	41																																																																																																															
シミュレーション	43																																																																																																															
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>170</td> <td>109</td> <td>128</td> <td>407</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>161</td> <td>132</td> <td>136</td> <td>429</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	170	109	128	407	1年	2年	3年	合計	161	132	136	429	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>184</td> <td>131</td> <td>135</td> <td>466</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>158</td> <td>135</td> <td>142</td> <td>435</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	184	131	135	466	1年	2年	3年	合計	158	135	142	435																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
170	109	128	407																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
161	132	136	429																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
184	131	135	466																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
158	135	142	435																																																																																																													
教科 独自	データの活用	①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	14	5	1	20	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	7	7	2	16																																																																																												
	1年	2年	3年	合計																																																																																																												
	14	5	1	20																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
7	7	2	16																																																																																																													
数学的活動	①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>28</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>71</td> <td>59</td> <td>100</td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	23	19	70	数学の事象から問題を見だし解決する活動	71	59	100	230	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>28</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>69</td> <td>57</td> <td>76</td> <td>202</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	21	17	66	数学の事象から問題を見だし解決する活動	69	57	76	202																																																																															
			1年	2年	3年	合計																																																																																																										
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	23	19	70																																																																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	71	59	100	230																																																																																																												
	1年	2年	3年	合計																																																																																																												
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	21	17	66																																																																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	69	57	76	202																																																																																																												
小学校との接続	①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は5。各領域の始めと巻末のP294で扱っている。 ・通分や約分の方法を示している。 ・吹き出しで小中の学習内容のつながりを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は17。各章の始めのページと巻末のP287～296で扱っている。 ・小学校算数の学習内容と中学校第1学年の学習内容の関連を図で示している。 ・小学校のどの学年で学習したかを示している。 																																																																																																													

【 数 学 】

観点		発行者	61 啓林館	104 数研																																																																																																												
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>102</td> <td>48</td> <td>80</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>72</td> <td>68</td> <td>82</td> <td>35.5</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>16.0</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>17</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>235</td> <td>181</td> <td>209</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・総単元数は22。</p> <p>・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>102</td> <td>91</td> <td>126</td> <td>319</td> </tr> </tbody> </table> <p>・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>136</td> <td>51</td> <td>27</td> <td>214</td> </tr> </tbody> </table> <p>・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字青二重枠囲みで示している。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66</td> <td>55</td> <td>48</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「めあて」を青枠囲み、関連する既習事項を「ふりかえり」で示している。</p> <p>・「説明しよう」「まとめよう」等の学習活動があり、吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。</p>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	102	48	80	36.8	図形	72	68	82	35.5	関数	34	36	30	16.0	データの活用	27	29	17	11.7	合計	235	181	209	100	1年	2年	3年	合計	102	91	126	319	1年	2年	3年	合計	136	51	27	214	1年	2年	3年	合計	66	55	48	169	<p>・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>110</td> <td>60</td> <td>98</td> <td>39.0</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>74</td> <td>68</td> <td>92</td> <td>34.0</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>34</td> <td>15.7</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>26</td> <td>34</td> <td>18</td> <td>11.3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>246</td> <td>200</td> <td>242</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・総単元数は22。</p> <p>・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>48</td> <td>53</td> <td>68</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table> <p>・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>154</td> <td>67</td> <td>42</td> <td>263</td> </tr> </tbody> </table> <p>・重要語句は黒太字、公式や定理は色枠囲みで示している。</p> <p>・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37</td> <td>38</td> <td>30</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「めあて」にオレンジ色のアンダーラインを示している。</p> <p>・解決の見通しやヒントを教師と生徒の会話形式や吹き出しで示している。</p>		1年	2年	3年	割合(%)	数と式	110	60	98	39.0	図形	74	68	92	34.0	関数	36	38	34	15.7	データの活用	26	34	18	11.3	合計	246	200	242	100	1年	2年	3年	合計	48	53	68	169	1年	2年	3年	合計	154	67	42	263	1年	2年	3年	合計	37	38	30	105
				1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																									
			数と式	102	48	80	36.8																																																																																																									
			図形	72	68	82	35.5																																																																																																									
関数	34	36	30	16.0																																																																																																												
データの活用	27	29	17	11.7																																																																																																												
合計	235	181	209	100																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
102	91	126	319																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
136	51	27	214																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
66	55	48	169																																																																																																													
	1年	2年	3年	割合(%)																																																																																																												
数と式	110	60	98	39.0																																																																																																												
図形	74	68	92	34.0																																																																																																												
関数	36	38	34	15.7																																																																																																												
データの活用	26	34	18	11.3																																																																																																												
合計	246	200	242	100																																																																																																												
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
48	53	68	169																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
154	67	42	263																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
37	38	30	105																																																																																																													
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・巻頭に「教科書の構成と使い方」「ノートを工夫して学習に役立てよう」を示している。</p> <p>・単元末に2つの難易度で構成された「章末問題」、巻末に「力をつけよう」「学びをいかにしよう」を設定している。</p> <p>・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>		合計	解説動画	27	アニメーション	75	シミュレーション	87	<p>・巻頭に「この教科書について」「学習に役立つコンテンツ」「学習の進め方」を示している。</p> <p>・単元末に3つの難易度で構成された「問題A・B」「学んだことを活用しよう」、巻末に「チャレンジ」を設定している。</p> <p>・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>208</td> </tr> </tbody> </table>		合計	解説動画	3	アニメーション	44	シミュレーション	208																																																																																													
			合計																																																																																																													
解説動画	27																																																																																																															
アニメーション	75																																																																																																															
シミュレーション	87																																																																																																															
	合計																																																																																																															
解説動画	3																																																																																																															
アニメーション	44																																																																																																															
シミュレーション	208																																																																																																															
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等はそのように示されているか。	<p>・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>142</td> <td>80</td> <td>92</td> <td>314</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>153</td> <td>118</td> <td>131</td> <td>402</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	142	80	92	314	1年	2年	3年	合計	153	118	131	402	<p>・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>161</td> <td>127</td> <td>141</td> <td>429</td> </tr> </tbody> </table> <p>・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>148</td> <td>123</td> <td>140</td> <td>411</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	161	127	141	429	1年	2年	3年	合計	148	123	140	411																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
142	80	92	314																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
153	118	131	402																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
161	127	141	429																																																																																																													
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
148	123	140	411																																																																																																													
教科独自	①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。	<p>・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	14	4	3	21	<p>・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	5	5	2	12																																																																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
		14	4	3	21																																																																																																											
1年	2年	3年	合計																																																																																																													
5	5	2	12																																																																																																													
①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	<p>・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>28</td> <td>20</td> <td>16</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>79</td> <td>72</td> <td>82</td> <td>233</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	20	16	64	数学の事象から問題を見だし解決する活動	79	72	82	233	<p>・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>25</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>76</td> <td>87</td> <td>123</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	25	19	19	63	数学の事象から問題を見だし解決する活動	76	87	123	286																																																																																
		1年	2年	3年	合計																																																																																																											
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	28	20	16	64																																																																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	79	72	82	233																																																																																																												
	1年	2年	3年	合計																																																																																																												
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	25	19	19	63																																																																																																												
数学の事象から問題を見だし解決する活動	76	87	123	286																																																																																																												
①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	<p>・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は6。巻末のP248～253で扱っている。</p> <p>・「速さ・時間・道のり」「割合」「小数・分数」「データの整理」の例題があり、関連する公式や考え方を示している。</p> <p>・小学校のどの学年で学習したかを示している。</p>	<p>・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は15。各章の始めと巻末のP292～299で扱っている。</p> <p>・中学校第1学年の学習内容と小学校算数の学習内容を上下に分けて示している。</p> <p>・吹き出しで小学校の振り返りを示している。</p>																																																																																																														

【 数 学 】

観点		発行者	116 日 文																																																									
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・領域別のページ数及び割合は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>割合(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数と式</td> <td>104</td> <td>50</td> <td>78</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>図形</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>78</td> <td>33.0</td> </tr> <tr> <td>関数</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>34</td> <td>17.1</td> </tr> <tr> <td>データの活用</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>14</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>236</td> <td>190</td> <td>204</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・総単元数は22。 ・各学年の単元末の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61</td> <td>54</td> <td>66</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・太字で示した重要語句の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>122</td> <td>48</td> <td>30</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句は黒太字、公式や定理は黒太字青枠囲みで示している。 ・各学年で数学的な表現を用いて求め方を説明する場面を位置付けている問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>67</td> <td>54</td> <td>46</td> <td>167</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	割合(%)	数と式	104	50	78	36.8	図形	60	70	78	33.0	関数	38	36	34	17.1	データの活用	34	34	14	13.0	合計	236	190	204	100	1年	2年	3年	合計	61	54	66	181	1年	2年	3年	合計	122	48	30	200	1年	2年	3年	合計	67	54	46	167
			1年	2年	3年	割合(%)																																																						
		数と式	104	50	78	36.8																																																						
		図形	60	70	78	33.0																																																						
関数	38	36	34	17.1																																																								
データの活用	34	34	14	13.0																																																								
合計	236	190	204	100																																																								
1年	2年	3年	合計																																																									
61	54	66	181																																																									
1年	2年	3年	合計																																																									
122	48	30	200																																																									
1年	2年	3年	合計																																																									
67	54	46	167																																																									
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を朱書き、その場面で必要な「大切な見方・考え方」が示されている。 ・「深めよう」「話し合おう」等の学習活動があり、吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 																																																											
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を朱書き、その場面で必要な「大切な見方・考え方」が示されている。 ・「深めよう」「話し合おう」等の学習活動があり、吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 																																																											
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」を朱書き、その場面で必要な「大切な見方・考え方」が示されている。 ・「深めよう」「話し合おう」等の学習活動があり、吹き出しで解決の見通しやヒントを示している。 																																																											
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この本の使い方」「ノートの工夫」「ICTの使い方」を示している。 ・単元末に2つの難易度で構成された「章の問題」「とりくんでみよう」、巻末に「補充問題」「活用の問題」を設定している。 ・二次元コードからつながる解説動画、アニメーション、シミュレーションのコンテンツは、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>解説動画</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>アニメーション</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>シミュレーション</td> <td>216</td> </tr> </tbody> </table>					合計	解説動画	11	アニメーション	126	シミュレーション	216																																															
			合計																																																									
解説動画	11																																																											
アニメーション	126																																																											
シミュレーション	216																																																											
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等ほどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で学習を補助する写真や挿絵を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>115</td> <td>78</td> <td>52</td> <td>245</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年で図、表、グラフ、数直線を掲載しているページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>160</td> <td>133</td> <td>138</td> <td>431</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	115	78	52	245	1年	2年	3年	合計	160	133	138	431																																							
		1年	2年	3年	合計																																																							
115	78	52	245																																																									
1年	2年	3年	合計																																																									
160	133	138	431																																																									
教科独自	データの活用	①データの特徴や傾向をつかみ、見いだしたことを表現したり、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したりできることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図、表、グラフを用いて、データの収集やデータの傾向や特徴を読み取り、判断する問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	12	6	1	19																																														
		1年	2年	3年	合計																																																							
	12	6	1	19																																																								
数学的活動	①事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する過程について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の数学的活動の問題数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>26</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>数学の事象から問題を見だし解決する活動</td> <td>114</td> <td>93</td> <td>125</td> <td>332</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	26	12	16	54	数学の事象から問題を見だし解決する活動	114	93	125	332																																								
			1年	2年	3年	合計																																																						
日常の事象や社会の事象から問題を見だし解決する活動	26	12	16	54																																																								
数学の事象から問題を見だし解決する活動	114	93	125	332																																																								
小学校との接続	①生徒の学習を確実なものにするため、小学校算数の学び直しについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の教科書にある小学校の復習ページ数は12。各章の始めと巻末のP264～268で扱っている。 ・各章が始まる前に関連する小学校の内容を扱っている。 ・分数や速さ、面積、体積等の例題があり、その後に類題を示している。 																																																										

1 学習指導要領に示された目標

【理科の目標】

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【各分野の目標】

	第1分野	第2分野
知識及び技能	(1) 物質やエネルギーに関する事物・現象についての観察、実験などを行い、身近な物理現象、電流とその利用、運動とエネルギー、身の回りの物質、化学変化と原子・分子、化学変化とイオンなどについて理解するとともに、科学技術の発展と人間生活との関わりについて認識を深めるようにする。また、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	(1) 生命や地球に関する事物・現象についての観察、実験などを行い、生物の体のつくりと働き、生命の連続性、大地の成り立ちと変化、気象とその変化、地球と宇宙などについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 物質やエネルギーに関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。	(2) 生命や地球に関する事物・現象に関わり、それらの中に問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究する活動を通して、多様性に気付くとともに規則性を見いだしたり課題を解決したりする力を養う。
学びに向かう力、人間性等	(3) 物質やエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(3) 生命や地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 理科を学ぶことの意義や有用性の実感	①科学技術と日常生活や社会との関連について、どのように示されているか。
(2) 自然災害の取扱い	①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の自然災害との関連について、どのように示されているか。
(3) 学習過程の提示	①問題を見だし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動について、どのように示されているか。

【理科】

観点		発行者	2 東 書	4 大日本																																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1分野</td> <td>物質</td> <td>68</td> <td>74</td> <td>64</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>50</td> <td>62</td> <td>62</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2分野</td> <td>生命</td> <td>60</td> <td>80</td> <td>54</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>地球</td> <td>54</td> <td>62</td> <td>58</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>62</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野	物質	68	74	64	206	エネルギー	50	62	62	174	第2分野	生命	60	80	54	194	地球	54	62	58	174	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	62	62	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1分野</td> <td>物質</td> <td>64</td> <td>74</td> <td>60</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>58</td> <td>74</td> <td>78</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2分野</td> <td>生命</td> <td>64</td> <td>76</td> <td>80</td> <td>220</td> </tr> <tr> <td>地球</td> <td>74</td> <td>66</td> <td>60</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野	物質	64	74	60	198	エネルギー	58	74	78	210	第2分野	生命	64	76	80	220	地球	74	66	60	200	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	50	50
		区 分		1年	2年	3年	合計																																																																	
		第1分野	物質	68	74	64	206																																																																	
			エネルギー	50	62	62	174																																																																	
第2分野	生命	60	80	54	194																																																																			
	地球	54	62	58	174																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	62	62																																																																			
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野	物質	64	74	60	198																																																																			
	エネルギー	58	74	78	210																																																																			
第2分野	生命	64	76	80	220																																																																			
	地球	74	66	60	200																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	50	50																																																																			
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>57</td> <td>65</td> <td>53</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>80</td> <td>89</td> <td>54</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		57	65	53	175	第2分野		80	89	54	223	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	14	14	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>54</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>72</td> <td>85</td> <td>69</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		58	58	54	170	第2分野		72	85	69	226	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	8	8																						
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野		57	65	53	175																																																																			
第2分野		80	89	54	223																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	14	14																																																																			
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野		58	58	54	170																																																																			
第2分野		72	85	69	226																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	8	8																																																																			
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・「探究の流れを確認しよう」「探究をふり返ろう」が示されている。</p> <p>・観察・実験では、「課題」→「観察・実験」→「分析・解釈」→「まとめ」がアイコンで示されている。</p> <p>・「流れて沿ってじっくり探究」という設定があり、生徒どうしの対話の具体例が示されている。</p>	<p>・「理科の学習の進め方」「探究の進め方」が示されている。</p> <p>・観察・実験では、「課題」→「観察・実験」または「やってみよう」→「結果の例」が示されている。また、単元末で「課題をつかもう」→「観察や実験をしよう」→「結果をもとに考えよう」が示されている。</p> <p>・「話し合おう」という設定があり、話し合いの視点が吹き出しで示されている。</p>																																																																						
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・単元のはじめに「これまでに学んだこと」「この単元で学ぶこと」として、既習事項の確認と単元の見通しが示されている。</p> <p>・各章ごとに「Before & After」として、自分の考えの変容を振り返るよう設定している。</p> <p>・章末や単元末に「学びを生活や社会に広げよう」「社会につながる科学」として、日常生活との関連が示されている。</p>	<p>・単元のはじめに「これまでに学習したこと」「これから学習すること」として、既習事項の確認と単元の見通しが示されている。</p> <p>・単元末に「探究活動」として、課題解決的な学習の展開例と振り返りが示されている。</p> <p>・単元末に「つながる×Science Press」として、単元の学習と生活とのつながりが示されている。</p>																																																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>163</td> <td>200</td> <td>198</td> <td>561</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	163	200	198	561	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>19</td> <td>15</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	25	19	15	59																																																					
		1年	2年	3年	合計																																																																			
163	200	198	561																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
25	19	15	59																																																																					
②二次元コードを読み取ると、導入の動画、資料、図鑑、実験動画、ワークシート、練習問題等が表示される。	<p>・二次元コードを読み取ると、器具の操作説明動画、資料、実験動画、Webリンク等が表示される。</p>																																																																							
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等などのように示されているか。	<p>・学習内容に関連する図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>119</td> <td>117</td> <td>128</td> <td>364</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>112</td> <td>145</td> <td>120</td> <td>377</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>71</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		119	117	128	364	第2分野		112	145	120	377	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	71	71	<p>・学習内容に関連する図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>99</td> <td>107</td> <td>121</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>107</td> <td>126</td> <td>104</td> <td>337</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>62</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		99	107	121	327	第2分野		107	126	104	337	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	62	62																					
		区 分		1年	2年	3年	合計																																																																	
第1分野		119	117	128	364																																																																			
第2分野		112	145	120	377																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	71	71																																																																			
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野		99	107	121	327																																																																			
第2分野		107	126	104	337																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	62	62																																																																			
教科独自	理科を学ぶことの意味や有用性の実感	①科学技術と日常生活や社会との関連について、どのように示されているか。	<p>・科学技術と日常生活や社会との関連について示されている事例数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>8</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		18	23	18	59	第2分野		8	22	21	51	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	9	9	<p>・科学技術と日常生活や社会との関連について示されている事例数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>29</td> <td>43</td> <td>28</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		29	43	28	100	第2分野		29	32	21	82	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	16	16																				
		区 分		1年	2年	3年	合計																																																																	
		第1分野		18	23	18	59																																																																	
第2分野		8	22	21	51																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	9	9																																																																			
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野		29	43	28	100																																																																			
第2分野		29	32	21	82																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	16	16																																																																			
自然災害の取扱い	①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の自然災害との関連について、どのように示されているか。	<p>・自然災害や防災・減災に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	7	3	5	15	<p>・自然災害や防災・減災に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	10	3	6	19																																																					
		1年	2年	3年	合計																																																																			
7	3	5	15																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
10	3	6	19																																																																					
②問題を見いだし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動について、どのように示されているか。	<p>・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		13	17	14	44	第2分野		9	11	8	28	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	3	3	<p>・問題を見いだし、観察、実験などを行い、その結果を分析・解釈し、振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">第1分野</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>13</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td colspan="2">第2分野</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野		10	18	13	41	第2分野		13	13	9	35	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	0	0																						
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野		13	17	14	44																																																																			
第2分野		9	11	8	28																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	3	3																																																																			
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野		10	18	13	41																																																																			
第2分野		13	13	9	35																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	0	0																																																																			

【理科】

観点		発行者	11 学 図	17 教 出																																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1分野</td> <td>物質</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>50</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>51</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2分野</td> <td>生命</td> <td>47</td> <td>71</td> <td>60</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>地球</td> <td>58</td> <td>52</td> <td>55</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野	物質	66	66	50	182	エネルギー	51	67	68	186	第2分野	生命	47	71	60	178	地球	58	52	55	165	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	27	27	<p>・内容別のページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1分野</td> <td>物質</td> <td>68</td> <td>72</td> <td>62</td> <td>202</td> </tr> <tr> <td>エネルギー</td> <td>68</td> <td>76</td> <td>70</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2分野</td> <td>生命</td> <td>66</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>186</td> </tr> <tr> <td>地球</td> <td>66</td> <td>60</td> <td>64</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	区 分		1年	2年	3年	合計	第1分野	物質	68	72	62	202	エネルギー	68	76	70	214	第2分野	生命	66	70	50	186	地球	66	60	64	190	(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	60	60
		区 分		1年	2年	3年	合計																																																																	
		第1分野	物質	66	66	50	182																																																																	
			エネルギー	51	67	68	186																																																																	
第2分野	生命	47	71	60	178																																																																			
	地球	58	52	55	165																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	27	27																																																																			
区 分		1年	2年	3年	合計																																																																			
第1分野	物質	68	72	62	202																																																																			
	エネルギー	68	76	70	214																																																																			
第2分野	生命	66	70	50	186																																																																			
	地球	66	60	64	190																																																																			
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	60	60																																																																			
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>67</td> <td>61</td> <td>48</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>86</td> <td>99</td> <td>64</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	67	61	48	176	第2分野	86	99	64	249	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1	<p>・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>65</td> <td>73</td> <td>62</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>85</td> <td>104</td> <td>56</td> <td>245</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	65	73	62	200	第2分野	85	104	56	245	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	14	14																														
区 分	1年	2年	3年	合計																																																																				
第1分野	67	61	48	176																																																																				
第2分野	86	99	64	249																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	1	1																																																																				
区 分	1年	2年	3年	合計																																																																				
第1分野	65	73	62	200																																																																				
第2分野	85	104	56	245																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	14	14																																																																				
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・観察・実験の基本的な流れが「探究の方法」「思考をさらに深める」で示されている。</p> <p>・観察・実験、調べ学習等は「探究1」「探究2」で示し、「気づき」から「考察」までの流れをアイコンで示している。また、その際の「見方・考え方」を枠外に記述している。</p> <p>・実験の「仮説」や「考察」で、話し合いの視点が吹き出しで示されている。</p>	<p>・「探究の進め方」が示されている。</p> <p>・観察・実験では、「課題」→「観察・実験」または「やってみよう」→「結論」をアイコンで示している。また、「疑問から探究してみよう」では、「疑問を見つける」場面から「私のレポート」を作成する流れが示されている。</p> <p>・「話し合おう」という設定があり、話し合いの視点が吹き出しで示されている。</p>																																																																						
④学びに向かう力を育てるために、どのような工夫がなされているか。	<p>・単元のはじめに「学びのあしあと」「ふり返ろう・つなげよう」「Can-Do List」として、既習事項の確認と単元の見通しが示されている。</p> <p>・単元の学習後、「学びのあしあと」で振り返りを行うよう示している。</p> <p>・実験後の「理路整然」というページで、学習に対する振り返りの視点が示されている。また、8つの単元末でSDGsとの関連について示している。</p>	<p>・単元のはじめに「学んでいくこと」を示し、章ごとに既習事項の確認と学習の見通しが示されている。</p> <p>・単元末には「広がる科学の世界」として、単元の学習内容とつながりのある自然現象や科学技術等について示している。</p> <p>・章のはじめに「これまでの学習」「学習前の私」を示し、章の学習の振り返りとして「学習後の私」が示されている。</p>																																																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>194</td> <td>221</td> <td>221</td> <td>636</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	194	221	221	636	<p>・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>120</td> <td>109</td> <td>121</td> <td>350</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	120	109	121	350																																																					
		1年	2年	3年	合計																																																																			
194	221	221	636																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
120	109	121	350																																																																					
②二次元コードを読み取ると、すべての教科書紙面（ルビ付き・外国語翻訳あり）、AIチャット、練習問題、実験動画等が表示される。	<p>・二次元コードを読み取ると、図鑑、解説動画、実験動画、補充問題、Webリンク等が表示される。</p>																																																																							
統計等	①挿絵・図表・統計等などのように示されているか。	<p>・学習内容に関連する図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>124</td> <td>130</td> <td>142</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>84</td> <td>127</td> <td>108</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>46</td> <td>46</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	124	130	142	396	第2分野	84	127	108	319	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	46	46	<p>・学習内容に関連する図・表の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>127</td> <td>141</td> <td>146</td> <td>414</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>105</td> <td>134</td> <td>101</td> <td>340</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	127	141	146	414	第2分野	105	134	101	340	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	48	48																													
		区 分	1年	2年	3年	合計																																																																		
第1分野	124	130	142	396																																																																				
第2分野	84	127	108	319																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	46	46																																																																				
区 分	1年	2年	3年	合計																																																																				
第1分野	127	141	146	414																																																																				
第2分野	105	134	101	340																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	48	48																																																																				
教科独自	義理有用性の実感	①科学技術と日常生活や社会との関連について、どのように示されているか。	<p>・科学技術と日常生活や社会との関連について示されている事例数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	17	12	18	47	第2分野	11	14	20	45	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	8	8	<p>・科学技術と日常生活や社会との関連について示されている事例数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>14</td> <td>35</td> <td>25</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>21</td> <td>17</td> <td>22</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	14	35	25	74	第2分野	21	17	22	60	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	18	18																												
		区 分	1年	2年	3年	合計																																																																		
		第1分野	17	12	18	47																																																																		
第2分野	11	14	20	45																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	8	8																																																																				
区 分	1年	2年	3年	合計																																																																				
第1分野	14	35	25	74																																																																				
第2分野	21	17	22	60																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	18	18																																																																				
取扱い	①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の自然災害との関連について、どのように示されているか。	<p>・自然災害や防災・減災に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火山・地震災害</td> <td>気象災害</td> <td>地域の自然災害</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	火山・地震災害	気象災害	地域の自然災害	合計	1	1	1	3	<p>・自然災害や防災・減災に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>火山・地震災害</td> <td>気象災害</td> <td>地域の自然災害</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	火山・地震災害	気象災害	地域の自然災害	合計	6	5	8	19																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																			
火山・地震災害	気象災害	地域の自然災害	合計																																																																					
1	1	1	3																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
火山・地震災害	気象災害	地域の自然災害	合計																																																																					
6	5	8	19																																																																					
②問題を見いだし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動について、どのように示されているか。	<p>・問題を見いだし、観察・実験などを行い、その結果を分析・解釈し、振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	15	16	16	47	第2分野	12	12	11	35	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	3	3	<p>・問題を見いだし、観察・実験などを行い、その結果を分析・解釈し、振り返る学習活動の数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1分野</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>第2分野</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>(科学技術と人間・自然と人間)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	1年	2年	3年	合計	第1分野	12	13	11	36	第2分野	9	10	7	26	(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	2	2																														
区 分	1年	2年	3年	合計																																																																				
第1分野	15	16	16	47																																																																				
第2分野	12	12	11	35																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	3	3																																																																				
区 分	1年	2年	3年	合計																																																																				
第1分野	12	13	11	36																																																																				
第2分野	9	10	7	26																																																																				
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	2	2																																																																				

【 理 科 】

観点		発行者
		61 啓林館
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>
	資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>
	挿絵・図表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>
	理科を学ぶことの意義や有用性の実感	<p>①科学技術と日常生活や社会との関連について、どのように示されているか。</p>
教科独自	自然災害の取扱い	<p>①第2分野において、自然の恵みと火山・地震・気象災害及び地域の自然災害との関連について、どのように示されているか。</p>
	学習過程の提示	<p>①問題を見だし、解決する方法を立案し、その結果を分析・解釈し、探究の過程を振り返る学習活動について、どのように示されているか。</p>

・内容別のページ数は、次のとおりである。

区 分		1年	2年	3年	合計
第1分野	物質	72	76	70	218
	エネルギー	58	74	74	206
第2分野	生命	60	66	44	170
	地球	64	64	54	182
(科学技術と人間・自然と人間)		—	—	64	64

・本文中にゴシック体等で強調された用語の数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	67	74	73	214
第2分野	86	84	50	220
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	9	9

・「探究の過程」が示されている。

・観察・実験では、「課題」→「観察・実験」→「解説」→「Action活用してみよう」が示されている。また、「探Q実験」「探Q実習」では、課題から考察までの流れが示されている。

・各単元末に「みんなで探Qクラブ」が設定されており、学習を振り返る話し合い活動が示されている。

・単元のはじめに「学びの見通し」「学ぶ前にトライ!」、章のはじめに「つながる学び」が示されている。

・単元末に「みんなで探Qクラブ」として、課題解決的な学習と振り返りが示されている。

・単元の終わりに「学んだ後にトライ!」として、「ふり振り返りシート」が示されている。

・二次元コードからアクセスできる資料等の数は、次のとおりである。

1年	2年	3年	合計
155	176	173	504

・二次元コードを読み取ると、導入の動画、実験動画、補充問題、レポートシート、振り返りシート、Webリンク等が表示される。

・学習内容に関する図・表の数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	147	147	151	445
第2分野	114	134	110	358
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	79	79

・科学技術と日常生活や社会との関連について示されている事例数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	14	24	16	54
第2分野	17	18	10	45
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	5	5

・自然災害や防災・減災に関する内容が示されているページ数は、次のとおりである。

1年 火山・地震災害	2年 気象災害	3年 地域の自然災害	合計
4	4	7	15

・問題を見だし、観察・実験などを行い、その結果を分析・解釈し、振り返る学習活動の数は、次のとおりである。

区 分	1年	2年	3年	合計
第1分野	16	19	17	52
第2分野	10	14	8	32
(科学技術と人間・自然と人間)	—	—	4	4

1 学習指導要領に示された目標

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年及び第3学年
能 知識及び技	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
力、思考力、判断力、表現力等	(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
力、学びに向かう力、人間性等	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現の能力 (歌唱・創作)	①歌唱表現を創意工夫し、思いや意図をもって歌うことについて、どのように示されているか。 ②創作表現を創意工夫し、思いや意図をもって音楽をつくることについて、どのように示されているか。
(2) 鑑賞の能力	①曲想を感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことについて、どのように示されているか。

【 音 楽 (一般) 】

観点		発行者	17 教 出	27 教 芸																																																																																																																																												
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材を設定されているか。	・領域、分野別の題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌唱</td><td>29</td><td>23</td><td>20</td><td>72</td></tr> <tr><td>器楽</td><td>2</td><td>5</td><td>2</td><td>9</td></tr> <tr><td>創作</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>10</td><td>9</td><td>7</td><td>26</td></tr> <tr><td>合計</td><td>44</td><td>39</td><td>31</td><td>114</td></tr> </table> (器楽)では、日本の伝統音楽の体験で、拍やリズムを楽器で演奏できるようにしている。 ・「音楽1」の「[Sing! Sing!]」では、姿勢・息のコントロール・母音、子音、鼻濁音の発音・変声期に心がけること等、歌唱に必要なポイントを3つに分けて示している。 ・聴きとったこと、思いや意図、楽曲の魅力等を記入する活動が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌唱</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>6</td></tr> <tr><td>創作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>14</td></tr> </table> ・学習のめあてを掲載している教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌唱</td><td>25</td><td>19</td><td>17</td><td>61</td></tr> <tr><td>創作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>9</td><td>7</td><td>6</td><td>22</td></tr> </table> (各題材及び巻末の曲集「歌のアルバム」に、めあてが記載されている。)	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌唱	29	23	20	72	器楽	2	5	2	9	創作	3	2	2	7	鑑賞	10	9	7	26	合計	44	39	31	114	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌唱	3	2	1	6	創作	2	2	2	6	鑑賞	5	5	4	14	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌唱	25	19	17	61	創作	2	2	2	6	鑑賞	9	7	6	22	・領域、分野別の題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌唱</td><td>22</td><td>20</td><td>18</td><td>60</td></tr> <tr><td>器楽</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>創作</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>11</td><td>7</td><td>9</td><td>27</td></tr> <tr><td>合計</td><td>36</td><td>30</td><td>29</td><td>95</td></tr> </table> ・「音楽1」の「[My Voice!]」では、姿勢と呼吸、響きのある歌声、声の出る仕組み、変声期に心がけること等、歌唱に必要なポイントを1つにまとめて示している。 ・聴きとったこと、思いや意図、楽曲の魅力等を記入する活動が示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌唱</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>創作</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>10</td></tr> </table> ・学習のめあてを掲載している教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌唱</td><td>10</td><td>10</td><td>8</td><td>28</td></tr> <tr><td>創作</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>鑑賞</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td><td>22</td></tr> </table> (各題材に、めあてが記載されている。)	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌唱	22	20	18	60	器楽	0	0	0	0	創作	3	3	2	8	鑑賞	11	7	9	27	合計	36	30	29	95	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌唱	3	3	0	6	創作	3	3	2	8	鑑賞	4	4	2	10	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌唱	10	10	8	28	創作	2	2	2	6	鑑賞	8	7	7	22
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																										
歌唱	29	23	20	72																																																																																																																																												
器楽	2	5	2	9																																																																																																																																												
創作	3	2	2	7																																																																																																																																												
鑑賞	10	9	7	26																																																																																																																																												
合計	44	39	31	114																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
歌唱	3	2	1	6																																																																																																																																												
創作	2	2	2	6																																																																																																																																												
鑑賞	5	5	4	14																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
歌唱	25	19	17	61																																																																																																																																												
創作	2	2	2	6																																																																																																																																												
鑑賞	9	7	6	22																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
歌唱	22	20	18	60																																																																																																																																												
器楽	0	0	0	0																																																																																																																																												
創作	3	3	2	8																																																																																																																																												
鑑賞	11	7	9	27																																																																																																																																												
合計	36	30	29	95																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
歌唱	3	3	0	6																																																																																																																																												
創作	3	3	2	8																																																																																																																																												
鑑賞	4	4	2	10																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
歌唱	10	10	8	28																																																																																																																																												
創作	2	2	2	6																																																																																																																																												
鑑賞	8	7	7	22																																																																																																																																												
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・二次元コードからつながるコンテンツ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>21</td><td>48</td><td>27</td><td>96</td></tr> </table> (範唱や演奏、ワークシートを閲覧できる。) ・資料は、「音楽1」では楽典、民謡や弦楽合奏に用いられる楽器、リコーダーの調指表、「音楽2・3上」ではオーケストラの楽器、音楽著作権、「音楽2・3下」ではポピュラー音楽図鑑、肖像で見る音楽年表などが巻末に掲載されている。		1	2・3上	2・3下	合計		21	48	27	96	・二次元コードからつながるコンテンツ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td></td><td>105</td><td>89</td><td>54</td><td>248</td></tr> </table> (範唱、ワークシート、作曲者の紹介等を閲覧できる。) ・資料は、「音楽1」「音楽2・3上」では音楽の約束(楽典)、音楽を形づくっている要素、「音楽2・3下」では音楽の約束(楽典)、音楽を形づくっている要素、耳でたどる音楽史が巻末に掲載されている。		1	2・3上	2・3下	合計		105	89	54	248																																																																																																																									
	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
	21	48	27	96																																																																																																																																												
	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
	105	89	54	248																																																																																																																																												
教科 独自	挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	・鑑賞領域における、我が国や郷土の伝統音楽(日本)及びアジア地域・諸外国の音楽の写真的掲載枚数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本</td><td>6</td><td>38</td><td>18</td><td>62</td></tr> <tr><td>アジア地域</td><td>11</td><td>0</td><td>6</td><td>17</td></tr> <tr><td>諸外国</td><td>6</td><td>8</td><td>11</td><td>25</td></tr> <tr><td>合計</td><td>23</td><td>46</td><td>35</td><td>104</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	日本	6	38	18	62	アジア地域	11	0	6	17	諸外国	6	8	11	25	合計	23	46	35	104	・鑑賞領域における、我が国や郷土の伝統音楽(日本)及びアジア地域・諸外国の音楽の写真的掲載枚数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>日本</td><td>22</td><td>30</td><td>58</td><td>110</td></tr> <tr><td>アジア地域</td><td>6</td><td>1</td><td>5</td><td>12</td></tr> <tr><td>諸外国</td><td>14</td><td>34</td><td>54</td><td>102</td></tr> <tr><td>合計</td><td>42</td><td>65</td><td>117</td><td>224</td></tr> </table>	種別	1	2・3上	2・3下	合計	日本	22	30	58	110	アジア地域	6	1	5	12	諸外国	14	34	54	102	合計	42	65	117	224																																																																																										
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																										
日本	6	38	18	62																																																																																																																																												
アジア地域	11	0	6	17																																																																																																																																												
諸外国	6	8	11	25																																																																																																																																												
合計	23	46	35	104																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
日本	22	30	58	110																																																																																																																																												
アジア地域	6	1	5	12																																																																																																																																												
諸外国	14	34	54	102																																																																																																																																												
合計	42	65	117	224																																																																																																																																												
表現の能力 (歌唱・創作)	①歌唱表現を創意工夫し、思いや意図をもって歌うことについて、どのように示されているか。	・形態別の歌唱教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉唱</td><td>4</td><td>7</td><td>5</td><td>16</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>10</td><td>0</td><td>2</td><td>12</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>9</td><td>13</td><td>6</td><td>28</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>1</td><td>2</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>合計</td><td>24</td><td>22</td><td>18</td><td>64</td></tr> </table> ・歌唱表現の工夫に対してアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉唱</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>12</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>3</td><td>0</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> (各題材に、「曲想と歌詞の内容との関わりを生かして表現を工夫しよう」などが示されている。)	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉唱	4	7	5	16	二部合唱	10	0	2	12	三部合唱	9	13	6	28	四部合唱	1	2	5	8	合計	24	22	18	64	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉唱	4	4	4	12	二部合唱	3	0	1	4	三部合唱	0	1	0	1	四部合唱	0	0	1	1	・形態別の歌唱教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉唱</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td><td>20</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>8</td><td>2</td><td>2</td><td>12</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>6</td><td>10</td><td>6</td><td>22</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>合計</td><td>21</td><td>18</td><td>17</td><td>56</td></tr> </table> ・歌唱表現の工夫に対してアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>斉唱</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>17</td></tr> <tr><td>二部合唱</td><td>8</td><td>2</td><td>1</td><td>11</td></tr> <tr><td>三部合唱</td><td>5</td><td>9</td><td>6</td><td>20</td></tr> <tr><td>四部合唱</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> (各題材及び巻末の曲集「心通う合唱」に、「音色や強弱、速度などを工夫しましょう」などが示されている。)	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉唱	7	6	7	20	二部合唱	8	2	2	12	三部合唱	6	10	6	22	四部合唱	0	0	2	2	合計	21	18	17	56	種別	1	2・3上	2・3下	合計	斉唱	5	6	6	17	二部合唱	8	2	1	11	三部合唱	5	9	6	20	四部合唱	0	0	1	1																															
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																										
斉唱	4	7	5	16																																																																																																																																												
二部合唱	10	0	2	12																																																																																																																																												
三部合唱	9	13	6	28																																																																																																																																												
四部合唱	1	2	5	8																																																																																																																																												
合計	24	22	18	64																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
斉唱	4	4	4	12																																																																																																																																												
二部合唱	3	0	1	4																																																																																																																																												
三部合唱	0	1	0	1																																																																																																																																												
四部合唱	0	0	1	1																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
斉唱	7	6	7	20																																																																																																																																												
二部合唱	8	2	2	12																																																																																																																																												
三部合唱	6	10	6	22																																																																																																																																												
四部合唱	0	0	2	2																																																																																																																																												
合計	21	18	17	56																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
斉唱	5	6	6	17																																																																																																																																												
二部合唱	8	2	1	11																																																																																																																																												
三部合唱	5	9	6	20																																																																																																																																												
四部合唱	0	0	1	1																																																																																																																																												
鑑賞の能力	②創作表現を創意工夫し、思いや意図をもって音楽をつくることについて、どのように示されているか。	・創作表現の工夫に対してアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>7</td></tr> </table>	学年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	3	2	2	7	・創作表現の工夫に対してアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> </table>	学年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	3	3	2	8																																																																																																																									
		学年	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																										
教材数	3	2	2	7																																																																																																																																												
学年	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
教材数	3	3	2	8																																																																																																																																												
鑑賞の能力	①曲想を感じ取りながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことについて、どのように示されているか。	・鑑賞領域の教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌曲</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>器楽曲</td><td>2</td><td>5</td><td>4</td><td>11</td></tr> <tr><td>その他</td><td>63</td><td>15</td><td>13</td><td>91</td></tr> </table> <その他> 1年：和楽器2、日本の民謡55、諸外国の民謡4、諸外国の楽器2 2・3年上：雅楽1、郷土の芸能12、日本の伝統芸能2 2・3年下：オペラ1、バレエ1、日本の伝統芸能2、オラトリオ1、諸外国の伝統芸能3、現代音楽2、ポピュラー音楽2、ミュージカル1、	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌曲	2	0	0	2	器楽曲	2	5	4	11	その他	63	15	13	91	・鑑賞領域の教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>歌曲</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>器楽曲</td><td>5</td><td>3</td><td>5</td><td>13</td></tr> <tr><td>その他</td><td>71</td><td>71</td><td>61</td><td>203</td></tr> </table> <その他> 1年：和楽器2、日本の民謡59、諸外国の楽器5、映画音楽5 2・3年上：オペラ1、バレエ2、日本の伝統芸能2、ミュージカル14、郷土の伝統芸能48、諸民族の音楽4 2・3年下：日本の伝統芸能5、郷土の芸能1、諸民族の芸能3、ポピュラー音楽52	種別	1	2・3上	2・3下	合計	歌曲	2	0	0	2	器楽曲	5	3	5	13	その他	71	71	61	203																																																																																																					
		種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																										
歌曲	2	0	0	2																																																																																																																																												
器楽曲	2	5	4	11																																																																																																																																												
その他	63	15	13	91																																																																																																																																												
種別	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
歌曲	2	0	0	2																																																																																																																																												
器楽曲	5	3	5	13																																																																																																																																												
その他	71	71	61	203																																																																																																																																												
鑑賞の能力	②音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。	・音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>15</td><td>20</td><td>17</td><td>52</td></tr> </table> (日本の民謡等は、題材を通してアドバイス・ヒントが示されている。)	学年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	15	20	17	52	・音楽のよさや美しさを味わって聴くことへのアドバイス・ヒントが示されている教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>学年</th><th>1</th><th>2・3上</th><th>2・3下</th><th>合計</th></tr> <tr><td>教材数</td><td>23</td><td>24</td><td>19</td><td>66</td></tr> </table> (日本の民謡やポピュラー音楽、郷土の伝統芸能等は、題材を通してアドバイス・ヒントが示されている。)	学年	1	2・3上	2・3下	合計	教材数	23	24	19	66																																																																																																																									
		学年	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																										
教材数	15	20	17	52																																																																																																																																												
学年	1	2・3上	2・3下	合計																																																																																																																																												
教材数	23	24	19	66																																																																																																																																												

1 学習指導要領に示された目標

【音楽科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年及び第3学年
能 知識及び技	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。	(1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
力、思考力、判断力、表現力等	(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
力、学びに向かう力、人間性等	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現の能力 (器楽)	①器楽表現を創意工夫し、思いや意図をもって演奏することについて、どのように示されているか。 ②楽器の特徴や奏法について、どのように示されているか。
-------------------	--

【 音 楽 (器楽合奏) 】

観点		発行者	17 教 出	27 教 芸																																																																																																																						
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている楽器の種類・名称は、次のとおりである。 ①リコーダー ②篠笛 ③尺八 ④ギター ⑤箏 ⑥三味線 ⑦太鼓 ⑧小太鼓 ⑨大太鼓 ⑩ボンゴ ⑪コンガ ⑫カホン 	<ul style="list-style-type: none"> 掲載されている楽器の種類・名称は、次のとおりである。 ①リコーダー ②ギター ③箏 ④三味線 ⑤太鼓 ⑥篠笛 ⑦尺八 ⑧クラベス ⑨シェーカー ⑩カウベル ⑪アゴゴ ⑫ボンゴ ⑬コンガ ⑭カスターネット ⑮タンブリン ⑯鈴 ⑰シンバル ⑱小太鼓 ⑲大太鼓 ⑳カホン ㉑ジェンベ ㉒ドラムセット 																																																																																																																						
		②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱、器楽、創作、鑑賞の題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>歌唱</th><th>器楽</th><th>創作</th><th>鑑賞</th><th>合計</th></tr> <tr><td>7</td><td>30</td><td>6</td><td>6</td><td>49</td></tr> </table> 	歌唱	器楽	創作	鑑賞	合計	7	30	6	6	49	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱、器楽、創作、鑑賞の題材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>歌唱</th><th>器楽</th><th>創作</th><th>鑑賞</th><th>合計</th></tr> <tr><td>0</td><td>28</td><td>2</td><td>0</td><td>30</td></tr> </table> 	歌唱	器楽	創作	鑑賞	合計	0	28	2	0	30																																																																																																		
歌唱	器楽	創作	鑑賞	合計																																																																																																																						
7	30	6	6	49																																																																																																																						
歌唱	器楽	創作	鑑賞	合計																																																																																																																						
0	28	2	0	30																																																																																																																						
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 楽器別の教材数(練習曲除く。)は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>32</td><td>6</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>6</td><td>1</td><td>0</td><td>21</td><td>71</td></tr> </table> 	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	32	6	3	1	1	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	6	1	0	21	71	<ul style="list-style-type: none"> 楽器別の教材数(練習曲除く。)は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>27</td><td>3</td><td>6</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>3</td><td>1</td><td>0</td><td>17</td><td>60</td></tr> </table> 	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	27	3	6	2	1	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	3	1	0	17	60																																																																														
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																				
32	6	3	1	1																																																																																																																						
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																						
6	1	0	21	71																																																																																																																						
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																						
27	3	6	2	1																																																																																																																						
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																						
3	1	0	17	60																																																																																																																						
表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの運指について、当該曲で新たに使用する運指表を両端に記載している。 「表現の仕方を調べてみよう」では、3種類の吹く楽器の音の出し方から、楽器の特徴を調べたり、共通点や相違点を考えたりする活動などが示されている。 「曲想と音楽との関わりを理解したり、奏法を身につけたりしながら、曲にふさわしい表現を工夫しよう」など、その楽器で学習する知識及び技能や表現の工夫などを上部に付箋で示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> リコーダーの運指について、当該曲で新たに使用する運指表を両端に記載している。 「学びのコンパス」では、音楽を聴いたり演奏したりして旋律やリズムなどの特徴を確かめ、パートの役割を考える活動などが示されている。 「曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう」など学習のめあてを左端に記載するとともに、その下に音楽を形づくっている要素が示されている。 																																																																																																																						
		②資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>コンテンツ数</th></tr> <tr><td>37</td></tr> </table> <p>(範奏や楽器の奏法を閲覧できる。)</p>	コンテンツ数	37	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>コンテンツ数</th></tr> <tr><td>127</td></tr> </table> <p>(範奏や伴奏、楽器の奏法、ワークシート等を閲覧できる。)</p>	コンテンツ数	127																																																																																																																		
コンテンツ数																																																																																																																										
37																																																																																																																										
コンテンツ数																																																																																																																										
127																																																																																																																										
教科 独自	表現の能力(器楽)	①器楽表現を創意工夫し、思いや意図をもって演奏することについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 楽器別の写真の掲載枚数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>6</td><td>4</td><td>5</td><td>2</td><td>27</td></tr> </table> 	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	2	1	1	3	3	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	6	4	5	2	27	<ul style="list-style-type: none"> 楽器別の写真の掲載枚数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th>リコーダー</th><th>ギター</th><th>箏</th><th>三味線</th><th>太鼓</th></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>2</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><th>篠笛</th><th>尺八</th><th>打楽器</th><th>合奏</th><th>合計</th></tr> <tr><td>5</td><td>1</td><td>15</td><td>3</td><td>45</td></tr> </table> 	リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	8	3	2	5	3	篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計	5	1	15	3	45																																																																														
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																				
2	1	1	3	3																																																																																																																						
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																						
6	4	5	2	27																																																																																																																						
リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓																																																																																																																						
8	3	2	5	3																																																																																																																						
篠笛	尺八	打楽器	合奏	合計																																																																																																																						
5	1	15	3	45																																																																																																																						
②楽器の特徴や奏法について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 演奏形態別の教材数(練習曲除く。)は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>独奏</th><th>二重奏</th><th>三重奏</th><th>四重奏以上</th><th>合計</th></tr> <tr><th>リコーダー</th><td>25</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>32</td></tr> <tr><th>ギター</th><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><th>箏</th><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><th>三味線</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>太鼓</th><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><th>尺八</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>打楽器</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><th>合奏</th><td>0</td><td>14</td><td>5</td><td>2</td><td>21</td></tr> </table> 		独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計	リコーダー	25	7	0	0	32	ギター	6	0	0	0	6	箏	3	0	0	0	3	三味線	1	0	0	0	1	太鼓	0	0	1	0	1	篠笛	6	0	0	0	6	尺八	1	0	0	0	1	打楽器	0	0	0	0	0	合奏	0	14	5	2	21	<ul style="list-style-type: none"> 演奏形態別の教材数(練習曲除く。)は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>独奏</th><th>二重奏</th><th>三重奏</th><th>四重奏以上</th><th>合計</th></tr> <tr><th>リコーダー</th><td>20</td><td>7</td><td>0</td><td>0</td><td>27</td></tr> <tr><th>ギター</th><td>2</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><th>箏</th><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><th>三味線</th><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><th>太鼓</th><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>篠笛</th><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><th>尺八</th><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><th>打楽器</th><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><th>合奏</th><td>0</td><td>8</td><td>6</td><td>3</td><td>17</td></tr> </table> 		独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計	リコーダー	20	7	0	0	27	ギター	2	1	0	0	3	箏	6	0	0	0	6	三味線	2	0	0	0	2	太鼓	0	1	0	0	1	篠笛	3	0	0	0	3	尺八	1	0	0	0	1	打楽器	0	0	0	0	0	合奏	0	8	6	3	17
	独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計																																																																																																																					
リコーダー	25	7	0	0	32																																																																																																																					
ギター	6	0	0	0	6																																																																																																																					
箏	3	0	0	0	3																																																																																																																					
三味線	1	0	0	0	1																																																																																																																					
太鼓	0	0	1	0	1																																																																																																																					
篠笛	6	0	0	0	6																																																																																																																					
尺八	1	0	0	0	1																																																																																																																					
打楽器	0	0	0	0	0																																																																																																																					
合奏	0	14	5	2	21																																																																																																																					
	独奏	二重奏	三重奏	四重奏以上	合計																																																																																																																					
リコーダー	20	7	0	0	27																																																																																																																					
ギター	2	1	0	0	3																																																																																																																					
箏	6	0	0	0	6																																																																																																																					
三味線	2	0	0	0	2																																																																																																																					
太鼓	0	1	0	0	1																																																																																																																					
篠笛	3	0	0	0	3																																																																																																																					
尺八	1	0	0	0	1																																																																																																																					
打楽器	0	0	0	0	0																																																																																																																					
合奏	0	8	6	3	17																																																																																																																					

1 学習指導要領に示された目標

【美術科の目標】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【各学年の目標】

	第1学年	第2学年及び第3学年
技能 知識 及び	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
力等 思考力、 判断力、 表現	(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
等 学力 びに 人間性 向か	(3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 表現に関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることへの手立てについて、どのように示されているか。 ②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。
(2) 鑑賞に関する活動	<ul style="list-style-type: none"> ①表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。 ②生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実についてどのように示されているか。

【 美術 】

観点		発行者	9 開隆堂	38 光村																																																						
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・表現領域の「絵・彫刻」と「デザイン・工芸」、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> <th>鑑賞</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </table> <p>・造形的な視点についての吹き出しや巻末資料等での記述の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>造形の要素 (形・色彩・材料・光)</th> <th>造形的特徴 (イメージ)</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>28</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>・アイデアスケッチの図版の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>12</td> </tr> </table> <p>・活動の見通しを持つための紙面レイアウトの特徴や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 1つの題材を4ページで、大きな図版を使って構成し、導入から振り返りまでの授業展開が示されている。 発想、構想、表現方法の手がかりが「作者の言葉」として示されている。 「美術の用語」で内容に関する用語を示している。 		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	5	4	2	美術2・3	8	7	7		造形の要素 (形・色彩・材料・光)	造形的特徴 (イメージ)	美術1	28	8	美術2・3	25	12		数	美術1	11	美術2・3	12	<p>・表現領域の「絵・彫刻」と「デザイン・工芸」、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> <th>鑑賞</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>・造形的な視点についての吹き出しや巻末資料等での記述の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>造形の要素 (形・色彩・材料・光)</th> <th>造形的特徴 (イメージ)</th> </tr> <tr> <td>美術1・資料</td> <td>67</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>37</td> <td>30</td> </tr> </table> <p>・アイデアスケッチの図版の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>美術1・資料</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>21</td> </tr> </table> <p>・活動の見通しを持つための紙面レイアウトの特徴や工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 見開きの鑑賞ページの後に表現の内容が位置付けられている。 「みんなの工夫」で複数の生徒が得意意識しながら制作していく過程が示され、活動の見通しが示されている。 別冊資料へのリンクが示されている。 		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	11	6	4	美術2・3	9	6	10		造形の要素 (形・色彩・材料・光)	造形的特徴 (イメージ)	美術1・資料	67	31	美術2・3	37	30		数	美術1・資料	8	美術2・3	21
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																																																						
	美術1	5	4	2																																																						
美術2・3	8	7	7																																																							
	造形の要素 (形・色彩・材料・光)	造形的特徴 (イメージ)																																																								
美術1	28	8																																																								
美術2・3	25	12																																																								
	数																																																									
美術1	11																																																									
美術2・3	12																																																									
	絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																																																							
美術1	11	6	4																																																							
美術2・3	9	6	10																																																							
	造形の要素 (形・色彩・材料・光)	造形的特徴 (イメージ)																																																								
美術1・資料	67	31																																																								
美術2・3	37	30																																																								
	数																																																									
美術1・資料	8																																																									
美術2・3	21																																																									
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・2次元コードからつながるコンテンツの種類・数</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>作品360°鑑賞</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>技法動画</td> <td>26</td> </tr> </table> <p>・その他特徴的なコンテンツ（数）</p> <p>導入動画（33）・ワークシート（85）</p>	種類	数	作品360°鑑賞	8	技法動画	26	<p>・2次元コードからつながるコンテンツの種類・数</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>作品360°鑑賞</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>技法動画</td> <td>44</td> </tr> </table> <p>・その他特徴的なコンテンツ（数）</p> <p>書き込みツール&高精細画像（7）・音声ナビ（5）</p>	種類	数	作品360°鑑賞	8	技法動画	44																																											
種類	数																																																									
作品360°鑑賞	8																																																									
技法動画	26																																																									
種類	数																																																									
作品360°鑑賞	8																																																									
技法動画	44																																																									
挿絵・図表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている図版の種類・数</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>制作風景</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>技法</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>美術作品</td> <td>213</td> </tr> <tr> <td>生徒作品</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>題材資料写真</td> <td>395</td> </tr> </table>	種類	数	制作風景	35	技法	30	美術作品	213	生徒作品	154	題材資料写真	395	<p>・掲載されている図版の種類・数</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>制作風景</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>技法</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>美術作品</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>生徒作品</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>題材資料写真</td> <td>453</td> </tr> </table>	種類	数	制作風景	27	技法	54	美術作品	159	生徒作品	107	題材資料写真	453																															
種類	数																																																									
制作風景	35																																																									
技法	30																																																									
美術作品	213																																																									
生徒作品	154																																																									
題材資料写真	395																																																									
種類	数																																																									
制作風景	27																																																									
技法	54																																																									
美術作品	159																																																									
生徒作品	107																																																									
題材資料写真	453																																																									
教科独自	表現に関する活動	<p>①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることへの手立てについて、どのように示されているか。</p> <p>②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。</p>	<p>・制作のプロセスの図版の数や生徒が発想、構想する際のポイントの示し方</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>制作のプロセスの図版</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>・発想や構想の際のワークシートを含んだデジタルコンテンツが題材ごとに示されている。</p> <p>・漫画やアニメと美術を比較したり関連付けたりするなど、身近な生活の中にある美術作品が示されている。</p> <p>・巻末資料等での表現技法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字のデザイン（レタリング） 写真 木版画 水墨画 版画（ドライポイント・コラグラフ） 木材加工（積層） 焼き物 紙の表現（ちぎる、折る、巻く 等） 		制作のプロセスの図版	美術1	6	美術2・3	8	<p>・制作のプロセスの図版の数や生徒が発想、構想する際のポイントの示し方</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>制作のプロセスの図版</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>16</td> </tr> </table> <p>・学習内容に応じて資料の提示方法が変化があり、吹き出し、ズーム、焦点化、矢印などで示されている。</p> <p>・発想の初期段階の生徒の発想の例と、制作過程の順序が示されている。</p> <p>・巻末資料等での表現技法の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字のデザイン（レタリング） 写真 鉛筆 水彩 さまざまな描き方（マーブリング等） 版画 紙の表現 金属加工 		制作のプロセスの図版	美術1	11	美術2・3	16																																										
		制作のプロセスの図版																																																								
美術1	6																																																									
美術2・3	8																																																									
	制作のプロセスの図版																																																									
美術1	11																																																									
美術2・3	16																																																									
鑑賞に関する活動	<p>①表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。</p> <p>②生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実についてどのように示されているか。</p>	<p>・表現の題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数の平均と、構成の特徴</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>2.9</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>3.7</td> </tr> </table> <p>・「鑑賞」の小見出しを付け、すべての表現を主とした題材の中に作家作品等の鑑賞が位置付けられている。</p> <p>・原寸大や部分を拡大した図版が掲載されている。</p> <p>・「美術作品」に関する図版の数、「美術の働きや美術文化」に関する図版の数と具体例</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>美術作品</th> <th>美術の働きや美術文化</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>51</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>162</td> <td>152</td> </tr> </table> <p>・アニメ</p> <p>・仏像</p> <p>・カエルのギロ（楽器）</p> <p>・トンボの精（宝飾品）</p>		題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数	美術1	2.9	美術2・3	3.7		美術作品	美術の働きや美術文化	美術1	51	41	美術2・3	162	152	<p>・表現の題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数の平均と、構成の特徴</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>3.8</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>3.9</td> </tr> </table> <p>・題材のはじめに鑑賞の問いかけを示し、「POINT」で鑑賞するときに着目すべきポイントが示されている。</p> <p>・1つの題材に対し複数の図版が掲載されている。</p> <p>・「美術作品」に関する図版の数、「美術の働きや美術文化」に関する図版の数と具体例</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>美術作品</th> <th>美術の働きや美術文化</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>29</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>美術2・3</td> <td>95</td> <td>141</td> </tr> </table> <p>・世界の仮面</p> <p>・防災のデザイン</p> <p>・モビール</p> <p>・海外の生徒作品</p>		題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数	美術1	3.8	美術2・3	3.9		美術作品	美術の働きや美術文化	美術1	29	113	美術2・3	95	141																									
	題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数																																																									
美術1	2.9																																																									
美術2・3	3.7																																																									
	美術作品	美術の働きや美術文化																																																								
美術1	51	41																																																								
美術2・3	162	152																																																								
	題材1つに対しての鑑賞対象の図版の数																																																									
美術1	3.8																																																									
美術2・3	3.9																																																									
	美術作品	美術の働きや美術文化																																																								
美術1	29	113																																																								
美術2・3	95	141																																																								

【 美 術 】

観 点		発行者	116 日 文																											
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びの方向から力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・表現領域の「絵・彫刻」と「デザイン・工芸」、鑑賞領域の題材数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>絵・彫刻</th> <th>デザイン・工芸</th> <th>鑑賞</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>9</td> </tr> </table> <p>・造形的な視点についての吹き出しや巻末資料等での記述の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>造形の要素 (形・色彩・材料・光)</th> <th>造形的な特徴 (イメージ)</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>39</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>43</td> <td>18</td> </tr> </table> <p>・アイデアスケッチの図版の数</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>15</td> </tr> </table> <p>・活動の見直しを持つための紙面レイアウトの特徴や工夫</p> <p>・「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」などが示されている。</p> <p>・全題材の本文と合わせた題材導入動画がある。</p> <p>・表裏表紙にわたって作品が掲載されており、鑑賞資料が示されている。</p>		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞	美術1	7	6	5	美術2・3上下	11	12	9		造形の要素 (形・色彩・材料・光)	造形的な特徴 (イメージ)	美術1	39	12	美術2・3上下	43	18		数	美術1	11	美術2・3上下	15
		絵・彫刻	デザイン・工芸	鑑賞																										
	美術1	7	6	5																										
美術2・3上下	11	12	9																											
	造形の要素 (形・色彩・材料・光)	造形的な特徴 (イメージ)																												
美術1	39	12																												
美術2・3上下	43	18																												
	数																													
美術1	11																													
美術2・3上下	15																													
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・2次元コードからつながるコンテンツの種類・数</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>作品360°鑑賞</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>技法動画</td> <td>35</td> </tr> </table> <p>・その他特徴的なコンテンツ（数） 導入動画（50）・著名人や作家のインタビュー（4）</p>	種 類	数	作品360°鑑賞	5	技法動画	35																						
種 類	数																													
作品360°鑑賞	5																													
技法動画	35																													
挿絵・図表・統計等	<p>①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。</p>	<p>・掲載されている図版の種類・数</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>数</th> </tr> <tr> <td>制作風景</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>技法</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>美術作品</td> <td>286</td> </tr> <tr> <td>生徒作品</td> <td>174</td> </tr> <tr> <td>題材資料写真</td> <td>334</td> </tr> </table>	種 類	数	制作風景	83	技法	65	美術作品	286	生徒作品	174	題材資料写真	334																
種 類	数																													
制作風景	83																													
技法	65																													
美術作品	286																													
生徒作品	174																													
題材資料写真	334																													
教科独自	表現に関する活動	<p>①主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることへの手立てについて、どのように示されているか。</p> <p>②意図に応じて表現方法を工夫して表し、追求し、創造的に表すことについて、どのように示されているか。</p>	<p>・制作のプロセスの図版の数や生徒が発想、構想する際のポイントの示し方</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>制作のプロセスの図版</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>14</td> </tr> </table> <p>・この題材で着目させたい〔共通事項〕について「造形的な視点」として具体的に示されている。</p> <p>・短時間で取り組める題材について、作品例が写真で示されている。</p> <p>・巻末資料等での表現技法の種類</p> <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> レタリング 写真、動画 鉛筆 水彩 さまざまな技法（スパッタリング等） 木版画 水墨画 木材加工 粘土、焼き物 </td> </tr> </table>		制作のプロセスの図版	美術1	8	美術2・3上下	14	<ul style="list-style-type: none"> レタリング 写真、動画 鉛筆 水彩 さまざまな技法（スパッタリング等） 木版画 水墨画 木材加工 粘土、焼き物 																				
		制作のプロセスの図版																												
美術1	8																													
美術2・3上下	14																													
<ul style="list-style-type: none"> レタリング 写真、動画 鉛筆 水彩 さまざまな技法（スパッタリング等） 木版画 水墨画 木材加工 粘土、焼き物 																														
鑑賞に関する活動	<p>①表現と鑑賞の活動を相互に関連させる活動について、どのように示されているか。</p> <p>②生活を美しく豊かにする造形や美術の働き、美術文化についての理解を深める学習の充実についてどのように示されているか。</p>	<p>・表現の題材1つに対する鑑賞対象の図版の数の平均と、構成の特徴</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>題材1つに対する鑑賞対象の図版の数</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>2.5</td> </tr> </table> <p>・「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を示し、鑑賞→表現→鑑賞の流れで表現と鑑賞が相互に示されている。</p> <p>・美術作品、生徒作品が複数掲載されている。</p> <p>・「美術作品」に関する図版の数、「美術の働きや美術文化」に関する図版の数と具体例</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>美術作品</th> <th>美術の働きや美術文化</th> </tr> <tr> <td>美術1</td> <td>49</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>美術2・3上下</td> <td>247</td> <td>69</td> </tr> </table> <p>・祭を彩る造形</p> <p>・染色、テキスタイルデザイン</p> <p>・造形写真（空想の世界）</p> <p>・卒業記念品</p>		題材1つに対する鑑賞対象の図版の数	美術1	2.2	美術2・3上下	2.5		美術作品	美術の働きや美術文化	美術1	49	33	美術2・3上下	247	69													
	題材1つに対する鑑賞対象の図版の数																													
美術1	2.2																													
美術2・3上下	2.5																													
	美術作品	美術の働きや美術文化																												
美術1	49	33																												
美術2・3上下	247	69																												

1 学習指導要領に示された目標

【保健体育科の目標】

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

【体育分野の目標】

	第1学年・第2学年	第3学年
能 知 識 及 び 技	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	(1) 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
表 判 思 現 断 考 力 力 力 等	(2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	(2) 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
力 学 人 び 間 人 性 間 等 性 向 向 か 向 う	(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。	(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

【保健分野の目標】

	全学年
技 及 知 能 び 識	(1) 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
表 判 思 現 断 考 力 力 力 等	(2) 健康について自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
人 学 間 び 性 人 等 間 向 性 向 か 向 う	(3) 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 体育分野	①運動やスポーツが多様であることを理解することについて、どのように示されているか。 ②運動やスポーツの意義や効果、学び方や安全な行い方を理解することについて、どのように示されているか。 ③文化としてのスポーツの意義を理解することについて、どのように示されているか。
(2) 保健分野	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境を理解することについて、どのように示されているか。 ②心身の機能の発達と心の健康を理解することについて、どのように示されているか。 ③傷害の防止を理解することについて、どのように示されているか。

【保健体育】

観点		発行者	2 東 書	4 大日本																																																														
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・「体育編」「保健編」での配置は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">1年</td> <td colspan="2">2年</td> <td colspan="2">3年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> </tr> <tr> <td>章数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単元数</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>13</td> </tr> </table>		1年		2年		3年			体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健	章数	1	2	1	2	1	2	単元数	3	15	3	16	3	13	・「体育編」「保健編」での配置は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">1年</td> <td colspan="2">2年</td> <td colspan="2">3年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> </tr> <tr> <td>章数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単元数</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>12</td> </tr> </table>		1年		2年		3年			体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健	章数	1	2	1	2	1	2	単元数	3	14	3	14	3	12						
			1年		2年		3年																																																											
			体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健																																																										
章数	1	2	1	2	1	2																																																												
単元数	3	15	3	16	3	13																																																												
	1年		2年		3年																																																													
	体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健																																																												
章数	1	2	1	2	1	2																																																												
単元数	3	14	3	14	3	12																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・基礎的な内容を実践的、系統的に理解するための太字等の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>太字</td> <td>関連</td> <td>注釈・解説</td> </tr> <tr> <td>理論1年</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理論2年</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>理論3年</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>72</td> <td>35</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>34</td> <td>16</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>傷害</td> <td>26</td> <td>18</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>24</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> </table>		太字	関連	注釈・解説	理論1年	7	4	0	理論2年	12	6	9	理論3年	9	2	1	健康	72	35	24	発達	34	16	10	傷害	26	18	4	環境	24	9	22	・基礎的な内容を実践的、系統的に理解するための太字等の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>太字</td> <td>関連</td> <td>注釈・解説</td> </tr> <tr> <td>理論1年</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理論2年</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>理論3年</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>96</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>46</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>傷害</td> <td>34</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>32</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> </table>		太字	関連	注釈・解説	理論1年	12	2	0	理論2年	21	3	2	理論3年	8	2	1	健康	96	16	16	発達	46	8	9	傷害	34	2	3	環境	32	7	10
	太字	関連	注釈・解説																																																															
理論1年	7	4	0																																																															
理論2年	12	6	9																																																															
理論3年	9	2	1																																																															
健康	72	35	24																																																															
発達	34	16	10																																																															
傷害	26	18	4																																																															
環境	24	9	22																																																															
	太字	関連	注釈・解説																																																															
理論1年	12	2	0																																																															
理論2年	21	3	2																																																															
理論3年	8	2	1																																																															
健康	96	16	16																																																															
発達	46	8	9																																																															
傷害	34	2	3																																																															
環境	32	7	10																																																															
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・一項目の基本的な学習の流れは、「見つける→学習課題→？→課題の解決→活用する→広げる」の6段階で構成されている。 ・思考、判断、表現を促すための言語活動の数は、28。	・一項目の基本的な学習の流れは、「学習のねらい→つかも→う→解決しよう→活用して深めよう→まとめよう→活かそう」の6段階で構成されている。 ・思考、判断、表現を促すための言語活動の数は、37。																																																																
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・課題を位置付けるための問いかけの数は、50。 ・各章の終わりに章末問題、学習のまとめが、49ページ設けられている。	・課題を位置付けるための問いかけの数は、48。 ・各章の終わりに章末問題、学習のまとめが、49ページ設けられている。																																																																
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・学習の参考となる二次元コードの数。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>理論1年</td> <td>理論2年</td> <td>理論3年</td> <td>健康</td> <td>発達</td> <td>傷害</td> <td>環境</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>42</td> <td>21</td> <td>32</td> <td>16</td> </tr> </table>		理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境	数	8	10	6	42	21	32	16	・学習の参考となる二次元コードの数。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>理論1年</td> <td>理論2年</td> <td>理論3年</td> <td>健康</td> <td>発達</td> <td>傷害</td> <td>環境</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> </table>		理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境	数	2	1	5	5	2	3	1																															
			理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境																																																									
		数	8	10	6	42	21	32	16																																																									
	理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境																																																											
数	2	1	5	5	2	3	1																																																											
②挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・写真の数は、167。統計の数は、92。 ・巻頭に掲載されている資料の数は、3。 「私たちの未来とSDGs」「テクノロジーの進化と保健体育」「情報の活用-命を守るために-」	・写真の数は、156。統計の数は、58。 ・巻頭に掲載されている資料の数は、6。 「スポーツは世界の言葉」「スポーツはみんなができるみんなをつなげる」「オリンピック・パラリンピック」「世界で活躍する人々を支える健康」「私たちの健康を支える食事」「私たちの生活とスマートフォン」																																																																
③動画(86)、webリンク(5)、思考ツール(8)、他教科リンク(15)、シミュレーション(5)、ワークシート(13)、資料・図鑑(14)、章末問題(8)	・動画(86)、webリンク(5)、思考ツール(8)、他教科リンク(15)、シミュレーション(5)、ワークシート(13)、資料・図鑑(14)、章末問題(8)	・動画(13)、webリンク(9)、章末問題(9)																																																																
教科独自	体育分野	①運動やスポーツが多様であることを理解することについて、どのように示されているか。	・運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	10	3	・運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	9	5																																																		
		発問	資料	コラム・トピックス																																																														
		3	10	3																																																														
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	9	5																																																																
②運動やスポーツの意義や効果、学び方や安全な行い方を理解することについて、どのように示されているか。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	9	5	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	11	7																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	9	5																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	11	7																																																																
③文化としてのスポーツの意義を理解することについて、どのように示されているか。	・文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	8	5	・文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	11	5																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	8	5																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	11	5																																																																
保健分野	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境を理解することについて、どのように示されているか。	・健康な生活と疾病の予防について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>82</td> <td>14</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	21	82	14	・健康な生活と疾病の予防について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>63</td> <td>17</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	17	63	17																																																			
		発問	資料	コラム・トピックス																																																														
		21	82	14																																																														
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
17	63	17																																																																
②心身の機能の発達と心の健康を理解することについて、どのように示されているか。	・心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>40</td> <td>8</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	10	40	8	・心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>38</td> <td>10</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	9	38	10																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
10	40	8																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
9	38	10																																																																
③傷害の防止を理解することについて、どのように示されているか。	・傷害の防止について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>33</td> <td>4</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	9	33	4	・傷害の防止について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>31</td> <td>9</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	7	31	9																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
9	33	4																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
7	31	9																																																																

【保健体育】

観点		発行者	50 大修館	224 学研																																																														
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・「体育編」「保健編」での配置は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">1年</td> <td colspan="2">2年</td> <td colspan="2">3年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> </tr> <tr> <td>章数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単元数</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>16</td> </tr> </table>		1年		2年		3年			体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健	章数	1	2	1	2	1	2	単元数	3	16	3	16	3	16	・「体育編」「保健編」での配置は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">1年</td> <td colspan="2">2年</td> <td colspan="2">3年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> <td>体 育</td> <td>保 健</td> </tr> <tr> <td>章数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単元数</td> <td>3</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> </table>		1年		2年		3年			体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健	章数	1	2	1	2	1	2	単元数	3	13	3	12	3	11						
			1年		2年		3年																																																											
			体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健																																																										
章数	1	2	1	2	1	2																																																												
単元数	3	16	3	16	3	16																																																												
	1年		2年		3年																																																													
	体 育	保 健	体 育	保 健	体 育	保 健																																																												
章数	1	2	1	2	1	2																																																												
単元数	3	13	3	12	3	11																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・基礎的な内容を実践的、系統的に理解するための太字等の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>太字</td> <td>関連</td> <td>注釈・解説</td> </tr> <tr> <td>理論1年</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理論2年</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>理論3年</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>64</td> <td>16</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>48</td> <td>9</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>傷害</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>37</td> <td>13</td> <td>24</td> </tr> </table>		太字	関連	注釈・解説	理論1年	6	0	1	理論2年	17	4	1	理論3年	13	0	3	健康	64	16	37	発達	48	9	16	傷害	17	4	2	環境	37	13	24	・基礎的な内容を実践的、系統的に理解するための太字等の数は、次のとおりである。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>太字</td> <td>関連</td> <td>注釈・解説</td> </tr> <tr> <td>理論1年</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>理論2年</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>理論3年</td> <td>7</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>62</td> <td>3</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>発達</td> <td>47</td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>傷害</td> <td>24</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>21</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> </table>		太字	関連	注釈・解説	理論1年	6	1	8	理論2年	12	3	4	理論3年	7	0	4	健康	62	3	63	発達	47	1	19	傷害	24	2	6	環境	21	2	13
	太字	関連	注釈・解説																																																															
理論1年	6	0	1																																																															
理論2年	17	4	1																																																															
理論3年	13	0	3																																																															
健康	64	16	37																																																															
発達	48	9	16																																																															
傷害	17	4	2																																																															
環境	37	13	24																																																															
	太字	関連	注釈・解説																																																															
理論1年	6	1	8																																																															
理論2年	12	3	4																																																															
理論3年	7	0	4																																																															
健康	62	3	63																																																															
発達	47	1	19																																																															
傷害	24	2	6																																																															
環境	21	2	13																																																															
③思考力、判断力、表現力等を育む学習(言語活動等)が促されるよう、どのように示されているか。	・一項目の基本的な学習の流れは、「つかせ→身につける・考える→まとめる・振り返る」の3段階で構成されている。 ・思考、判断、表現を促すための言語活動の数は、24。	・一項目の基本的な学習の流れは、「ウォームアップ→学習の課題→本文と資料→エクササイズ→学びを生かす」の5段階で構成されている。 ・思考、判断、表現を促すための言語活動の数は、46。																																																																
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・課題を位置付けるための問いかけの数は、54。 ・各章の終わりに章末問題、学習のまとめが、48ページ設けられている。	・課題を位置付けるための問いかけの数は、46。 ・各章の終わりに章末問題、学習のまとめが、46ページ設けられている。																																																																
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・学習の参考となる二次元コードの数。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>理論1年</td> <td>理論2年</td> <td>理論3年</td> <td>健康</td> <td>発達</td> <td>傷害</td> <td>環境</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>37</td> <td>26</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> </table>		理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境	数	6	10	4	37	26	18	17	・学習の参考となる二次元コードの数。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>理論1年</td> <td>理論2年</td> <td>理論3年</td> <td>健康</td> <td>発達</td> <td>傷害</td> <td>環境</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>49</td> <td>18</td> <td>38</td> <td>15</td> </tr> </table>		理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境	数	12	10	15	49	18	38	15																															
			理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境																																																									
数	6	10	4	37	26	18	17																																																											
	理論1年	理論2年	理論3年	健康	発達	傷害	環境																																																											
数	12	10	15	49	18	38	15																																																											
②動画(31)、webリンク(31)、ワークシート(48)、保体クイズ(9)	・動画(19)、webリンク(65)、ワークシート(70)、解説(1)、リンク集(4)、教材(6)、資料(2)、テキスト(1)																																																																	
統計等 挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・写真の数は、215。統計の数は、70。 ・巻頭に掲載されている資料の数は、4。 「世界中から選手や観客がどう国際的なスポーツ大会」「私たちの成長と運動やスポーツの広がり」「共生社会をつくるために」「よりよい未来に向けて」	・写真の数は、167。統計の数は、52。 ・巻頭に掲載されている資料の数は、4。 「スポーツには世界を変える力がある」「データから見る運動、食事、休養、睡眠」「関わりあって生きる私たち」「行って、見て、学ぼう」																																																															
		②挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。																																																															
教科独自	体育分野	①運動やスポーツが多様であることを理解することについて、どのように示されているか。	・運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	11	4	・運動やスポーツの多様性について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	7	7																																																		
		発問	資料	コラム・トピックス																																																														
		3	11	4																																																														
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	7	7																																																																
②運動やスポーツの意義や効果、学び方や安全な行い方を理解することについて、どのように示されているか。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>13</td> <td>9</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	13	9	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	8	8																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	13	9																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	8	8																																																																
③文化としてのスポーツの意義を理解することについて、どのように示されているか。	・文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>16</td> <td>7</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	16	7	・文化としてのスポーツの意義について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td>8</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	3	6	8																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	16	7																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
3	6	8																																																																
保健分野	①健康な生活と疾病の予防、健康と環境を理解することについて、どのように示されているか。	・健康な生活と疾病の予防について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>79</td> <td>13</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	20	79	13	・健康な生活と疾病の予防について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>57</td> <td>7</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	15	57	7																																																			
		発問	資料	コラム・トピックス																																																														
		20	79	13																																																														
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
15	57	7																																																																
②心身の機能の発達と心の健康を理解することについて、どのように示されているか。	・心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>36</td> <td>11</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	11	36	11	・心身の機能の発達と心の健康について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>30</td> <td>6</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	9	30	6																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
11	36	11																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
9	30	6																																																																
③傷害の防止を理解することについて、どのように示されているか。	・傷害の防止について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>22</td> <td>10</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	6	22	10	・傷害の防止について <table border="1"> <tr> <td>発問</td> <td>資料</td> <td>コラム・トピックス</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>16</td> <td>8</td> </tr> </table>	発問	資料	コラム・トピックス	6	16	8																																																				
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
6	22	10																																																																
発問	資料	コラム・トピックス																																																																
6	16	8																																																																

【 技術・家庭（技術分野） 】

観点		発行者	2 東 書	6 教 図																																																																																																														
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。 ②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。 ③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。 ④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・題材の構成及び内容の取扱いに関する項目数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査内容</th> <th colspan="7">① ② ③ ④</th> </tr> <tr> <th>ページ数</th> <th>ページ数の割合%</th> <th>題材数</th> <th>小題材数</th> <th>習得状況の確認項目数</th> <th>言語活動の項目数</th> <th>生徒と社会に関連させた学習内容の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料と加工</td> <td>62</td> <td>26</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>生物育成</td> <td>48</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>62</td> <td>26</td> <td>16</td> <td>30</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>68</td> <td>28</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>240</td> <td>100</td> <td>58</td> <td>115</td> <td>54</td> <td>49</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>	調査内容	① ② ③ ④							ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	生徒と社会に関連させた学習内容の数	材料と加工	62	26	11	30	8	12	7	生物育成	48	20	12	25	12	12	11	エネルギー変換	62	26	16	30	15	13	13	情報	68	28	19	30	19	12	16	合 計	240	100	58	115	54	49	47	・題材の構成及び内容の取扱いに関する項目数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査内容</th> <th colspan="7">① ② ③ ④</th> </tr> <tr> <th>ページ数</th> <th>ページ数の割合%</th> <th>題材数</th> <th>小題材数</th> <th>習得状況の確認項目数</th> <th>言語活動の項目数</th> <th>生徒と社会に関連させた学習内容の数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料と加工</td> <td>54</td> <td>24</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>生物育成</td> <td>42</td> <td>18</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>60</td> <td>26</td> <td>13</td> <td>25</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>74</td> <td>32</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>230</td> <td>100</td> <td>45</td> <td>82</td> <td>45</td> <td>52</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table>	調査内容	① ② ③ ④							ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	生徒と社会に関連させた学習内容の数	材料と加工	54	24	8	19	8	9	7	生物育成	42	18	8	12	8	10	6	エネルギー変換	60	26	13	25	12	14	11	情報	74	32	16	26	17	19	11	合 計	230	100	45	82	45	52	35
	調査内容	① ② ③ ④																																																																																																																
		ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	生徒と社会に関連させた学習内容の数																																																																																																										
	材料と加工	62	26	11	30	8	12	7																																																																																																										
生物育成	48	20	12	25	12	12	11																																																																																																											
エネルギー変換	62	26	16	30	15	13	13																																																																																																											
情報	68	28	19	30	19	12	16																																																																																																											
合 計	240	100	58	115	54	49	47																																																																																																											
調査内容	① ② ③ ④																																																																																																																	
	ページ数	ページ数の割合%	題材数	小題材数	習得状況の確認項目数	言語活動の項目数	生徒と社会に関連させた学習内容の数																																																																																																											
材料と加工	54	24	8	19	8	9	7																																																																																																											
生物育成	42	18	8	12	8	10	6																																																																																																											
エネルギー変換	60	26	13	25	12	14	11																																																																																																											
情報	74	32	16	26	17	19	11																																																																																																											
合 計	230	100	45	82	45	52	35																																																																																																											
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・参考資料、二次元コードの数 <table border="1"> <tr> <td>参考資料の項目数</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>135</td> </tr> </table> ・二次元コードの内容は、工具の使い方の動画、ワークシート、シミュレーション等。	参考資料の項目数	55	二次元コードの数	135	・参考資料、二次元コードの数 <table border="1"> <tr> <td>参考資料の項目数</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>61</td> </tr> </table> ・二次元コードの内容は、工具の使い方の動画、ワークシート、技術者のインタビュー動画等。	参考資料の項目数	36	二次元コードの数	61																																																																																																							
参考資料の項目数	55																																																																																																																	
二次元コードの数	135																																																																																																																	
参考資料の項目数	36																																																																																																																	
二次元コードの数	61																																																																																																																	
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	・技術のしくみ、工具等の使い方の挿絵・図表数 <table border="1"> <tr> <td>技術のしくみに関する挿絵・図表数</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>工具等の使い方の挿絵数</td> <td>128</td> </tr> </table>	技術のしくみに関する挿絵・図表数	244	工具等の使い方の挿絵数	128	・技術のしくみ、工具等の使い方の挿絵・図表数 <table border="1"> <tr> <td>技術のしくみに関する挿絵・図表数</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>工具等の使い方の挿絵数</td> <td>120</td> </tr> </table>	技術のしくみに関する挿絵・図表数	198	工具等の使い方の挿絵数	120																																																																																																							
技術のしくみに関する挿絵・図表数	244																																																																																																																	
工具等の使い方の挿絵数	128																																																																																																																	
技術のしくみに関する挿絵・図表数	198																																																																																																																	
工具等の使い方の挿絵数	120																																																																																																																	
教科独自	材料と加工の技術	①生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	・材料と加工の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>10</td> </tr> </table> ・製作等について考える学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>材料の種類の数</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>製作事例数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>8</td> </tr> </table> ・製作の構想について、図(等角図・正投影図・スケッチ)、CAD、文章で表す活動が示されている。	調べる活動等の事例数	10	材料の種類の数	36	製作事例数	4	安全指導の項目数	8	・材料と加工の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>8</td> </tr> </table> ・製作等について考える学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>材料の種類の数</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>製作事例数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>26</td> </tr> </table> ・製作の構想について、図(等角図・正投影図)、CAD、文章で表す活動が示されている。	調べる活動等の事例数	8	材料の種類の数	30	製作事例数	6	安全指導の項目数	26																																																																																														
	調べる活動等の事例数	10																																																																																																																
	材料の種類の数	36																																																																																																																
	製作事例数	4																																																																																																																
安全指導の項目数	8																																																																																																																	
調べる活動等の事例数	8																																																																																																																	
材料の種類の数	30																																																																																																																	
製作事例数	6																																																																																																																	
安全指導の項目数	26																																																																																																																	
生物育成の技術	①生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②育成環境の調節方法を構想して育成計画を立て、栽培又は飼育等について考える学習活動について、どのように示されているか。	・生物育成の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>10</td> </tr> </table> ・栽培又は飼育等について考える学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>育成生物の種類の数</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>育成事例数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>3</td> </tr> </table> ・育成計画について、思考ツールで制約条件を整理し、育成計画表を作成する活動が示されている。	調べる活動等の事例数	10	育成生物の種類の数	53	育成事例数	6	安全指導の項目数	3	・生物育成の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>6</td> </tr> </table> ・栽培又は飼育等について考える学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>育成生物の種類の数</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>育成事例数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>10</td> </tr> </table> ・育成計画について、制約条件の整理、育成計画表の作成等の活動が示されている。	調べる活動等の事例数	6	育成生物の種類の数	33	育成事例数	7	安全指導の項目数	10																																																																																															
調べる活動等の事例数	10																																																																																																																	
育成生物の種類の数	53																																																																																																																	
育成事例数	6																																																																																																																	
安全指導の項目数	3																																																																																																																	
調べる活動等の事例数	6																																																																																																																	
育成生物の種類の数	33																																																																																																																	
育成事例数	7																																																																																																																	
安全指導の項目数	10																																																																																																																	
エネルギー変換の技術	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	・エネルギー変換の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>13</td> </tr> </table> ・製作等について考える学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>電気回路の種類の数</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>製作事例数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>5</td> </tr> </table> ・電気回路の構想について、図や文章、試作で表す活動が示されている。	調べる活動等の事例数	13	電気回路の種類の数	16	製作事例数	7	安全指導の項目数	5	・エネルギー変換の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>10</td> </tr> </table> ・製作等について考える学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>電気回路の種類の数</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>製作事例数</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>24</td> </tr> </table> ・電気回路の構想について、図や文章で表す活動が示されている。	調べる活動等の事例数	10	電気回路の種類の数	14	製作事例数	18	安全指導の項目数	24																																																																																															
調べる活動等の事例数	13																																																																																																																	
電気回路の種類の数	16																																																																																																																	
製作事例数	7																																																																																																																	
安全指導の項目数	5																																																																																																																	
調べる活動等の事例数	10																																																																																																																	
電気回路の種類の数	14																																																																																																																	
製作事例数	18																																																																																																																	
安全指導の項目数	24																																																																																																																	
情報の技術	①生活や社会を支える情報の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。 ②プログラミングの学習活動について、どのように示されているか。	・情報の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>11</td> </tr> </table> ・プログラミングによる学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>プログラムの種類の数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>制作事例数</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>15</td> </tr> </table> ・プログラミングの事例として、チャットシステムや自動配膳ロボット等が示されている。	調べる活動等の事例数	11	プログラムの種類の数	7	制作事例数	31	安全指導の項目数	15	・情報の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>10</td> </tr> </table> ・プログラミングによる学習内容の数 <table border="1"> <tr> <td>プログラムの種類の数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>制作事例数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>7</td> </tr> </table> ・プログラミングの事例として、天気予報や自動点灯消灯ライト等が示されている。	調べる活動等の事例数	10	プログラムの種類の数	4	制作事例数	6	安全指導の項目数	7																																																																																															
調べる活動等の事例数	11																																																																																																																	
プログラムの種類の数	7																																																																																																																	
制作事例数	31																																																																																																																	
安全指導の項目数	15																																																																																																																	
調べる活動等の事例数	10																																																																																																																	
プログラムの種類の数	4																																																																																																																	
制作事例数	6																																																																																																																	
安全指導の項目数	7																																																																																																																	

【 技術・家庭（技術分野） 】

観点		発行者	9 開隆堂																																																																																				
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の構成及び内容の取扱いに関する項目数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査内容</th> <th colspan="2">①</th> <th rowspan="2">②</th> <th rowspan="2">③</th> <th rowspan="2">④</th> </tr> <tr> <th>ページ数</th> <th>ページ数の割合%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>題材数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小題材数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>習得状況の確認項目数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>言語活動の項目数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活や社会に関連させた学習内容の数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>材料と加工</td> <td>80</td> <td>31</td> <td>6</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>10</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>生物育成</td> <td>52</td> <td>20</td> <td>4</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>54</td> <td>21</td> <td>5</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>72</td> <td>28</td> <td>7</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>258</td> <td>100</td> <td>22</td> <td>69</td> <td>69</td> <td>50</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>							調査内容	①		②	③	④	ページ数	ページ数の割合%	題材数						小題材数						習得状況の確認項目数						言語活動の項目数						生活や社会に関連させた学習内容の数						材料と加工	80	31	6	25	25	10	9	生物育成	52	20	4	12	12	8	9	エネルギー変換	54	21	5	14	14	11	18	情報	72	28	7	18	18	21	16	合計	258	100	22	69	69	50	52
		調査内容	①		②	③	④																																																																																
			ページ数	ページ数の割合%																																																																																			
		題材数																																																																																					
		小題材数																																																																																					
習得状況の確認項目数																																																																																							
言語活動の項目数																																																																																							
生活や社会に関連させた学習内容の数																																																																																							
材料と加工	80	31	6	25	25	10	9																																																																																
生物育成	52	20	4	12	12	8	9																																																																																
エネルギー変換	54	21	5	14	14	11	18																																																																																
情報	72	28	7	18	18	21	16																																																																																
合計	258	100	22	69	69	50	52																																																																																
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・参考資料、二次元コードの数 <table border="1"> <tr> <td>参考資料の項目数</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>二次元コードの数</td> <td>124</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードの内容は、工具の使い方の動画、ワークシート、授業展開例等。 							参考資料の項目数	60	二次元コードの数	124																																																																											
参考資料の項目数	60																																																																																						
二次元コードの数	124																																																																																						
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・技術のしくみ、工具等の使い方の挿絵・図表数 <table border="1"> <tr> <td>技術のしくみに関する挿絵・図表数</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>工具等の使い方の挿絵数</td> <td>87</td> </tr> </table>							技術のしくみに関する挿絵・図表数	242	工具等の使い方の挿絵数	87																																																																											
技術のしくみに関する挿絵・図表数	242																																																																																						
工具等の使い方の挿絵数	87																																																																																						
教科独自	材料と加工の技術	①生活や社会を支える材料と加工の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>18</td> </tr> </table>							調べる活動等の事例数	18																																																																												
		調べる活動等の事例数	18																																																																																				
	②材料の選択や成形の方法等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・製作等について考える学習活動の内容数 <table border="1"> <tr> <td>材料の種類の数</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>製作事例数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>20</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・製作の構想について、図(等角図・正投影図・スケッチ)、CAD、文章で表す活動が示されている。 							材料の種類の数	20	製作事例数	7	安全指導の項目数	20																																																																									
	材料の種類の数	20																																																																																					
	製作事例数	7																																																																																					
安全指導の項目数	20																																																																																						
生物育成の技術	①生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・生物育成の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>15</td> </tr> </table>							調べる活動等の事例数	15																																																																													
	調べる活動等の事例数	15																																																																																					
②育成環境の調節方法を構想して育成計画を立て、栽培又は飼育等について考える学習活動について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培又は飼育等について考える学習活動の内容数 <table border="1"> <tr> <td>育成生物の種類の数</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>育成事例数</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>6</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・育成計画について、制約条件の整理、育成計画表の作成等の活動が示されている。 							育成生物の種類の数	38	育成事例数	10	安全指導の項目数	6																																																																										
育成生物の種類の数	38																																																																																						
育成事例数	10																																																																																						
安全指導の項目数	6																																																																																						
エネルギー変換の技術	①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>27</td> </tr> </table>							調べる活動等の事例数	27																																																																													
	調べる活動等の事例数	27																																																																																					
②電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化し、製作等について考える学習活動について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・製作等について考える学習活動の内容数 <table border="1"> <tr> <td>電気回路の種類の数</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>製作事例数</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>8</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・電気回路の構想について、図や文章、試作で表す活動が示されている。 							電気回路の種類の数	19	製作事例数	11	安全指導の項目数	8																																																																										
電気回路の種類の数	19																																																																																						
製作事例数	11																																																																																						
安全指導の項目数	8																																																																																						
情報の技術	①生活や社会を支える情報の技術について調べる活動等は、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の技術について調べる活動等の事例数 <table border="1"> <tr> <td>調べる活動等の事例数</td> <td>23</td> </tr> </table>							調べる活動等の事例数	23																																																																													
	調べる活動等の事例数	23																																																																																					
②プログラミングの学習活動について、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングによる学習活動の内容数 <table border="1"> <tr> <td>プログラムの種類の数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>制作事例数</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>安全指導の項目数</td> <td>10</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの事例として、無人レジシステムやお掃除ロボット等が示されている。 							プログラムの種類の数	6	制作事例数	23	安全指導の項目数	10																																																																										
プログラムの種類の数	6																																																																																						
制作事例数	23																																																																																						
安全指導の項目数	10																																																																																						

1 学習指導要領に示された目標

【技術・家庭科の目標】

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

【家庭分野の目標】

全学年	
技能 知識 及び	(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
力 思考力、 表現力、 判断	(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
間 か 学 性 う 等 び 力 に 人 向	(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 「A 家族・家庭生活」の内容	①幼児との触れ合いはどのように示されているか。 ②高齢者をはじめ地域の人々と協働することの必要性や、介護など高齢者との関わり方について、どのように示されているか。
(2) 「B 衣食住の生活」の内容	①衣服の選択と手入れ（洗濯と補修・和服）や生活を豊かにするための布を用いた制作について、どのように示されているか。 ②食事の役割や、地域の食材を用いた和食の調理、加熱調理の仕方などについて、どのように示されているか。 ③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。
(3) 「C 消費生活・環境」の内容	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任などについて、どのように示されているか。
(4) 選択履修項目「生活の課題と実践」	①「家族・家庭生活についての課題と実践」「衣食住の生活についての課題と実践」「消費生活・環境についての課題と実践」について、どのように示されているか。

【 技術・家庭（家庭分野） 】

観 点		発行者	2 東 書	6 教 団																																																																						
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容ごとのページ数と題材の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> <th>大題材</th> <th>小題材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>53</td> <td>18</td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>164</td> <td>56</td> <td>10</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>28</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>生活の課題と実践</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他資料(ガイダンス含)</td> <td>35</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>291</td> <td>100</td> <td>16</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	割合	大題材	小題材	家族・家庭生活	53	18	3	14	衣食住の生活	164	56	10	31	消費生活・環境	28	10	3	8	生活の課題と実践	11	4	0	3	その他資料(ガイダンス含)	35	12			合 計	291	100	16	56	<p>・内容ごとのページ数と題材の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> <th>大題材</th> <th>小題材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>56</td> <td>20</td> <td>2</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>152</td> <td>54</td> <td>6</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>44</td> <td>16</td> <td>2</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>生活の課題と実践</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>その他資料(ガイダンス含)</td> <td>16</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>279</td> <td>100</td> <td>10</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	割合	大題材	小題材	家族・家庭生活	56	20	2	11	衣食住の生活	152	54	6	26	消費生活・環境	44	16	2	9	生活の課題と実践	11	4	0	2	その他資料(ガイダンス含)	16	6			合 計	279	100	10	48
			ページ数	割合	大題材	小題材																																																																				
		家族・家庭生活	53	18	3	14																																																																				
		衣食住の生活	164	56	10	31																																																																				
消費生活・環境	28	10	3	8																																																																						
生活の課題と実践	11	4	0	3																																																																						
その他資料(ガイダンス含)	35	12																																																																								
合 計	291	100	16	56																																																																						
	ページ数	割合	大題材	小題材																																																																						
家族・家庭生活	56	20	2	11																																																																						
衣食住の生活	152	54	6	26																																																																						
消費生活・環境	44	16	2	9																																																																						
生活の課題と実践	11	4	0	2																																																																						
その他資料(ガイダンス含)	16	6																																																																								
合 計	279	100	10	48																																																																						
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能が、冒頭には「目標」「キーワード」として示され、本文では「生活こ生かそう」「まとめよう」「いつも確かめよう」として示されている。</p> <p>・重要語句はゴシック体黒字で示され、数は145。</p> <p>・巻末索引数339。</p> <p>・「学習のまとめ」は3観点で2ページ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識及び技能に関する評価問題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>記述式2、選択4</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>記述式4、選択17</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>記述式6</td> </tr> </tbody> </table>		知識及び技能に関する評価問題	家族・家庭生活	記述式2、選択4	衣食住の生活	記述式4、選択17	消費生活・環境	記述式6	<p>・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能が、冒頭には「めあて」「キーワード」として示され、本文では「見つめる・見つめてみよう・学ぶ・ふり返る」として示されている。</p> <p>・重要語句はゴシック体青字で示され、数は175。</p> <p>・巻末索引数417。</p> <p>・「学習のまとめ」は3観点で1ページ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識及び技能に関する評価問題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>記述式19</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>記述式26</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>記述式9</td> </tr> </tbody> </table>		知識及び技能に関する評価問題	家族・家庭生活	記述式19	衣食住の生活	記述式26	消費生活・環境	記述式9																																																								
	知識及び技能に関する評価問題																																																																									
家族・家庭生活	記述式2、選択4																																																																									
衣食住の生活	記述式4、選択17																																																																									
消費生活・環境	記述式6																																																																									
	知識及び技能に関する評価問題																																																																									
家族・家庭生活	記述式19																																																																									
衣食住の生活	記述式26																																																																									
消費生活・環境	記述式9																																																																									
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・内容ごとの言語活動の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話し合う</th> <th>調べる</th> <th>考える</th> <th>実習・挑戦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>20</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		話し合う	調べる	考える	実習・挑戦	家族・家庭生活	0	2	6	7	衣食住の生活	1	4	11	5	消費生活・環境	0	0	3	0	合 計	1	6	20	12	<p>・内容ごとの言語活動の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話し合う</th> <th>調べる</th> <th>考える</th> <th>実習・挑戦</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>27</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>		話し合う	調べる	考える	実習・挑戦	家族・家庭生活	3	2	8	4	衣食住の生活	6	9	12	13	消費生活・環境	4	1	7	3	合 計	13	12	27	20																						
	話し合う	調べる	考える	実習・挑戦																																																																						
家族・家庭生活	0	2	6	7																																																																						
衣食住の生活	1	4	11	5																																																																						
消費生活・環境	0	0	3	0																																																																						
合 計	1	6	20	12																																																																						
	話し合う	調べる	考える	実習・挑戦																																																																						
家族・家庭生活	3	2	8	4																																																																						
衣食住の生活	6	9	12	13																																																																						
消費生活・環境	4	1	7	3																																																																						
合 計	13	12	27	20																																																																						
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・学んだことを実践する際の参考資料や解説の数は59。発展学習の項目の数は9。</p>	<p>・学んだことを実践する際の参考資料や解説の数は59。発展学習の項目の数は4。</p>																																																																								
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・学びのポイントは「リンク」「小学校」「プロに聞く！」のマークで示されている。マークの数は161。</p> <p>・関連する他教科の学習内容は「他教科」のマークで示されている。マークの数は44。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>雑・雑話</th> <th>雑話</th> <th>雑話・雑</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79</td> <td>237</td> <td>43</td> <td>14</td> <td>373</td> </tr> </tbody> </table> <p>動画、シミュレーション、思考ツール、ワークシート、クイズ、資料、WEB サイト、他教科リンク</p>	雑・雑話	雑話	雑話・雑	その他	合計	79	237	43	14	373	<p>・学びのポイントは「関連」「センパイに聞こう！」「メッセージ」のマークで示されている。マークの数は30。</p> <p>・関連する他教科の学習内容は「関連」のマークで示されている。マークの数は22。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>雑・雑話</th> <th>雑話</th> <th>雑話・雑</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21</td> <td>92</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>136</td> </tr> </tbody> </table> <p>動画、シミュレーション、思考ツール、ワークシート、クイズ、資料、WEB サイト、他教科リンク</p>	雑・雑話	雑話	雑話・雑	その他	合計	21	92	9	14	136																																																			
	雑・雑話	雑話	雑話・雑	その他	合計																																																																					
79	237	43	14	373																																																																						
雑・雑話	雑話	雑話・雑	その他	合計																																																																						
21	92	9	14	136																																																																						
統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>家族・家庭生活</th> <th>衣食住の生活</th> <th>消費生活・環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図表</td> <td>16</td> <td>99</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>		家族・家庭生活	衣食住の生活	消費生活・環境	図表	16	99	27	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>家族・家庭生活</th> <th>衣食住の生活</th> <th>消費生活・環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図表</td> <td>22</td> <td>75</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>		家族・家庭生活	衣食住の生活	消費生活・環境	図表	22	75	26																																																							
	家族・家庭生活	衣食住の生活	消費生活・環境																																																																							
図表	16	99	27																																																																							
	家族・家庭生活	衣食住の生活	消費生活・環境																																																																							
図表	22	75	26																																																																							
教科独自	「A 家族・家庭生活」	①幼児との触れ合いはどのように示されているか。	<p>・幼児との触れ合いに関するページ数は12、事例数は3。</p>	<p>・幼児との触れ合いに関するページ数は6、事例数は6。</p>																																																																						
	②高齢者をはじめ地域の人々と協働することの必要性や、介護など高齢者との関わり方について、どのように示されているか。	<p>・高齢者など地域の人々との協働や関わり方について、6ページにわたって示され、学習過程は4段階で構成されている。</p> <p>・介助についての事例数は3。例：立ち上がり、歩行、声のかかけ方</p>	<p>・高齢者など地域の人々との協働や関わり方について、8ページにわたって示され、学習過程は5段階で構成されている。</p> <p>・介助についての事例数は2。例：立ち上がり、歩行</p>																																																																							
	「B 衣食住の生活」	①衣服の選択と手入れ（洗濯と補修・和服）や、生活を豊かにするための布を用いた製作について、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>衣服の選択と手入れについてのページ数</td> <td>16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>和服についてのページ数</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	衣服の選択と手入れについてのページ数	16		実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	14		和服についてのページ数	4		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>衣服の選択と手入れについてのページ数</td> <td>14</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>和服についてのページ数</td> <td>2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	衣服の選択と手入れについてのページ数	14		実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	7		和服についてのページ数	2																																															
	ページ数	事例数																																																																								
衣服の選択と手入れについてのページ数	16																																																																									
実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	14																																																																									
和服についてのページ数	4																																																																									
	ページ数	事例数																																																																								
衣服の選択と手入れについてのページ数	14																																																																									
実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	7																																																																									
和服についてのページ数	2																																																																									
②食事の役割や、地域の食材を用いた和食の調理、加熱調理の仕方などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「食事の役割」についてのページ数</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理実習例の数</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「和食の調理」の数</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「蒸す調理」の数</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	「食事の役割」についてのページ数	2		調理実習例の数	44		調理実習例のうち「和食の調理」の数	29		調理実習例のうち「蒸す調理」の数	4		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「食事の役割」についてのページ数</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理実習例の数</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「和食の調理」の数</td> <td>33</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「蒸す調理」の数</td> <td>4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	「食事の役割」についてのページ数	2		調理実習例の数	44		調理実習例のうち「和食の調理」の数	33		調理実習例のうち「蒸す調理」の数	4																																											
	ページ数	事例数																																																																								
「食事の役割」についてのページ数	2																																																																									
調理実習例の数	44																																																																									
調理実習例のうち「和食の調理」の数	29																																																																									
調理実習例のうち「蒸す調理」の数	4																																																																									
	ページ数	事例数																																																																								
「食事の役割」についてのページ数	2																																																																									
調理実習例の数	44																																																																									
調理実習例のうち「和食の調理」の数	33																																																																									
調理実習例のうち「蒸す調理」の数	4																																																																									
③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。	<p>・「住居の機能」についてのページ数は4。「安全な住まい方」についてのページ数は10。</p>	<p>・「住居の機能」についてのページ数は4。「安全な住まい方」についてのページ数は10。</p>																																																																								
「C 消費生活」	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャッシュレス決済の例の数</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	キャッシュレス決済の例の数	7		三者間契約についてのページ数	1		消費者被害の例の数	8		持続可能な社会と消費生活についてのページ数	6		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャッシュレス決済の例の数</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	キャッシュレス決済の例の数	9		三者間契約についてのページ数	2		消費者被害の例の数	9		持続可能な社会と消費生活についてのページ数	8																																										
	ページ数	事例数																																																																								
キャッシュレス決済の例の数	7																																																																									
三者間契約についてのページ数	1																																																																									
消費者被害の例の数	8																																																																									
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	6																																																																									
	ページ数	事例数																																																																								
キャッシュレス決済の例の数	9																																																																									
三者間契約についてのページ数	2																																																																									
消費者被害の例の数	9																																																																									
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	8																																																																									
と実践	①「家族・家庭生活についての課題と実践」「衣食住の生活についての課題と実践」「消費生活・環境についての課題と実践」について、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	家族・家庭生活	2	2	衣食住の生活	3	3	消費生活・環境	1	1	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	家族・家庭生活	2	2	衣食住の生活	4	4	消費生活・環境	2	2																																															
	ページ数	事例数																																																																								
家族・家庭生活	2	2																																																																								
衣食住の生活	3	3																																																																								
消費生活・環境	1	1																																																																								
	ページ数	事例数																																																																								
家族・家庭生活	2	2																																																																								
衣食住の生活	4	4																																																																								
消費生活・環境	2	2																																																																								

【 技術・家庭（家庭分野） 】

観 点		発行者	9 開隆堂																																			
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・内容ごとのページ数と題材の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>割合</th> <th>大題材</th> <th>小題材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>72</td> <td>23</td> <td>7</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>174</td> <td>56</td> <td>15</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>30</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>生活の課題と実践</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他資料(ガイド等)</td> <td>24</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>312</td> <td>100</td> <td>26</td> <td>71</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	割合	大題材	小題材	家族・家庭生活	72	23	7	19	衣食住の生活	174	56	15	37	消費生活・環境	30	10	4	12	生活の課題と実践	12	4	0	3	その他資料(ガイド等)	24	7			合 計	312	100	26	71
			ページ数	割合	大題材	小題材																																
		家族・家庭生活	72	23	7	19																																
		衣食住の生活	174	56	15	37																																
消費生活・環境	30	10	4	12																																		
生活の課題と実践	12	4	0	3																																		
その他資料(ガイド等)	24	7																																				
合 計	312	100	26	71																																		
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・身に付けたい基礎的・基本的な知識及び技能が、冒頭には「学習の目標」として示されている。</p> <p>・重要語句はゴシック体黒字で示され、数は140。</p> <p>・巻末索引数は476。</p> <p>・「学習のまとめ」は3観点で2ページ。</p>																																					
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・知識及び技能に関する評価問題</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識及び技能に関する評価問題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>記述式6</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>記述式16</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>記述式7</td> </tr> </tbody> </table>		知識及び技能に関する評価問題	家族・家庭生活	記述式6	衣食住の生活	記述式16	消費生活・環境	記述式7																													
	知識及び技能に関する評価問題																																					
家族・家庭生活	記述式6																																					
衣食住の生活	記述式16																																					
消費生活・環境	記述式7																																					
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・内容ごとの言語活動の数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>話し合う</th> <th>調べる</th> <th>考える</th> <th>実習・実践</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>		話し合う	調べる	考える	実習・実践	家族・家庭生活	4	0	6	5	衣食住の生活	5	1	8	5	消費生活・環境	5	2	1	3	合 計	14	3	15	13												
	話し合う	調べる	考える	実習・実践																																		
家族・家庭生活	4	0	6	5																																		
衣食住の生活	5	1	8	5																																		
消費生活・環境	5	2	1	3																																		
合 計	14	3	15	13																																		
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・学んだことを実践する際の参考資料や解説の数は73。発展学習の項目の数は8。</p> <p>・学びのポイントは「→」「[小学校]」「先輩からのエール」のマークで示されている。マークの数は115。</p> <p>・関連する他教科の学習内容は「他教科」のマークで示されている。マークの数は45。</p> <p>・二次元コードからつながるコンテンツ数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>録音・録画</th> <th>動画</th> <th>音声・字幕</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>76</td> <td>217</td> <td>19</td> <td>1</td> <td>313</td> </tr> </tbody> </table> <p>動画、シミュレーション、思考ツール、ワークシート、クイズ、資料、WEB サイト、他教科リンク、書籍</p>	録音・録画	動画	音声・字幕	その他	合計	76	217	19	1	313																										
	録音・録画	動画	音声・字幕	その他	合計																																	
76	217	19	1	313																																		
②挿絵・図表・統計等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>家族・家庭生活</th> <th>衣食住の生活</th> <th>消費生活・環境</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図表</td> <td>27</td> <td>116</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>		家族・家庭生活	衣食住の生活	消費生活・環境	図表	27	116	32																													
	家族・家庭生活	衣食住の生活	消費生活・環境																																			
図表	27	116	32																																			
教科独自	活「A 家族・家庭」の内容	①幼児との触れ合いなどのように示されているか。	<p>・幼児との触れ合いに関するページ数は10、事例数は5。</p>																																			
	②高齢者をはじめ地域の人々と協働することの必要性や、介護など高齢者との関わり方について、どのように示されているか。	<p>・高齢者など地域の人々との協働や関わり方について、6ページこわって示され、学習過程は9段階で構成されている。</p> <p>・介助についての事例数は2。例：立ち上がり、歩行</p>																																				
	活「B 衣食住の生活」の内容	①衣服の選択と手入れ（洗濯と補修・和服）や、生活を豊かにするための布を用いた製作について、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>衣服の選択と手入れについてのページ数</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>和服についてのページ数</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	衣服の選択と手入れについてのページ数	14	実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	8	和服についてのページ数	4																													
	衣服の選択と手入れについてのページ数	14																																				
実習のうち「生活を豊かにするための布を用いた製作」の数	8																																					
和服についてのページ数	4																																					
②食事の役割や、地域の食材を用いた和食の調理、加熱調理の仕方などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「食事の役割」についてのページ数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>調理実習例の数</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「和食の調理」の数</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>調理実習例のうち「蒸す調理」の数</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	「食事の役割」についてのページ数	2	調理実習例の数	50	調理実習例のうち「和食の調理」の数	39	調理実習例のうち「蒸す調理」の数	4																													
「食事の役割」についてのページ数	2																																					
調理実習例の数	50																																					
調理実習例のうち「和食の調理」の数	39																																					
調理実習例のうち「蒸す調理」の数	4																																					
活「C 消費生活・環境」の内容	③住居の機能と安全な住まい方について、どのように示されているか。	<p>・「住居の機能」についてのページ数は4。「安全な住まい方」についてのページ数は14。</p>																																				
①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任などについて、どのように示されているか。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>キャッシュレス決済の例の数</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>三者間契約についてのページ数</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>消費者被害の例の数</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>持続可能な社会と消費生活についてのページ数</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	キャッシュレス決済の例の数	7	三者間契約についてのページ数	1	消費者被害の例の数	11	持続可能な社会と消費生活についてのページ数	5																													
キャッシュレス決済の例の数	7																																					
三者間契約についてのページ数	1																																					
消費者被害の例の数	11																																					
持続可能な社会と消費生活についてのページ数	5																																					
と実践「生活の課題と実践」	①「家族・家庭生活」についての課題と実践「衣食住の生活」についての課題と実践「消費生活・環境」についての課題と実践について、どのように示されているか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ページ数</th> <th>事例数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族・家庭生活</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>衣食住の生活</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>消費生活・環境</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		ページ数	事例数	家族・家庭生活	2	3	衣食住の生活	5	6	消費生活・環境	1	1																								
	ページ数	事例数																																				
家族・家庭生活	2	3																																				
衣食住の生活	5	6																																				
消費生活・環境	1	1																																				

1 学習指導要領に示された目標

【外国語科の目標】

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【英語の目標】

聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
「話すこと」 「やり取り」	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
「話すこと」 「発表」	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 小学校外国語との接続	①小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることについて、どのように示されているか。
(2) 学習者用デジタル教科書における効果的な補助	①生徒の興味・関心を高め、個別最適な学びや指導の効率化、言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画・字幕・スピード調整といった機能や内容がどのように示されているか。

【 外国語（英語） 】

観点		発行者	2 東 書	9 開隆堂																																															
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の単元数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>11</td><td>8</td><td>7</td><td>26</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	単元数	11	8	7	26	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の単元数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>10</td><td>8</td><td>7</td><td>25</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	単元数	10	8	7	25																											
			1年	2年	3年	合計																																													
単元数	11	8	7	26																																															
	1年	2年	3年	合計																																															
単元数	10	8	7	25																																															
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は概ね、とびら→Part→Read & Think→Unit Activityの順で配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は概ね、とびら→Scenes→Tuning in→本文→Review & Retell→Action→英語早わかりの順で配列されている。 																																																	
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う語数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>573</td><td>481</td><td>397</td><td>1451</td></tr> <tr><td>太字の語数</td><td>460</td><td>142</td><td>55</td><td>657</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	573	481	397	1451	太字の語数	460	142	55	657	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う語数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>635</td><td>561</td><td>459</td><td>1655</td></tr> <tr><td>太字の語数</td><td>389</td><td>143</td><td>60</td><td>592</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	635	561	459	1655	太字の語数	389	143	60	592																			
	1年	2年	3年	合計																																															
新出単語数	573	481	397	1451																																															
太字の語数	460	142	55	657																																															
	1年	2年	3年	合計																																															
新出単語数	635	561	459	1655																																															
太字の語数	389	143	60	592																																															
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 新出文法は本文とともに導入されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出文法は本文の前に、本文とは別の場面設定の中で導入されている。 																																																	
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> 		1年	2年	3年		3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> 		1年	2年	3年		3	3	3																																
			1年	2年	3年																																														
	3	3	3																																																
	1年	2年	3年																																																
	3	3	3																																																
<ul style="list-style-type: none"> 好きなことについてつながりのある文章を書こう 好きな有名人や憧れの人について尋ねたり説明したりしよう 思い出に残った出来事について発表しよう 	<ul style="list-style-type: none"> 一番好きな日本食について発表しよう 学校や学校生活について説明しよう 自分の立場を明確にして、意見を述べよう 	<ul style="list-style-type: none"> 日本や郷土の文化等について説明しよう これまでの経験を振り返って活動報告しよう 主張とその理由を明確にしながら、ミニディベートをしよう 																																																	
表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しのコーナーや振り返りのチェック欄が設けられている。 生徒が4段階で自己評価をする Can-Do リストがある。 各 Part に音読回数のチェック欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しのコーナーや振り返りのチェック欄が設けられている。 生徒が3段階で自己評価をする Can-Do リストがある。 各 Part に音読回数のチェック欄がある。 																																																
		<ul style="list-style-type: none"> 巻末等に掲載されている資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>読み物</td><td>1</td><td>4</td><td>4</td><td>9</td></tr> <tr><td>語彙・文法</td><td>9</td><td>9</td><td>11</td><td>29</td></tr> <tr><td>学び方</td><td>3</td><td>4</td><td>6</td><td>13</td></tr> <tr><td>歌</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>8</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	読み物	1	4	4	9	語彙・文法	9	9	11	29	学び方	3	4	6	13	歌	2	3	3	8	<ul style="list-style-type: none"> 巻末等に掲載されている資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>読み物</td><td>0</td><td>3</td><td>5</td><td>8</td></tr> <tr><td>語彙・文法</td><td>11</td><td>8</td><td>4</td><td>23</td></tr> <tr><td>学び方</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>28</td></tr> <tr><td>歌</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	読み物	0	3	5	8	語彙・文法	11	8	4	23	学び方	7	6	5	28	歌	0	0
	1年	2年	3年	合計																																															
読み物	1	4	4	9																																															
語彙・文法	9	9	11	29																																															
学び方	3	4	6	13																																															
歌	2	3	3	8																																															
	1年	2年	3年	合計																																															
読み物	0	3	5	8																																															
語彙・文法	11	8	4	23																																															
学び方	7	6	5	28																																															
歌	0	0	0	0																																															
教科 独自	小学校外国語との接続	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツの数は3298 音声、動画、アニメーション、クイズ、文法解説動画、用例辞典、語句のまとめがある。 音声には速度調整、マスク表示、日本語表示機能がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツの数は933 音声、動画、アニメーション、フラッシュカード、単語学習、文法解説動画がある。 音声には速度調整、動画には字幕機能がある。 																																																
		<ul style="list-style-type: none"> 教材文と関連して取り上げられている図表、統計等資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>0</td><td>5</td><td>8</td><td>13</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	資料数	0	5	8	13	<ul style="list-style-type: none"> 教材文と関連して取り上げられている図表、統計等資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>1</td><td>3</td><td>7</td><td>11</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	資料数	1	3	7	11																												
	1年	2年	3年	合計																																															
資料数	0	5	8	13																																															
	1年	2年	3年	合計																																															
資料数	1	3	7	11																																															
教科 独自	学習者用デジタル教科書における効果的な補助	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元 (Unit 0) が設けられている。 小学校で学習した単語を用いた「音と文字」の関係を学ぶ活動が設けられている。 巻末に小学校外国語における Can-Do リストが掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元 (Get Ready) が設けられている。 小学校で学習した単語が欄外にまとめて掲載されている。 Small Talk に、小学校で学習した内容を繰り返し活用する場面が設定されている。 																																																
		<ul style="list-style-type: none"> 学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、速度調整、拡大、書き込み、反転、ルビ、思考ツール、クイズ、リンク貼り付けの機能や内容がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、速度調整、拡大、書き込み、反転、ルビ、ふせん、リンク貼り付け、説明読み上げの機能や内容がある。 																																																

【 外国語（英語） 】

観点		発行者	15 三省堂	17 教出																																																	
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の単元数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>8</td><td>8</td><td>25</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	単元数	9	8	8	25	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の単元数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>9</td><td>9</td><td>7</td><td>25</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	単元数	9	9	7	25																													
			1年	2年	3年	合計																																															
単元数	9	8	8	25																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
単元数	9	9	7	25																																																	
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は概ね、とびら→Scene→Side Story→Small Talk Plus→Goal Activity→Take Actionの順で配列されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元は概ね、とびら→Part→Task→振り返り→Grammarの順で配列されている。 																																																			
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う語数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>624</td><td>532</td><td>368</td><td>1524</td></tr> <tr><td>太字の語数</td><td>469</td><td>281</td><td>84</td><td>834</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	624	532	368	1524	太字の語数	469	281	84	834	<ul style="list-style-type: none"> 各学年で扱う語数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出単語数</td><td>746</td><td>579</td><td>506</td><td>1831</td></tr> <tr><td>太字の語数</td><td>458</td><td>160</td><td>62</td><td>680</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	新出単語数	746	579	506	1831	太字の語数	458	160	62	680																					
	1年	2年	3年	合計																																																	
新出単語数	624	532	368	1524																																																	
太字の語数	469	281	84	834																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
新出単語数	746	579	506	1831																																																	
太字の語数	458	160	62	680																																																	
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 新出文法は本文の前に、本文と関連した場面設定の中で導入されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出文法は本文とともに導入されている。 																																																			
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> What am I?クイズ 理想のロボット選手権 日本の「昔話」の紙芝居 		1年	2年	3年		3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> スピーチ「My Dream」 人気のあるもの調査 好きなもの×観光マップ 		1年	2年	3年		3	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 旅行プランの提案 ラジオの30秒CM 10年後の自分へのメッセージ 		1年	2年	3年		3	3	3																									
			1年	2年	3年																																																
	3	3	3																																																		
	1年	2年	3年																																																		
	3	3	3																																																		
	1年	2年	3年																																																		
	3	3	3																																																		
②学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しのコーナーや振り返りのチェック欄が設けられている。 生徒が4段階で自己評価をするCan-Doリストがある。 各Part、Goal Activityに音読回数のチェック欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しのコーナーや振り返りのチェック欄が設けられている。 生徒が4段階で自己評価をするCan-Doリストがある。 各Partに音読回数のチェック欄がある。 																																																			
挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 巻末等に掲載されている資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>読み物</td><td>4</td><td>6</td><td>5</td><td>15</td></tr> <tr><td>語彙・文法</td><td>13</td><td>8</td><td>8</td><td>29</td></tr> <tr><td>学び方</td><td>7</td><td>6</td><td>6</td><td>19</td></tr> <tr><td>歌</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	読み物	4	6	5	15	語彙・文法	13	8	8	29	学び方	7	6	6	19	歌	0	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 巻末等に掲載されている資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>読み物</td><td>3</td><td>4</td><td>6</td><td>13</td></tr> <tr><td>語彙・文法</td><td>10</td><td>8</td><td>6</td><td>24</td></tr> <tr><td>学び方</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>39</td></tr> <tr><td>歌</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	読み物	3	4	6	13	語彙・文法	10	8	6	24	学び方	14	13	12	39	歌	2	0	0	2
			1年	2年	3年	合計																																															
読み物	4	6	5	15																																																	
語彙・文法	13	8	8	29																																																	
学び方	7	6	6	19																																																	
歌	0	0	1	1																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
読み物	3	4	6	13																																																	
語彙・文法	10	8	6	24																																																	
学び方	14	13	12	39																																																	
歌	2	0	0	2																																																	
②挿絵・図表・統計等どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツの数は730 音声、動画、単語練習、発音チェック、英和辞典、資料映像、文法解説動画がある。 発音チェックには、AIによる採点・フォローアップ機能がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードからつながるコンテンツの数は531 音声、動画、単語学習シート、活動用ワークシート、文法解説動画機能がある。 文法解説動画には字幕機能、音声には速度調整機能がある。 																																																			
小学校外国語との接続	①小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文と関連して取り上げられている図表、統計等資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>4</td><td>10</td><td>3</td><td>17</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	資料数	4	10	3	17	<ul style="list-style-type: none"> 教材文と関連して取り上げられている図表、統計等資料数は次のとおりである。 <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>6</td><td>11</td><td>3</td><td>20</td></tr> </table> 		1年	2年	3年	合計	資料数	6	11	3	20																														
			1年	2年	3年	合計																																															
資料数	4	10	3	17																																																	
	1年	2年	3年	合計																																																	
資料数	6	11	3	20																																																	
②小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることについて、どのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元（Starter）が設けられている。 小学校で学習した単語を用いた「音と文字」の関係を学ぶ活動が設けられている。 小学校で学習した語句や表現を用いたゲームが設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元（Springboard）が設けられている。 小学校で学習した単語を用いた「音と文字」の関係を学ぶ活動が設けられている。 Let's Talkに、小学校で学習した内容を繰り返し活用する場面が設定されている。 																																																			
学習者用デジタル教科書	①生徒の興味・関心を高め、個別最適な学びや指導の効率化、言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画・字幕・スピード調整といった機能や内容がどのように示されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、拡大、書き込み、反転、ルビ、ふせん、単語練習、学習履歴の機能や内容がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、速度調整、拡大、書き込み、カラオケ表示、反転、ルビ、録音・再生、フラッシュカード、音声認識の機能や内容がある。 																																																		

【 外国語（英語） 】

観点		発行者	38 光村	61 啓林館																																																																		
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	<p>①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。</p> <p>②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。</p> <p>③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。</p> <p>④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。</p>	<p>・各学年の単元数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>24</td></tr> </table> <p>・各単元は概ね、とびら→Part→Goalの順で配列されている。</p> <p>・各学年で扱う語数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出語数</td><td>493</td><td>542</td><td>437</td><td>1472</td></tr> <tr><td>太字の語数</td><td>244</td><td>230</td><td>93</td><td>567</td></tr> </table> <p>・新出文法は本文とともに導入されている。</p> <p>・自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> </table> <p>・友だちの新しい一面を見つけよう ・有名人の魅力を伝えよう ・動画で学校の魅力を紹介しよう</p> <p>・「わが町観光プラン」をおすすめしよう ・誰もが楽しめるイベントを提案しよう ・かるたで地域のPRをしよう</p> <p>・学校生活について意見をまとめよう ・持続可能な社会に向けレポートしよう ・自分たちのこれからの言葉に贈ろう</p> <p>・学習の見通しや振り返りのコーナーが設けられている。 ・生徒が4段階で自己評価をするCan-Doリストがある。</p>		1年	2年	3年	合計	単元数	8	8	8	24		1年	2年	3年	合計	新出語数	493	542	437	1472	太字の語数	244	230	93	567		1年	2年	3年		3	3	3	<p>・各学年の単元数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>単元数</td><td>10</td><td>8</td><td>6</td><td>24</td></tr> </table> <p>・各単元は概ね、とびら→Part→Read/Listen & Think→Think & Speak/Writeの順で配列されている。</p> <p>・各学年で扱う語数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>新出語数</td><td>1043</td><td>1014</td><td>774</td><td>2831</td></tr> <tr><td>太字の語数</td><td>581</td><td>265</td><td>80</td><td>926</td></tr> </table> <p>・新出文法は本文とともに導入されている。</p> <p>・自己表現活動の数とテーマは次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th></tr> <tr><td></td><td>3</td><td>3</td><td>2</td></tr> </table> <p>・自己紹介をしよう ・好きな人や尊敬する人を紹介しよう ・先生に感謝の手紙を書こう</p> <p>・世界の人々と日本の文化について共有しよう ・「30年後にあったらいいなと思うもの」について発表しよう ・ディスカッションのテーマに関して、自分の意見を理由とともに述べよう</p> <p>・ALTの先生にインタビューをしよう ・過去、現在、未来のことについて書いてみよう</p> <p>・学習の見通しのコーナーや振り返りのチェック欄が設けられている。 ・生徒が4段階で自己評価をするCan-Doリストがある。</p>		1年	2年	3年	合計	単元数	10	8	6	24		1年	2年	3年	合計	新出語数	1043	1014	774	2831	太字の語数	581	265	80	926		1年	2年	3年		3	3	2
		1年	2年	3年	合計																																																																	
単元数	8	8	8	24																																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																																		
新出語数	493	542	437	1472																																																																		
太字の語数	244	230	93	567																																																																		
	1年	2年	3年																																																																			
	3	3	3																																																																			
	1年	2年	3年	合計																																																																		
単元数	10	8	6	24																																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																																		
新出語数	1043	1014	774	2831																																																																		
太字の語数	581	265	80	926																																																																		
	1年	2年	3年																																																																			
	3	3	2																																																																			
資料等	<p>①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。</p>	<p>・巻末等に掲載されている資料数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>読み物</td><td>3</td><td>5</td><td>6</td><td>14</td></tr> <tr><td>語彙・文法</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>29</td></tr> <tr><td>学び方</td><td>10</td><td>9</td><td>10</td><td>29</td></tr> <tr><td>歌</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> </table> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は759 ・音声、動画、文法解説動画、ピクチャーカードの並び替え、スピーキングテストがある。 ・動画には字幕機能、音声には速度調整機能がある。</p>		1年	2年	3年	合計	読み物	3	5	6	14	語彙・文法	9	10	10	29	学び方	10	9	10	29	歌	0	1	0	1	<p>・巻末等に掲載されている資料数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>読み物</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>8</td></tr> <tr><td>語彙・文法</td><td>9</td><td>5</td><td>8</td><td>22</td></tr> <tr><td>学び方</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>8</td></tr> <tr><td>歌</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>8</td></tr> </table> <p>・二次元コードからつながるコンテンツの数は711 ・音声、動画、文法解説動画がある。 ・音声には速度調整や字幕機能がある。</p>		1年	2年	3年	合計	読み物	2	3	3	8	語彙・文法	9	5	8	22	学び方	2	3	3	8	歌	3	3	2	8																	
	1年	2年	3年	合計																																																																		
読み物	3	5	6	14																																																																		
語彙・文法	9	10	10	29																																																																		
学び方	10	9	10	29																																																																		
歌	0	1	0	1																																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																																		
読み物	2	3	3	8																																																																		
語彙・文法	9	5	8	22																																																																		
学び方	2	3	3	8																																																																		
歌	3	3	2	8																																																																		
表・挿絵・図	<p>①挿絵・図表・統計等どのように示されているか。</p>	<p>・教材文と関連して取り上げられている図表、統計等資料数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>5</td><td>7</td><td>7</td><td>19</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	5	7	7	19	<p>・教材文と関連して取り上げられている図表、統計等資料数は次のとおりである。</p> <table border="1"> <tr><th></th><th>1年</th><th>2年</th><th>3年</th><th>合計</th></tr> <tr><td>資料数</td><td>2</td><td>7</td><td>4</td><td>13</td></tr> </table>		1年	2年	3年	合計	資料数	2	7	4	13																																															
	1年	2年	3年	合計																																																																		
資料数	5	7	7	19																																																																		
	1年	2年	3年	合計																																																																		
資料数	2	7	4	13																																																																		
教科独自	小学校外国語との接続	<p>①小学校で学習した簡単な語句や基本的な表現などの学習内容を、繰り返し指導し定着を図ることにについて、どのように示されているか。</p>	<p>・第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元（Let's Be Friends!）がある。 ・小学校で学習した単語を用いた「音と文字」の関係を学ぶ活動が設けられている。 ・小学校で学習した表現・語句がマーク付きで示されている。</p>	<p>・第1学年の教科書に、小学校の学習を振り返る単元（Let's Start）がある。 ・第1学年のUnit1～Unit3には、生徒が英語を書き込む部分に4線がある。 ・小学校で学習した単語が欄外にまとめて掲載されている。</p>																																																																		
	学習者用デジタル教科書における効果的な補助	<p>①生徒の興味・関心を高め、個別最適な学びや指導の効率化、言語活動の充実を図るために、音声・歌・動画・字幕・スピード調整といった機能や内容がどのように示されているか。</p>	<p>・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、拡大、書き込み、反転、ルビ、ハイライト、ふせん、録音・再生、フラッシュカードの機能や内容がある。</p>	<p>・学習者用デジタル教科書には、音声、動画、アニメーション、拡大、書き込み、反転、説明読み上げ、カラオケ表示、マスク表示の機能や内容がある。</p>																																																																		

1 学習指導要領に示された目標

【道徳科の目標】

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

○道徳的価値についての理解

道徳的価値のよさや大切さを理解したり、道徳的価値を実現する難しさを理解したりすること

○自己を見つめる

様々な道徳的価値について、自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省すること

○物事を広い視野から多面的・多角的に考える

多様な価値観の存在を前提にして、他者と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考察すること

○人間としての生き方についての考えを深める

自己のよりよい生き方について、今までの学びを生かし、より広い視野から考えを深めていくこと

【道徳科に用いられる教材の具備する要件】

ア 生徒の発達の段階に即し、ねらいを達成するのにふさわしいものであること。

イ 人間尊重の精神にかなうものであって、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、生徒が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるものであること。

ウ 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、特定の見方や考え方に偏った取扱いがなされていないものであること。

2 教科独自の調査研究の観点

(1) 人間尊重の精神	①多様性（高齢者、障がい者、性的マイノリティー、外国籍の人等）を題材にした教材は、どのように示されているか。
(2) 悩みや葛藤、人間関係等の課題	①情報モラルの具体的事柄について深く考えることができる教材は、どのように示されているか。 ②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。
(3) 生きる喜びや勇気	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。

【 道 徳 】

観点	発行者	2 東 書	17 教 出																																																												
教科共通	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。 ②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。 ③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。 ④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>39</td> <td>117</td> </tr> </tbody> </table>	内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	8	8	7	23	人との関わり	8	8	7	23	集団や社会との関わり	15	15	17	47	生命と自然、崇高なものとの関わり	8	8	8	24	合計	39	39	39	117	・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	8	8	7	23	人との関わり	8	7	6	21	集団や社会との関わり	12	14	13	39	生命と自然、崇高なものとの関わり	7	6	9	22	合計	35	35	35	105
		内容項目	1年	2年	3年	合計																																																									
		自分自身に関すること	8	8	7	23																																																									
		人との関わり	8	8	7	23																																																									
集団や社会との関わり	15	15	17	47																																																											
生命と自然、崇高なものとの関わり	8	8	8	24																																																											
合計	39	39	39	117																																																											
内容項目	1年	2年	3年	合計																																																											
自分自身に関すること	8	8	7	23																																																											
人との関わり	8	7	6	21																																																											
集団や社会との関わり	12	14	13	39																																																											
生命と自然、崇高なものとの関わり	7	6	9	22																																																											
合計	35	35	35	105																																																											
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。 教材名の前に、指導内容を4つに分類した視点をテーマに示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。	・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。 教材名の前に、指導内容を4つに分類した視点をテーマに示している。また、教材文の前後に、考え、話し合うための問いかけがある。																																																												
		・書き込みのページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>48</td> <td>48</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	50	48	48	148	・書き込みのページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	19	10	5	34																																												
1年	2年	3年	合計																																																												
50	48	48	148																																																												
1年	2年	3年	合計																																																												
19	10	5	34																																																												
統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。 「気づく、考える、深める・広げる」という学び方を、図やイラストで示している。また、新たな自分に出会うためにやってみようことを書き込むページがある。	・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。 「問題に気づく、考える・話し合う、深める、つなぐ」という学び方を示している。また、ICT機器の活用を促す記述がある。																																																												
		・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27</td> <td>29</td> <td>36</td> <td>92</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	27	29	36	92	・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	13	9	9	31																																												
1年	2年	3年	合計																																																												
27	29	36	92																																																												
1年	2年	3年	合計																																																												
13	9	9	31																																																												
人間尊重の精神	①多様性（高齢者、障がい者、性的マイノリティ、外国籍の人等）を題材とした教材は、どのように示されているか。	・二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>103</td> <td>102</td> <td>104</td> <td>309</td> </tr> </tbody> </table> 朗読音声、VR映像、ワークシート、心情円、ウェブサイト、映像、資料、他教科リンク	1年	2年	3年	合計	103	102	104	309	・二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>158</td> </tr> </tbody> </table> 教材摘録、ウェブツール、ウェブリンク、動画	1年	2年	3年	合計	53	57	48	158																																												
		1年	2年	3年	合計																																																										
103	102	104	309																																																												
1年	2年	3年	合計																																																												
53	57	48	158																																																												
悩みや葛藤 人間関係等の課題	①情報モラルの具体的な事例について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。 ②学級や学校生活における具体的な事例や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。	・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.2</td> <td>4.8</td> <td>4.4</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	平均	5.2	4.8	4.4	4.8	・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0</td> <td>3.4</td> <td>3.2</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	平均	4.0	3.4	3.2	3.5																																												
		1年	2年	3年	平均																																																										
5.2	4.8	4.4	4.8																																																												
1年	2年	3年	平均																																																												
4.0	3.4	3.2	3.5																																																												
生きる喜びや勇気	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	・多様性を題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>パラリンピックで活躍した倉橋さんや、作家の星野さん等の生き方を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>マララさんの「全ての子どもに教育を」というスピーチの一部を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>性的マイノリティの滝沢さんが多様性尊重の社会実現へ挑戦する姿を扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	パラリンピックで活躍した倉橋さんや、作家の星野さん等の生き方を扱った教材がある。	2年	マララさんの「全ての子どもに教育を」というスピーチの一部を扱った教材がある。	3年	性的マイノリティの滝沢さんが多様性尊重の社会実現へ挑戦する姿を扱った教材がある。	・多様性を題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>義足の女性がアメリカで自分らしさを隠さない生き方をする姿を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>ダウン症の秋雪さんと家族の6年間の姿から、「精一杯生きる」ことを考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>サッカーの試合で選手たちが人種差別に対する抗議をした出来事を扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	義足の女性がアメリカで自分らしさを隠さない生き方をする姿を扱った教材がある。	2年	ダウン症の秋雪さんと家族の6年間の姿から、「精一杯生きる」ことを考える教材がある。	3年	サッカーの試合で選手たちが人種差別に対する抗議をした出来事を扱った教材がある。																																																
		1年	パラリンピックで活躍した倉橋さんや、作家の星野さん等の生き方を扱った教材がある。																																																												
2年	マララさんの「全ての子どもに教育を」というスピーチの一部を扱った教材がある。																																																														
3年	性的マイノリティの滝沢さんが多様性尊重の社会実現へ挑戦する姿を扱った教材がある。																																																														
1年	義足の女性がアメリカで自分らしさを隠さない生き方をする姿を扱った教材がある。																																																														
2年	ダウン症の秋雪さんと家族の6年間の姿から、「精一杯生きる」ことを考える教材がある。																																																														
3年	サッカーの試合で選手たちが人種差別に対する抗議をした出来事を扱った教材がある。																																																														
教科独自	①情報モラルの具体的な事例について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。 ②学級や学校生活における具体的な事例や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。	・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>調和のあるインターネット利用と投稿の危険性を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>SNSでの投稿に関する問題点やSNSを通したやりとり中での危険性を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>歩きスマホの危険性やSNSでの個人情報の扱いについて扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	調和のあるインターネット利用と投稿の危険性を扱った教材がある。	2年	SNSでの投稿に関する問題点やSNSを通したやりとり中での危険性を扱った教材がある。	3年	歩きスマホの危険性やSNSでの個人情報の扱いについて扱った教材がある。	・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>SNSのルール・マナーやスマホの上手な付き合い方について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>スマホの適切な利用とSNSの危険性について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>歩きスマホの危険性とマナーについて考えることを扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	SNSのルール・マナーやスマホの上手な付き合い方について扱った教材がある。	2年	スマホの適切な利用とSNSの危険性について扱った教材がある。	3年	歩きスマホの危険性とマナーについて考えることを扱った教材がある。																																																
		1年	調和のあるインターネット利用と投稿の危険性を扱った教材がある。																																																												
2年	SNSでの投稿に関する問題点やSNSを通したやりとり中での危険性を扱った教材がある。																																																														
3年	歩きスマホの危険性やSNSでの個人情報の扱いについて扱った教材がある。																																																														
1年	SNSのルール・マナーやスマホの上手な付き合い方について扱った教材がある。																																																														
2年	スマホの適切な利用とSNSの危険性について扱った教材がある。																																																														
3年	歩きスマホの危険性とマナーについて考えることを扱った教材がある。																																																														
教科独自	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	・いじめを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>イラストからいじめの場面を考えさせ、特に、傍観者について取り上げる教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>いじめの4層構造のそれぞれの立場から、いじめの問題を考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>「中学生サミット」について紹介し、中学生の目線で、いじめ問題を考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	イラストからいじめの場面を考えさせ、特に、傍観者について取り上げる教材がある。	2年	いじめの4層構造のそれぞれの立場から、いじめの問題を考える教材がある。	3年	「中学生サミット」について紹介し、中学生の目線で、いじめ問題を考える教材がある。	・いじめを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>日常の出来事から、いじめがどうやって始まるのか、どう止めればよいか考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>合唱に取り組み姿勢の違いから、友だちを追い詰めたことについて考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>いじめの加害者の視点から、大人になっても残る後悔や心の傷について考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	日常の出来事から、いじめがどうやって始まるのか、どう止めればよいか考える教材がある。	2年	合唱に取り組み姿勢の違いから、友だちを追い詰めたことについて考える教材がある。	3年	いじめの加害者の視点から、大人になっても残る後悔や心の傷について考える教材がある。																																																
		1年	イラストからいじめの場面を考えさせ、特に、傍観者について取り上げる教材がある。																																																												
2年	いじめの4層構造のそれぞれの立場から、いじめの問題を考える教材がある。																																																														
3年	「中学生サミット」について紹介し、中学生の目線で、いじめ問題を考える教材がある。																																																														
1年	日常の出来事から、いじめがどうやって始まるのか、どう止めればよいか考える教材がある。																																																														
2年	合唱に取り組み姿勢の違いから、友だちを追い詰めたことについて考える教材がある。																																																														
3年	いじめの加害者の視点から、大人になっても残る後悔や心の傷について考える教材がある。																																																														
教科独自	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>植松 努、安藤百福、山下彩香、倉橋香衣、星野富弘、グレッタ・トウシベリ</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>吉藤オリイ、村田吉弘、杉原千敏、阿部 詩、津田梅子、マララ・ユスフザイ</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>ヒカキン、島 正博、大石又七、桃田賢斗、野口聡一</td> </tr> </tbody> </table>	1年	植松 努、安藤百福、山下彩香、倉橋香衣、星野富弘、グレッタ・トウシベリ	2年	吉藤オリイ、村田吉弘、杉原千敏、阿部 詩、津田梅子、マララ・ユスフザイ	3年	ヒカキン、島 正博、大石又七、桃田賢斗、野口聡一	・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>植松 努、緒方貞子、今日和、小田兼利、桂 米朝、石村嘉成</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>杉原千敏、吉藤オリイ、レイチェル・カーソン、荒木香織、野村萬斎、貫戸朋子、後藤新平、錦織兵三郎、肥沼信次</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>藤井聡太、岸田周三、中村雀右衛門、マザー・テレサ、松岡史朗、三澤 拓、加藤三郎</td> </tr> </tbody> </table>	1年	植松 努、緒方貞子、今日和、小田兼利、桂 米朝、石村嘉成	2年	杉原千敏、吉藤オリイ、レイチェル・カーソン、荒木香織、野村萬斎、貫戸朋子、後藤新平、錦織兵三郎、肥沼信次	3年	藤井聡太、岸田周三、中村雀右衛門、マザー・テレサ、松岡史朗、三澤 拓、加藤三郎																																																
		1年	植松 努、安藤百福、山下彩香、倉橋香衣、星野富弘、グレッタ・トウシベリ																																																												
2年	吉藤オリイ、村田吉弘、杉原千敏、阿部 詩、津田梅子、マララ・ユスフザイ																																																														
3年	ヒカキン、島 正博、大石又七、桃田賢斗、野口聡一																																																														
1年	植松 努、緒方貞子、今日和、小田兼利、桂 米朝、石村嘉成																																																														
2年	杉原千敏、吉藤オリイ、レイチェル・カーソン、荒木香織、野村萬斎、貫戸朋子、後藤新平、錦織兵三郎、肥沼信次																																																														
3年	藤井聡太、岸田周三、中村雀右衛門、マザー・テレサ、松岡史朗、三澤 拓、加藤三郎																																																														

【 道 徳 】

観 点		発 行 者	3 8 光 村	1 1 6 日 文																																																												
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>	内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	7	7	9	23	人との関わり	6	7	6	19	集団や社会との関わり	12	12	11	35	生命と自然、崇高なものとの関わり	8	7	7	22	合計	33	33	33	99	・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>	内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	7	6	7	20	人との関わり	7	7	6	20	集団や社会との関わり	14	14	15	43	生命と自然、崇高なものとの関わり	7	8	7	22	合計	35	35	35	105
		内容項目	1年	2年	3年	合計																																																										
		自分自身に関すること	7	7	9	23																																																										
		人との関わり	6	7	6	19																																																										
集団や社会との関わり	12	12	11	35																																																												
生命と自然、崇高なものとの関わり	8	7	7	22																																																												
合計	33	33	33	99																																																												
内容項目	1年	2年	3年	合計																																																												
自分自身に関すること	7	6	7	20																																																												
人との関わり	7	7	6	20																																																												
集団や社会との関わり	14	14	15	43																																																												
生命と自然、崇高なものとの関わり	7	8	7	22																																																												
合計	35	35	35	105																																																												
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。 教材名の前に、その教材で扱う道徳的価値を、学習指導要領の分類に合わせて明記している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。	・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。 教材名の前に、指導内容を4つに分類した視点をテーマに示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。																																																														
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	・書き込みのページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	5	6	7	18	・書き込みのページ数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>37</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> ※別冊の書き込みのページ数	1年	2年	3年	合計	37	37	37	111																																														
1年	2年	3年	合計																																																													
5	6	7	18																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
37	37	37	111																																																													
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。 「考える、見方を変える、つなげる」という学び方を、読む、話し合う、書く、演じるという4つの視点で例示している。巻末に「まなびの記録」がある。	・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。 「気づく、考える・議論する・深める、見つめる・生かす」という学び方を示している。また、学習活動の例をイラストや吹き出しで示している。																																																														
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>17</td> <td>21</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	14	17	21	52	・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	合計	14	12	12	38																																													
		1年	2年	3年	合計																																																											
14	17	21	52																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
14	12	12	38																																																													
・二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>39</td> <td>31</td> <td>30</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> 朗読音声、資料、動画	1年	2年	3年	合計	39	31	30	100	・二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>117</td> <td>114</td> <td>118</td> <td>349</td> </tr> </tbody> </table> 心情メーター、思考ツール、ワークシート、朗読音声、ウェブリンク、人物紹介、画像、動画	1年	2年	3年	合計	117	114	118	349																																															
1年	2年	3年	合計																																																													
39	31	30	100																																																													
1年	2年	3年	合計																																																													
117	114	118	349																																																													
統計等 挿絵・図表・統計等	①挿絵・図表・統計等はどのように示されているか。	・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5.0</td> <td>5.4</td> <td>5.1</td> <td>5.2</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	平均	5.0	5.4	5.1	5.2	・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.0</td> <td>6.1</td> <td>5.8</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2年	3年	平均	6.0	6.1	5.8	6.0																																													
		1年	2年	3年	平均																																																											
5.0	5.4	5.1	5.2																																																													
1年	2年	3年	平均																																																													
6.0	6.1	5.8	6.0																																																													
教科 独自	人間尊重の精神	①多様性（高齢者、障がい者、性的マイノリティー、外国籍の人等）を題材とした教材は、どのように示されているか。	・多様性を題材にした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>手に障がいがあるページさんが、インターネットで自分のことを伝える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>LGBTQ、高齢者、障がい、多様なルーツについて扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>ルワンダで義肢の無償提供プロジェクトを立ち上げた日本人女性を扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	手に障がいがあるページさんが、インターネットで自分のことを伝える教材がある。	2年	LGBTQ、高齢者、障がい、多様なルーツについて扱った教材がある。	3年	ルワンダで義肢の無償提供プロジェクトを立ち上げた日本人女性を扱った教材がある。	・多様性を題材にした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>性の多様性、個性、特性を互いに認め合うことの大切さを扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>車椅子テニスの選手として活躍した国枝さんの生き方を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>ノーベル平和賞受賞のマララさんの、子供たちを救うためのスピーチを扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	性の多様性、個性、特性を互いに認め合うことの大切さを扱った教材がある。	2年	車椅子テニスの選手として活躍した国枝さんの生き方を扱った教材がある。	3年	ノーベル平和賞受賞のマララさんの、子供たちを救うためのスピーチを扱った教材がある。																																																
		1年	手に障がいがあるページさんが、インターネットで自分のことを伝える教材がある。																																																													
	2年	LGBTQ、高齢者、障がい、多様なルーツについて扱った教材がある。																																																														
	3年	ルワンダで義肢の無償提供プロジェクトを立ち上げた日本人女性を扱った教材がある。																																																														
1年	性の多様性、個性、特性を互いに認め合うことの大切さを扱った教材がある。																																																															
2年	車椅子テニスの選手として活躍した国枝さんの生き方を扱った教材がある。																																																															
3年	ノーベル平和賞受賞のマララさんの、子供たちを救うためのスピーチを扱った教材がある。																																																															
悩める葛藤 人間関係等の課題	①情報モラルの具体的な事柄について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。	・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>節度のある端末の使い方について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>インターネットへの依存や利用中での危険性について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>インターネット上の著作権やSNS投稿への危険性について扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	節度のある端末の使い方について扱った教材がある。	2年	インターネットへの依存や利用中での危険性について扱った教材がある。	3年	インターネット上の著作権やSNS投稿への危険性について扱った教材がある。	・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>SNSの使い方や肖像権について知っておくべきことを扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	SNSの使い方や肖像権について知っておくべきことを扱った教材がある。	2年	インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。	3年	スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。																																																	
		1年	節度のある端末の使い方について扱った教材がある。																																																													
2年	インターネットへの依存や利用中での危険性について扱った教材がある。																																																															
3年	インターネット上の著作権やSNS投稿への危険性について扱った教材がある。																																																															
1年	SNSの使い方や肖像権について知っておくべきことを扱った教材がある。																																																															
2年	インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。																																																															
3年	スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。																																																															
生きる喜びや勇気	②学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。	・いじめを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>信頼できる友だちについて考えさせた後に、いじめの4層構造について考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>からかうことがいじめにつながることやいじめ反対運動について考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>修学旅行の班に入れられない友だちに関する苦悩や他者理解の大切さを考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	信頼できる友だちについて考えさせた後に、いじめの4層構造について考える教材がある。	2年	からかうことがいじめにつながることやいじめ反対運動について考える教材がある。	3年	修学旅行の班に入れられない友だちに関する苦悩や他者理解の大切さを考える教材がある。	・いじめを題材とした教材には、次のものがある。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2学期に陰口を言われた主人公の姿から、いじめを身近な問題として考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>筆者の海外での経験から、他者を尊重することの大切さを考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>いじめの加害者の後悔から、互いに人間として尊重し合う生き方を考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>	1年	2学期に陰口を言われた主人公の姿から、いじめを身近な問題として考える教材がある。	2年	筆者の海外での経験から、他者を尊重することの大切さを考える教材がある。	3年	いじめの加害者の後悔から、互いに人間として尊重し合う生き方を考える教材がある。																																																	
		1年	信頼できる友だちについて考えさせた後に、いじめの4層構造について考える教材がある。																																																													
2年	からかうことがいじめにつながることやいじめ反対運動について考える教材がある。																																																															
3年	修学旅行の班に入れられない友だちに関する苦悩や他者理解の大切さを考える教材がある。																																																															
1年	2学期に陰口を言われた主人公の姿から、いじめを身近な問題として考える教材がある。																																																															
2年	筆者の海外での経験から、他者を尊重することの大切さを考える教材がある。																																																															
3年	いじめの加害者の後悔から、互いに人間として尊重し合う生き方を考える教材がある。																																																															
生きる喜びや勇気	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇気や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>貝原益軒、さかなクン、北村麻子、吉田レイ子</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>川上容子、トラヴィス・プライス、孟子、荀子、吉野 繁、吉藤オリイ</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>秋本 治、田中希実、アントニ・ガウディ、西島伊三雄、池上 彰、松原 仁、吉田真美、アンジェラ・アキ</td> </tr> </tbody> </table>	1年	貝原益軒、さかなクン、北村麻子、吉田レイ子	2年	川上容子、トラヴィス・プライス、孟子、荀子、吉野 繁、吉藤オリイ	3年	秋本 治、田中希実、アントニ・ガウディ、西島伊三雄、池上 彰、松原 仁、吉田真美、アンジェラ・アキ	・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。 ※○は大分県ゆかりの人物 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>高橋陽一、塚本こなみ、マザー・テレサ、山中伸弥、佐藤 慧、崎原真弓</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>天真みちる、井上康生、山本美香、沼田準一、椋 鳩十、国枝真吾、東 輝実、田中正三、坂 茂、中村 哲</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>今 日和、杉原千畝、吉藤オリイ、中村 裕(○)、オードリー・ヘップバーン、眞鍋淑郎、向田邦子、マララ・ユスフザイ、石井筆子</td> </tr> </tbody> </table>	1年	高橋陽一、塚本こなみ、マザー・テレサ、山中伸弥、佐藤 慧、崎原真弓	2年	天真みちる、井上康生、山本美香、沼田準一、椋 鳩十、国枝真吾、東 輝実、田中正三、坂 茂、中村 哲	3年	今 日和、杉原千畝、吉藤オリイ、中村 裕(○)、オードリー・ヘップバーン、眞鍋淑郎、向田邦子、マララ・ユスフザイ、石井筆子																																																	
		1年	貝原益軒、さかなクン、北村麻子、吉田レイ子																																																													
		2年	川上容子、トラヴィス・プライス、孟子、荀子、吉野 繁、吉藤オリイ																																																													
3年	秋本 治、田中希実、アントニ・ガウディ、西島伊三雄、池上 彰、松原 仁、吉田真美、アンジェラ・アキ																																																															
1年	高橋陽一、塚本こなみ、マザー・テレサ、山中伸弥、佐藤 慧、崎原真弓																																																															
2年	天真みちる、井上康生、山本美香、沼田準一、椋 鳩十、国枝真吾、東 輝実、田中正三、坂 茂、中村 哲																																																															
3年	今 日和、杉原千畝、吉藤オリイ、中村 裕(○)、オードリー・ヘップバーン、眞鍋淑郎、向田邦子、マララ・ユスフザイ、石井筆子																																																															

【 道 徳 】

観 点		発行者	224 学 研					232 あか函																																																																
教科 共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>					内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	8	8	8	24	人との関わり	7	7	7	21	集団や社会との関わり	13	12	13	38	生命と自然、崇高なものとの関わり	7	8	7	22	合計	35	35	35	105	<p>・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>105</td> </tr> </tbody> </table>					内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	8	8	8	24	人との関わり	7	7	7	21	集団や社会との関わり	12	12	12	36	生命と自然、崇高なものとの関わり	8	8	8	24	合計	35	35	35	105
		内容項目	1年	2年	3年	合計																																																																		
		自分自身に関すること	8	8	8	24																																																																		
		人との関わり	7	7	7	21																																																																		
集団や社会との関わり	13	12	13	38																																																																				
生命と自然、崇高なものとの関わり	7	8	7	22																																																																				
合計	35	35	35	105																																																																				
内容項目	1年	2年	3年	合計																																																																				
自分自身に関すること	8	8	8	24																																																																				
人との関わり	7	7	7	21																																																																				
集団や社会との関わり	12	12	12	36																																																																				
生命と自然、崇高なものとの関わり	8	8	8	24																																																																				
合計	35	35	35	105																																																																				
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の下に、教材文の言葉や一文を掲載し、現代的課題との関連をマークで示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p>					<p>・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の上に、指導内容を4つに分類した視点をマークで示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p>																																																																		
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>41</td> <td>45</td> <td>40</td> <td>126</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	41	45	40	126	<p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	1	1	0	2																																														
1年	2年	3年	合計																																																																					
41	45	40	126																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
1	1	0	2																																																																					
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>「見つける、考える、話し合う、生き方につなげる」という学び方を、イラストで示している。ICT機器の活用を促す記述がある。</p>					<p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>「自分を見つめる、いろいろな見方をする、自分の生き方につなげる」という学び方を示している。また、学習活動の例をイラストで示している。</p>																																																																		
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	22	20	17	59	<p>・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	合計	6	6	6	18																																													
		1年	2年	3年	合計																																																																			
22	20	17	59																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
6	6	6	18																																																																					
②二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>14</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>画像、思考ツール、動画、年表</p>					1年	2年	3年	合計	14	12	12	38	<p>・二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウェブリンク、動画、資料</p>					1年	2年	3年	合計	11	15	30	56																																														
1年	2年	3年	合計																																																																					
14	12	12	38																																																																					
1年	2年	3年	合計																																																																					
11	15	30	56																																																																					
統計等 挿絵・図表	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<p>・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.1</td> <td>6.0</td> <td>5.3</td> <td>5.8</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	平均	6.1	6.0	5.3	5.8	<p>・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.3</td> <td>4.2</td> <td>5.3</td> <td>4.6</td> </tr> </tbody> </table>					1年	2年	3年	平均	4.3	4.2	5.3	4.6																																													
		1年	2年	3年	平均																																																																			
6.1	6.0	5.3	5.8																																																																					
1年	2年	3年	平均																																																																					
4.3	4.2	5.3	4.6																																																																					
教科 独自	人間尊重の精神	①多様性（高齢者、障がい者、性的マイノリティ、外国籍の人等）を題材とした教材は、どのように示されているか。	<p>・多様性を題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">筋ジストロフィーの青年と、耳と声が不自由な陶芸家との出会いを扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">LGBTQについて、性を表す4つの要素やカミングアウトについて扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">パラリンピック陸上競技女子走り幅跳びの谷さんの生き方を扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>					1年	筋ジストロフィーの青年と、耳と声が不自由な陶芸家との出会いを扱った教材がある。				2年	LGBTQについて、性を表す4つの要素やカミングアウトについて扱った教材がある。				3年	パラリンピック陸上競技女子走り幅跳びの谷さんの生き方を扱った教材がある。				<p>・多様性を題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">母国ケニアで植樹活動をするマータイさんの、権力に屈しない生き方を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">国や文化の異なる人や障がいのある人と共に生きることを考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">人種差別と闘いノーベル平和賞を受けたネルソン・マンデラの生き方を扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>					1年	母国ケニアで植樹活動をするマータイさんの、権力に屈しない生き方を扱った教材がある。				2年	国や文化の異なる人や障がいのある人と共に生きることを考える教材がある。				3年	人種差別と闘いノーベル平和賞を受けたネルソン・マンデラの生き方を扱った教材がある。																																	
		1年	筋ジストロフィーの青年と、耳と声が不自由な陶芸家との出会いを扱った教材がある。																																																																					
	2年	LGBTQについて、性を表す4つの要素やカミングアウトについて扱った教材がある。																																																																						
	3年	パラリンピック陸上競技女子走り幅跳びの谷さんの生き方を扱った教材がある。																																																																						
1年	母国ケニアで植樹活動をするマータイさんの、権力に屈しない生き方を扱った教材がある。																																																																							
2年	国や文化の異なる人や障がいのある人と共に生きることを考える教材がある。																																																																							
3年	人種差別と闘いノーベル平和賞を受けたネルソン・マンデラの生き方を扱った教材がある。																																																																							
悩みや葛藤 人間関係等の課題	①情報モラルの具体的な事柄について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。	<p>・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">インターネットの活用の仕方やSNSでのトラブルについて扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>					1年	インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。				2年	インターネットの活用の仕方やSNSでのトラブルについて扱った教材がある。				3年	スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。				<p>・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">インターネットでの誹謗中傷や情報リテラシーについて扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">SNSの使い方やスマホへの依存について扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">個人情報に関するSNSでのトラブルやインターネットの危険性を扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>					1年	インターネットでの誹謗中傷や情報リテラシーについて扱った教材がある。				2年	SNSの使い方やスマホへの依存について扱った教材がある。				3年	個人情報に関するSNSでのトラブルやインターネットの危険性を扱った教材がある。																																		
	1年	インターネットでのマナー、書き込みによるトラブル、依存について扱った教材がある。																																																																						
2年	インターネットの活用の仕方やSNSでのトラブルについて扱った教材がある。																																																																							
3年	スマホやSNSとの付き合い方、肖像権、著作権について扱った教材がある。																																																																							
1年	インターネットでの誹謗中傷や情報リテラシーについて扱った教材がある。																																																																							
2年	SNSの使い方やスマホへの依存について扱った教材がある。																																																																							
3年	個人情報に関するSNSでのトラブルやインターネットの危険性を扱った教材がある。																																																																							
②学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などの課題に関わる教材は、どのように示されているか。	<p>・いじめを題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">SNSでの会話の問題点をとらえ、偏見なく接する人間関係について考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">吹奏楽部の部長と部員との関係を描いた漫画から、集団生活について考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">いじめの加害者の後悔から、いじめをしてしまうことについて考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>					1年	SNSでの会話の問題点をとらえ、偏見なく接する人間関係について考える教材がある。				2年	吹奏楽部の部長と部員との関係を描いた漫画から、集団生活について考える教材がある。				3年	いじめの加害者の後悔から、いじめをしてしまうことについて考える教材がある。				<p>・いじめを題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">幼なじみどうしの会話から、周囲の人の視線に左右される弱さについて考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">いじめの加害者に対して注意する主人公の思いについて考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">いじめをテーマとした児童生徒の詩を読み、様々な視点でいじめ問題を考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>					1年	幼なじみどうしの会話から、周囲の人の視線に左右される弱さについて考える教材がある。				2年	いじめの加害者に対して注意する主人公の思いについて考える教材がある。				3年	いじめをテーマとした児童生徒の詩を読み、様々な視点でいじめ問題を考える教材がある。																																			
1年	SNSでの会話の問題点をとらえ、偏見なく接する人間関係について考える教材がある。																																																																							
2年	吹奏楽部の部長と部員との関係を描いた漫画から、集団生活について考える教材がある。																																																																							
3年	いじめの加害者の後悔から、いじめをしてしまうことについて考える教材がある。																																																																							
1年	幼なじみどうしの会話から、周囲の人の視線に左右される弱さについて考える教材がある。																																																																							
2年	いじめの加害者に対して注意する主人公の思いについて考える教材がある。																																																																							
3年	いじめをテーマとした児童生徒の詩を読み、様々な視点でいじめ問題を考える教材がある。																																																																							
生きる喜びや勇氣	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇氣や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	<p>・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">野口聡一、村岡花子、嘉納治五郎、塩田千春、ドナルド・キーン、イチロー、藤井聡太、式町水晶、村岡桃佳、いつか、本橋麻里</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">高梨少羅、松井秀喜、長谷部誠、大橋 恵、渡部カンコロンコ清花、大山捨松、山中伸弥、緒方洪庵、フェラデー、小田美樹、吉藤オリイ</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">杉原千敏、ROLAND、渡辺直美、若宮正子、植松 努、岡田光信、北村麻子、畑島 楓、上杉鷹山、伊藤美誠、伊能忠敬、萩原和子</td> </tr> </tbody> </table>					1年	野口聡一、村岡花子、嘉納治五郎、塩田千春、ドナルド・キーン、イチロー、藤井聡太、式町水晶、村岡桃佳、いつか、本橋麻里				2年	高梨少羅、松井秀喜、長谷部誠、大橋 恵、渡部カンコロンコ清花、大山捨松、山中伸弥、緒方洪庵、フェラデー、小田美樹、吉藤オリイ				3年	杉原千敏、ROLAND、渡辺直美、若宮正子、植松 努、岡田光信、北村麻子、畑島 楓、上杉鷹山、伊藤美誠、伊能忠敬、萩原和子				<p>・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td colspan="4">羽生結弦、さかなクン、相田みつを、道下美里、山中伸弥、ワグネル・マータイ</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td colspan="4">池江璃花子、安藤百福、イチロー、王 貞治、マザー・テレサ、中村 哲</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td colspan="4">又吉直樹、町田瑠唯、大谷翔平、吉藤オリイ、野口聡一、鎌田 実、ネルソン・マンデラ</td> </tr> </tbody> </table>					1年	羽生結弦、さかなクン、相田みつを、道下美里、山中伸弥、ワグネル・マータイ				2年	池江璃花子、安藤百福、イチロー、王 貞治、マザー・テレサ、中村 哲				3年	又吉直樹、町田瑠唯、大谷翔平、吉藤オリイ、野口聡一、鎌田 実、ネルソン・マンデラ																																		
		1年	野口聡一、村岡花子、嘉納治五郎、塩田千春、ドナルド・キーン、イチロー、藤井聡太、式町水晶、村岡桃佳、いつか、本橋麻里																																																																					
		2年	高梨少羅、松井秀喜、長谷部誠、大橋 恵、渡部カンコロンコ清花、大山捨松、山中伸弥、緒方洪庵、フェラデー、小田美樹、吉藤オリイ																																																																					
3年	杉原千敏、ROLAND、渡辺直美、若宮正子、植松 努、岡田光信、北村麻子、畑島 楓、上杉鷹山、伊藤美誠、伊能忠敬、萩原和子																																																																							
1年	羽生結弦、さかなクン、相田みつを、道下美里、山中伸弥、ワグネル・マータイ																																																																							
2年	池江璃花子、安藤百福、イチロー、王 貞治、マザー・テレサ、中村 哲																																																																							
3年	又吉直樹、町田瑠唯、大谷翔平、吉藤オリイ、野口聡一、鎌田 実、ネルソン・マンデラ																																																																							

【 道 徳 】

観 点		発行者	2 3 3 日 科																																	
教科共通	単元・題材の構成及び内容の取扱い	①学習指導要領に示す目標を達成するために必要な教材をどのように構成して、単元や題材が設定されているか。	<p>・読み物教材の内容項目ごとの数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容項目</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自分自身に関すること</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>人との関わり</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>集団や社会との関わり</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>生命と自然、崇高なものとの関わり</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>				内容項目	1年	2年	3年	合計	自分自身に関すること	8	7	9	24	人との関わり	7	6	7	20	集団や社会との関わり	13	15	14	42	生命と自然、崇高なものとの関わり	6	6	4	16	合計	34	34	34	102
		内容項目	1年	2年	3年	合計																														
		自分自身に関すること	8	7	9	24																														
人との関わり	7	6	7	20																																
集団や社会との関わり	13	15	14	42																																
生命と自然、崇高なものとの関わり	6	6	4	16																																
合計	34	34	34	102																																
②基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、どのような工夫がなされているか。	<p>・読み物教材の道徳的価値（指導内容）の示し方は、次のとおりである。</p> <p>教材名の上に、学習指導要領の道徳的価値を表す分類番号を示している。また、教材文の後ろに、考え、話し合うための問いかけがある。</p>																																			
③思考力、判断力、表現力等を育む学習（言語活動等）が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・書き込みのページ数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29</td> <td>32</td> <td>38</td> <td>99</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	29	32	38	99																								
1年	2年	3年	合計																																	
29	32	38	99																																	
④学びに向かう力を育むために、どのような工夫がなされているか。	<p>・道徳科の学習のオリエンテーションの示し方は、次のとおりである。</p> <p>「考え・意見を言う、聞く、違う考え・意見も認める」という学び方を示している。また、「ウェルビーイングカード」を使った意見交流の仕方を示している。</p>																																			
資料等	①資料・手引等は、生徒の自主的、自発的な学習が促されるよう、どのように示されているか。	<p>・コラム等の補助教材数は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	合計	1	1	1	3																							
		1年	2年	3年	合計																															
1	1	1	3																																	
<p>・二次元コードからつながる資料数と内容は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p>音声朗読、動画、ウェブリンク</p>				1年	2年	3年	合計	18	19	12	49																									
1年	2年	3年	合計																																	
18	19	12	49																																	
統計等 挿絵・図表・	①挿絵・図表・統計等がどのように示されているか。	<p>・教材一つあたりの挿絵・写真の数（平均）は次のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3.4</td> <td>2.8</td> <td>3.0</td> <td>3.1</td> </tr> </tbody> </table>				1年	2年	3年	平均	3.4	2.8	3.0	3.1																							
		1年	2年	3年	平均																															
3.4	2.8	3.0	3.1																																	
<p>・多様性を題材にした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>車椅子テニスで活躍した、国枝さんの座右の銘をテーマに扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>明治時代に日本人女性として初めての医師になった萩原吟子の人生を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>日本人とアメリカ人を両親にもつ副島さんの、外見で決めないことを扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>				1年	車椅子テニスで活躍した、国枝さんの座右の銘をテーマに扱った教材がある。	2年	明治時代に日本人女性として初めての医師になった萩原吟子の人生を扱った教材がある。	3年	日本人とアメリカ人を両親にもつ副島さんの、外見で決めないことを扱った教材がある。																											
1年	車椅子テニスで活躍した、国枝さんの座右の銘をテーマに扱った教材がある。																																			
2年	明治時代に日本人女性として初めての医師になった萩原吟子の人生を扱った教材がある。																																			
3年	日本人とアメリカ人を両親にもつ副島さんの、外見で決めないことを扱った教材がある。																																			
教科独自	人間尊重の精神	<p>①多様性（高齢者、障がい者、性的マイノリティー、外国籍の人等）を題材とした教材は、どのように示されているか。</p>																																		
		<p>①情報モラルの具体的事柄について深く考えることのできる教材は、どのように示されているか。</p>																																		
		<p>②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関する教材は、どのように示されているか。</p>																																		
悩みや葛藤 人間関係等の課題	②学級や学校生活における具体的事柄や葛藤などの課題に関する教材は、どのように示されているか。	<p>・情報モラルを題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>情報の信用性について注意すべきことについて扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>AI との付き合い方についての留意点を扱った教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>SNS での誹謗中傷を無くすためのディベートを扱った教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>				1年	情報の信用性について注意すべきことについて扱った教材がある。	2年	AI との付き合い方についての留意点を扱った教材がある。	3年	SNS での誹謗中傷を無くすためのディベートを扱った教材がある。																									
		1年	情報の信用性について注意すべきことについて扱った教材がある。																																	
		2年	AI との付き合い方についての留意点を扱った教材がある。																																	
3年	SNS での誹謗中傷を無くすためのディベートを扱った教材がある。																																			
<p>・いじめを題材とした教材には、次のものがある。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>いじめの被害者、被害者の親、傍観者などのコメントからいじめの原因を考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>中学時代のいじめを娘に告白する主人公の姿から、心の弱さについて考える教材がある。</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>いじめについての会話から、立場の違う者同士が認め合うことについて考える教材がある。</td> </tr> </tbody> </table>				1年	いじめの被害者、被害者の親、傍観者などのコメントからいじめの原因を考える教材がある。	2年	中学時代のいじめを娘に告白する主人公の姿から、心の弱さについて考える教材がある。	3年	いじめについての会話から、立場の違う者同士が認め合うことについて考える教材がある。																											
1年	いじめの被害者、被害者の親、傍観者などのコメントからいじめの原因を考える教材がある。																																			
2年	中学時代のいじめを娘に告白する主人公の姿から、心の弱さについて考える教材がある。																																			
3年	いじめについての会話から、立場の違う者同士が認め合うことについて考える教材がある。																																			
生きる喜びや勇氣	①様々な分野で活躍する人物や偉業を残した人物の生き方が描かれ、生きる勇氣や知恵などを感じる教材は、どのように示されているか。	<p>・中心教材で取り上げられている人物は、次のとおりである。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>国枝真吾、稲盛和夫、マララ・ユスフザイ、二宮尊徳、森 英恵、中村 哲、鎌田 實、手塚治虫</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>井上康生、萩原吟子、新渡戸稲造、野沢雅子、緒方貞子</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>加藤セチ、佐藤昌介、吉田松陰、千 利休、副島 淳、ドリアーノ・スリス、花田ミキ</td> </tr> </tbody> </table>				1年	国枝真吾、稲盛和夫、マララ・ユスフザイ、二宮尊徳、森 英恵、中村 哲、鎌田 實、手塚治虫	2年	井上康生、萩原吟子、新渡戸稲造、野沢雅子、緒方貞子	3年	加藤セチ、佐藤昌介、吉田松陰、千 利休、副島 淳、ドリアーノ・スリス、花田ミキ																									
		1年	国枝真吾、稲盛和夫、マララ・ユスフザイ、二宮尊徳、森 英恵、中村 哲、鎌田 實、手塚治虫																																	
		2年	井上康生、萩原吟子、新渡戸稲造、野沢雅子、緒方貞子																																	
3年	加藤セチ、佐藤昌介、吉田松陰、千 利休、副島 淳、ドリアーノ・スリス、花田ミキ																																			